

大学番号：国077

注3

[平成30年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

熊本大学大学院 自然科学教育部

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人熊本大学

平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部

職名・氏名 主任・折笠 <sup>オリカサ</sup>ハルキ 青希

電話番号 096-342-2032

（夜間） 096-342-2032

F A X 096-342-3007

e-mail sgo-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

担当部局（課）名 教育研究支援部自然科学系事務課

職名・氏名 係長・小島 <sup>コジマ</sup>チエ 智絵

電話番号 096-342-3512

（夜間） 096-342-3512

F A X 096-342-3510

e-mail szk-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 自然科学教育部

<理学専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

<土木建築学専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	38
2. 授業科目の概要	42
3. 施設・設備の整備状況、経費	46
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	48
5. 教員組織の状況	52
6. 留意事項等に対する履行状況等	65
7. その他全般的事項	66

<機械数理工学専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	69
2. 授業科目の概要	73
3. 施設・設備の整備状況、経費	77
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	79
5. 教員組織の状況	83
6. 留意事項等に対する履行状況等	96
7. その他全般的事項	97

＜情報電気工学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	100
2. 授業科目の概要	104
3. 施設・設備の整備状況、経費	109
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	111
5. 教員組織の状況	115
6. 留意事項等に対する履行状況等	130
7. その他全般的事項	131

＜材料・応用化学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	134
2. 授業科目の概要	138
3. 施設・設備の整備状況、経費	142
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	144
5. 教員組織の状況	148
6. 留意事項等に対する履行状況等	162
7. その他全般的事項	163

＜理学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	166
2. 授業科目の概要	170
3. 施設・設備の整備状況、経費	174
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	176
5. 教員組織の状況	180
6. 留意事項等に対する履行状況等	194
7. その他全般的事項	195

<工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	198
2. 授業科目の概要 . . . . .	202
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	207
4. AC対象学部等を含む大学等の状況 . . . . .	209
5. 教員組織の状況 . . . . .	213
6. 留意事項等に対する履行状況等 . . . . .	234
7. その他全般的事項 . . . . .	235

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

## (2) 大学名

熊本大学大学院

## (3) 大学の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカワ フサ) 市川 聡夫 (平成30年4月)		
専攻長	(スミ ナヤ) 鷺見 直哉 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学教育部 理学専攻 (博士前期課程)  修士(理学) 修士(学術)	理学関係	2年	110人	220人	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	110人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	0.80倍			
志願者数	99 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
受験者数	94 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
合格者数	90 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
B 入学者数	88 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	0.80		-					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	88 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		
計	88 [ - ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	88人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	-人	-人	平成30年度	-人	-人	
			平成31年度	-人	-人	
合計	88人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{88} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<自然科学教育部 理学専攻（博士前期課程）>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
先端科学科目	科学技術と社会Ⅰ	1・2前		1		2	2					兼4	
	科学技術と社会Ⅱ	1・2後		1		2	2					兼4	
	日本の先端科学Ⅰ	1・2通			2							兼1	
	科学技術英語特論	1・2通			2							兼1	
	大学院教養教育科目	現代社会理解 A	1・2通		1								兼1
		現代社会理解 B	1・2通		1								兼1
		技術革新のための基礎科学	1・2通		1								兼1
		マネジメント概論	1・2通		1								兼1
		科学の歴史	1・2通		1								兼1
	理工融合教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼4
MOT概論・応用編		1前			1							兼1	
実践MOT		1後			2							兼1	
プロジェクトマネジメント		1後			1							兼1	
生産マネジメント		1後			1							兼1	
企業経営概論		1後			1							兼1	
ベンチャー企業論		1前			1							兼5	
科学英語演習Ⅰ		1前		1								兼1	
科学英語演習Ⅱ	1後		1								兼1		
共通科目	特別研究	2通	4			31	32			11			
	インターンシップⅠ	1・2通		1		1							
	特別プレゼンテーションⅠ	1・2通		1		31	32			11			
数学コース科目	代数学特論A	1・2前		2			1						
	代数学特論B	1・2後		2			1						
	代数学特論C	1・2前		2			1						
	代数学特論D	1・2後		2			1						
	代数学特論E	1・2後		2		1							
	幾何学特論A	1・2前		2			1						
	幾何学特論B	1・2後		2			1						
	幾何学特論C	1・2前		2			1						
	幾何学特論D	1・2後		2		1							
	解析学特論A	1・2前		2		1							
	解析学特論B	1・2後		2		1							
	解析学特論C	1・2前		2		1							
	確率解析学特論	1・2後		2		1							
	応用解析学特論A	1・2前		2			1						
	応用解析学特論B	1・2後		2		1							
	数学特別講義A	1・2通		1								兼1	
	数学特別講義B	1・2通		1								兼1	
	数学特別講義C	1・2通		1								兼1	
	数学特別講義D	1・2通		2								兼1	
	数学特別講義E	1・2通		2								兼1	
数学特別講義F	1・2通		2								兼1		
数学特別演習Ⅰ	1通	4			6	6							
数学特別演習Ⅱ	2通	4			6	6							
数学ゼミナールⅠ	1通	4			6	6							
数学ゼミナールⅡ	2通	4			6	6							
物理科学コース科目	物理学特論Ⅰ	1前		2		4							
	物理学特論Ⅱ	1後		2		2	2						
	場の量子論Ⅰ	1前		2			1						
	場の量子論Ⅱ	1後		2			1						
	3D活性サイト科学論	1前		2		1							
	固体電子論A	1前		1		1							
	固体電子論B	1前		1		1							
	コンピュータ物理学特論Ⅰ	1後		2		1							
	宇宙物理学Ⅰ	1前		2			1						
	一般相対論	1前		2		1							
	物性物理学特論Ⅰ	1前		2		1							
	光物性論	1前		2		1							
超高速分光光学論	1後		2			1							
微小領域物性物理	1後		2			1							
高圧物性物理学特論Ⅰ	1前		2								1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
先端科学科目	科学技術と社会Ⅰ	1・2前		1		2	1					兼5	
	科学技術と社会Ⅱ	1・2後		1		3	1					兼5	
	日本の先端科学Ⅰ	1・2通			2	1							
	科学技術英語特論	1・2通			2	1							
	大学院教養教育科目	現代社会理解 A	1・2通		1		1						兼2
		現代社会理解 B	1・2通		1								兼1
		技術革新のための基礎科学	1・2通		1								兼3
		マネジメント概論	1・2通		1								兼7
		科学の歴史	1・2通		1								兼3
	理工融合教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼1
MOT概論・応用編		1前			1							兼1	
実践MOT		1後			2							兼1	
プロジェクトマネジメント		1後			1							兼2	
生産マネジメント		1後			1							兼1	
企業経営概論		1後			1							兼6	
ベンチャー企業論		1前			1							兼5	
科学英語演習Ⅰ		1前		1								兼2	
科学英語演習Ⅱ	1後		1								兼1		
共通科目	特別研究	2通	4			32	31			11			
	インターンシップⅠ	1・2通		1		1						兼1	
	特別プレゼンテーションⅠ	1・2通		1		32	31			11			
数学コース科目	代数学特論A	1・2後		2			1						
	代数学特論B	1・2後		2			1						
	代数学特論C	1・2前		2			1						
	代数学特論D	1・2後		2			1						
	代数学特論E	1・2後		2		1							
	幾何学特論A	1・2前		2			1						
	幾何学特論B	1・2後		2			1						
	幾何学特論C	1・2前		2			1						
	幾何学特論D	1・2後		2		1							
	解析学特論A	1・2前		2		1							
	解析学特論B	1・2後		2		1							
	解析学特論C	1・2前		2		1							
	確率解析学特論	1・2後		2		1							
	応用解析学特論A	1・2前		2			1						
	応用解析学特論B	1・2後		2		1							
	数学特別講義A	1・2通		1								兼1	
	数学特別講義B	1・2通		1								兼1	
	数学特別講義C(未開講)	1・2通		1								兼1	
	数学特別講義D(未開講)	1・2通		2								兼1	
	数学特別講義E(未開講)	1・2通		2								兼1	
数学特別講義F(未開講)	1・2通		2								兼1		
数学特別演習Ⅰ	1通	4			6	6							
数学特別演習Ⅱ	2通	4			6	6							
数学ゼミナールⅠ	1通	4			6	6							
数学ゼミナールⅡ	2通	4			6	6							
物理科学コース科目	物理学特論Ⅰ	1前		2		4							
	物理学特論Ⅱ	1後		2		2	2						
	場の量子論Ⅰ	1前		2			1						
	場の量子論Ⅱ	1後		2			1						
	3D活性サイト科学論	1前		2		1							
	固体電子論A	1前		1		1							
	固体電子論B	1前		1		1							
	コンピュータ物理学特論Ⅰ	1後		2		1							
	宇宙物理学Ⅰ	1前		2			1						
	一般相対論	1前		2		1							
	物性物理学特論Ⅰ	1前		2		1							
	光物性論	1前		2		1							
超高速分光光学論	1後		2			1							
微小領域物性物理	1後		2			1							
高圧物性物理学特論Ⅰ	1前		2								1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物理科学コース科目	物理科学特別講義A	1・2通		1							兼1
	物理科学特別講義B	1・2通		1							兼1
	物理科学特別講義C	1・2通		1							兼1
	物理科学特別講義D	1・2通		1							兼1
	物理科学特別講義E	1・2通		2							兼1
	物理科学特別講義F	1・2通		2							兼1
	物理科学特別演習 I	1通	4			6	4		1		
	物理科学特別演習 II	2通	4			6	4		1		
	物理科学ゼミナール I	1通	4			6	4		1		
	物理科学ゼミナール II	2通	4			6	4		1		
化学コース科目	物理化学特論 I	1前		2		1					
	物理化学特論 II	1後		2		1					
	物理化学特論 III	2前		2			1				
	無機化学特論 I	1前		2		1					
	無機化学特論 II	1後		2			1				
	有機化学特論 I	1前		2		1					
	有機化学特論 II	1後		2			1				
	有機化学特論 III	2前		2		1					
	分析化学特論 I	1前		2		1					
	分析化学特論 II	1後		2			1				
	分析化学特論 III	2前		2			1				
	化学特別講義A	1・2通		1							兼1
	化学特別講義B	1・2通		1							兼1
	化学特別講義C	1・2通		1							兼1
	化学特別講義D	1・2通		1							兼1
	化学特別講義E	1・2通		2							兼1
化学特別講義F	1・2通		2							兼1	
化学特別演習 I	1通	4			5	5		5			
化学特別演習 II	2通	4			5	5		5			
化学ゼミナール I	1通	4			5	5		5			
化学ゼミナール II	2通	4			5	5		5			
地球環境科学コース科目	岩石反応循環論特論	1前		2		1					
	気候システム学特論	1前		2		1					
	地球変遷学特論	1前		2			1				
	構造地質学特論	1前		2			1				
	古海洋学特論	1前		2			1				
	堆積学特論	1前		2		1					
	水文学特論	1前		2			1				
	鉱物形成論特論	1後		2		1					
	地球物性学	1後		2		1					
	地球環境解析学	1前		2			1				
	地球ダイナミクス特論	1前		2		1					
	層序学特論	1後		2			1				
	海洋底地球科学	1後		2			1				
	水圏環境科学特論	1前		2			1				
	固体地球物理学特論	1後		2			1				
	地球化学特論	1前		2				1			
	極限環境物質プロセス	1前		2		1					1
	マントル岩石学	1前		2					1		
	地球環境科学学外実習A	1・2通		1		5	9		2		
	地球環境科学学外実習B	1・2通		1		5	9		2		
	地球環境科学特別講義A	1・2通		1							兼1
	地球環境科学特別講義B	1・2通		1							兼1
	地球環境科学特別講義C	1・2通		1							兼1
	地球環境科学特別講義D	1・2通		1							兼1
	地球環境科学特別講義E	1・2通		2							兼1
	地球環境科学特別講義F	1・2通		2							兼1
地球環境科学特別演習 I	1通	4			5	9		2			
地球環境科学特別演習 II	2通	4			5	9		2			
地球環境科学ゼミナール I	1通	4			5	9		2			
地球環境科学ゼミナール II	2通	4			5	9		2			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物理科学コース科目	物理科学特別講義A	1・2通		1							兼1
	物理科学特別講義B(未開講)	1・2通		1							兼1
	物理科学特別講義C(未開講)	1・2通		1							兼1
	物理科学特別講義D(未開講)	1・2通		1							兼1
	物理科学特別講義E(未開講)	1・2通		2							兼1
	物理科学特別講義F(未開講)	1・2通		2							兼1
	物理科学特別演習 I	1通	4			6	4		1		
	物理科学特別演習 II	2通	4			6	4		1		
	物理科学ゼミナール I	1通	4			6	4		1		
	物理科学ゼミナール II	2通	4			6	4		1		
化学コース科目	物理化学特論 I	1前		2		1					
	物理化学特論 II	1後		2		1					
	物理化学特論 III	2前		2			1				
	無機化学特論 I	1前		2		1					
	無機化学特論 II	1後		2			1				
	有機化学特論 I	1前		2		1					
	有機化学特論 II	1後		2			1				
	有機化学特論 III	2前		2		1					
	分析化学特論 I	1前		2		1					
	分析化学特論 II	1後		2			1				
	分析化学特論 III	2前		2			1				
	化学特別講義A(未開講)	1・2通		1							兼1
	化学特別講義B(未開講)	1・2通		1							兼1
	化学特別講義C	1・2通		1							兼1
	化学特別講義D	1・2通		1							兼1
	化学特別講義E(未開講)	1・2通		2							兼1
化学特別講義F(未開講)	1・2通		2							兼1	
化学特別演習 I	1通	4			6	4		5			
化学特別演習 II	2通	4			6	4		5			
化学ゼミナール I	1通	4			6	4		5			
化学ゼミナール II	2通	4			6	4		5			
地球環境科学コース科目	岩石反応循環論特論	1前		2		1					
	気候システム学特論	1前		2		1					
	地球変遷学特論	1前		2			1				
	構造地質学特論	1後		2			1				
	古海洋学特論	1前		2			1				
	堆積学特論	1前		2		1					
	水文学特論	1前		2			1				
	鉱物形成論特論	1後		2		1					
	地球物性学	1後		2		1					
	地球環境解析学	1前		2			1				
	地球ダイナミクス特論	1前		2		1					
	層序学特論	1後		2			1				
	海洋底地球科学	1後		2			1				
	水圏環境科学特論	1前		2			1				
	固体地球物理学特論	1後		2			1				
	地球化学特論	1前		2				1			
	極限環境物質プロセス	1前		2		1					1
	マントル岩石学	1後		2					1		
	地球環境科学学外実習A	1・2通		1		5	9		2		
	地球環境科学学外実習B	1・2通		1		5	9		2		
	地球環境科学特別講義A	1・2通		1							兼1
	地球環境科学特別講義B(未開講)	1・2通		1							兼1
	地球環境科学特別講義C(未開講)	1・2通		1							兼1
	地球環境科学特別講義D(未開講)	1・2通		1							兼1
	地球環境科学特別講義E(未開講)	1・2通		2							兼1
	地球環境科学特別講義F(未開講)	1・2通		2							兼1
地球環境科学特別演習 I	1通	4			5	9		2			
地球環境科学特別演習 II	2通	4			5	9		2			
地球環境科学ゼミナール I	1通	4			5	9		2			
地球環境科学ゼミナール II	2通	4			5	9		2			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
生物科学コース科目 専門科目	動物細胞学特論 I	1・2後		1		1						
	動物生理学特論 I	1・2後		1		1						
	動物工学特論 I	1・2後		1			1					
	発生生物学特論 I	1・2後		1			1					
	分子遺伝学特論 I	1・2後		1		1						
	分子細胞生物学特論 I	1・2前		1		1						
	生化学特論 I	1・2前		1			1					
	植物分子生物学特論 I	1・2前		1		1						
	植物細胞学特論 I	1・2後		1		1						
	植物遺伝学特論 I	1・2後		1			1					
	植物生理学特論 I	1・2前		1		1						
	系統分類学特論 I	1・2後		1		1						
	行動進化学特論 I	1・2後		1		1						
	保全生物学特論 I	1・2前		1			1					
	自然科学特論 I	1・2後		1			1					
	海洋生態・多様性学特論 I	1・2前		1			1					
	生物学特別講義A	1・2通		1								兼1
	生物学特別講義B	1・2通		1								兼1
	生物学特別講義C	1・2通		1								兼1
	生物学特別講義D	1・2通		1								兼1
	生物学特別講義E	1・2通		2								兼1
	生物学特別講義F	1・2通		2								兼1
	生物学特別演習 I	1通	4			9	8		3			
生物学特別演習 II	2通	4			9	8		3				
生物学ゼミナール I	1通	4			9	8		3				
生物学ゼミナール II	2通	4			9	8		3				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
生物科学コース科目 専門科目	動物細胞学特論 I	1・2後		1			1					
	動物生理学特論 I	1・2後		1			1					
	動物工学特論 I	1・2後		1				1				
	発生生物学特論 I	1・2後		1				1				
	分子遺伝学特論 I	1・2後		1		1						
	分子細胞生物学特論 I	1・2前		1		1						
	生化学特論 I	1・2前		1			1					
	植物分子生物学特論 I	1・2前		1		1						
	植物細胞学特論 I	1・2後		1		1						
	植物遺伝学特論 I	1・2後		1			1					
	植物生理学特論 I	1・2前		1		1						
	系統分類学特論 I	1・2後		1		1						
	行動進化学特論 I	1・2後		1		1						
	保全生物学特論 I	1・2前		1			1					
	自然科学特論 I	1・2後		1			1					
	海洋生態・多様性学特論 I	1・2前		1			1					
	生物学特別講義A	1・2通		1								兼1
	生物学特別講義B	1・2通		1								兼1
	生物学特別講義C(未開講)	1・2通		1								兼1
	生物学特別講義D(未開講)	1・2通		1								兼1
	生物学特別講義E(未開講)	1・2通		2								兼1
	生物学特別講義F(未開講)	1・2通		2								兼1
	生物学特別演習 I	1通	4			9	8		3			
生物学特別演習 II	2通	4			9	8		3				
生物学ゼミナール I	1通	4			9	8		3				
生物学ゼミナール II	2通	4			9	8		3				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」「兼4」から「准教授1」「兼5」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「兼4」から「教授3」「兼5」に変更。
- ・誤謬のため、「日本の先端科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・誤謬のため、「科学技術英語特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学英語演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授31」「准教授32」から「教授32」「准教授31」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「特別プレゼンテーションⅠ」の専任教員等の配置を「教授31」「准教授32」から「教授32」「准教授31」に変更。
- ・担当教員の変更により、「代数学特論A」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・担当教員の変更により、「数学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の変更により、「数学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の変更により、「数学ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の変更により、「数学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の変更により、「物理化学特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「化学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「化学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「化学ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「化学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「構造地質学特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マントル岩石学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	118 科目	9 科目	148 科目	21 科目 [ 0 ]	118 科目 [ 0 ]	9 科目 [ 0 ]	148 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	数学特別講義C	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
2	数学特別講義D	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
3	数学特別講義E	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
4	数学特別講義F	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
5	物理科学特別講義B	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
6	物理科学特別講義C	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
7	物理科学特別講義D	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
8	物理科学特別講義E	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
9	物理科学特別講義F	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
10	化学特別講義A	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
11	化学特別講義B	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
12	化学特別講義E	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
13	化学特別講義F	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
14	地球環境科学特別講義B	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
15	地球環境科学特別講義C	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
16	地球環境科学特別講義D	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
17	地球環境科学特別講義E	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
18	地球環境科学特別講義F	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
19	生物科学特別講義C	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
20	生物科学特別講義D	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
21	生物科学特別講義E	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
22	生物科学特別講義F	2	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
23	動物生理学特論I	1	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
24	発生生物学特論I	1	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
25	分子遺伝学特論I	1	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
26	分子細胞生物学特論I	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
27	植物分子生物学特論I	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
28	植物遺伝学特論I	1	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
29	自然誌科学特論I	1	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
30	海洋生態・多様性学特論I	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目については、次年度開講する科目もあり、学部教育からの6年一貫教育を基本として全体的な教育の質の確保はできている。  
 学生への周知方法については、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、また授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載すること等により、未開講科目を充分周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{30}{148} = \boxed{20.27} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 (H29.9.1から延長予定) H32.3.31まで延長 (30) 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29.4.1から H30.3.31(以降、毎 年度更新予定) H30.4.1からH31.3.31 (30) 494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H28.10.1から H30.9.30 331㎡	
	校 舎 敷 地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡		
	運 動 場 用 地	39,752( 0)㎡	0㎡	0㎡	39,752( 0)㎡		
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡		
	そ の 他	144,293( 0)㎡	0㎡	0㎡	144,293( 0)㎡		
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡		
(2) 校 舎	専 用	457,740㎡	0㎡	1,112㎡	458,852㎡	放送大学熊本学習センターの専用1,112㎡	
	( 457,740㎡)	( 0㎡)	( 1,112㎡)	( 458,852㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	12室 (補助職員 3人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		室	
	自然科学教育部 理学専攻			76			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]				
	冊	種	点	点	点		
	大学全体	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)
計	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体
	12,347㎡		936		1,035,084		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体
	8,244㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	熊本大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<b>【学部】</b>									
<b>文学部</b>									
総合人間学科	4	55	-	220	学士 (文学)	1.03	平成17年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
歴史学科	4	35	-	140	学士 (文学)	1.06	平成17年度	同上	
文学科	4	50	-	200	学士 (文学)	1.01	平成17年度	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士 (文学)	1.16	平成17年度	同上	
学部共通			3年次 10	20	学士 (文学)	-	平成11年度	同上	
<b>教育学部</b>									
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士 (教育学)	1.06	昭和24年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士 (教育学)	1.13	昭和24年度	同上	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.11	平成19年度	同上	
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士 (教育学)	1.06	昭和52年度	同上	
地域共生社会課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
生涯スポーツ福祉課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成9年度	同上	平成29年より学生募集停止
<b>法学部</b>									
法学科	4	210	-	840	学士 (法学)	1.02	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
学部共通			3年次 10	20	学士 (法学)	-	平成12年度	同上	
<b>理学部</b>									
理学科	4	200	-	780	学士 (理学)	1.01	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
<b>医学部</b>									
医学科	6	115	-	690	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1.03	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次 16	32	学士(看護学、保健学)	-	平成18年度	同上	
<b>薬学部</b>									
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.01	平成18年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.02	平成18年度	同上	
<b>工学部</b>									
土木建築学科	4	124	3年次 10	124	学士 (工学)	1.07	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	

機械数理工学科	4	109	3年次 10	109	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	149	学士 (工学)	1.04	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	131	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育実践専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	1.13	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	23	-	46	修士 (教育学)	1.00	平成21年度	同上	
教職実践開発専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.93	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学研究科									
(博士前期課程)									
公共政策学専攻	2	13	-	23	修士 (公共政策学、学術)	0.30	平成20年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学専攻	2	12	-	21	修士 (法学)	0.54	平成20年度	同上	
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	0.82	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	0.85	平成20年度	同上	
教授システム学専攻 (博士後期課程)	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.06	平成20年度	同上	
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.60	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.22	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部									
(博士前期課程)									
理学専攻	2	110	-	110	修士 (理学、学術)	0.80	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	75	修士 (工学、学術)	1.12	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	65	修士 (工学、学術)	1.07	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	103	修士 (工学、学術)	1.10	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻 (博士後期課程)	2	90	-	90	修士 (工学、学術)	1.08	平成30年度	同上	
理学専攻	3	12	-	12	博士 (理学、学術)	0.50	平成30年度	同上	

工学専攻	3	46	-	46	博士 (工学、学術)	0.41	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)									
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)									
医科学専攻 (博士課程)	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.67	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.78	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)									
保健学専攻 (博士後期課程)	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.91	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.16	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)									
創薬・生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.85	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学専攻 (博士課程)	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	0.93	平成24年度	同上	
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.99	平成24年度	同上	

大学院法曹養成研究科 (専門職学位課程) 法曹養成専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	平成28年より学生募集停止
-----------------------------------	---	---	---	---	---------------	---	--------	---------------------	---------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学教育部 理学専攻（博士前期課程）>

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) 職名 ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) 職名 ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
専	赤井 一郎 ＜平成30年4月＞ 科学技術と社会Ⅰ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅰ 光物性論 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ	専	赤井 一郎 ＜平成30年4月＞ 科学技術と社会Ⅰ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅰ 光物性論 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
専	安仁屋 勝 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅰ 物性物理学特論Ⅰ 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ	専	安仁屋 勝 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅰ 物性物理学特論Ⅰ 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
専	磯部 博志 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 鉱物形成論特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ	専	磯部 博志 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 鉱物形成論特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	市川 聡夫 ＜平成30年4月＞ 科学技術と社会Ⅰ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅱ 固体電子論A 固体電子論B 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ	専	市川 聡夫 ＜平成30年4月＞ 科学技術と社会Ⅰ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅱ 固体電子論A 固体電子論B 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
専	入江 亮 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 有機化学特論Ⅲ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ	専	入江 亮 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 有機化学特論Ⅲ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	岸田 光代 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ	専	岸田 光代 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ <b>日本の先端科学Ⅰ 科学技術英語特論</b>
専	木村 弘信 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 解析学特論A 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ	専	木村 弘信 ＜平成30年4月＞ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 解析学特論A 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	教授	小出 真路 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅱ 一般相対論 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
		齊藤 寿仁 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分子細胞生物学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	澤 進一郎 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 植物分子生物学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
		渋谷 秀敏 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球ダイナミクス特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	教授	下藤 冬樹 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅰ コンピュータ物理学特論Ⅰ 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
		鷺見 直哉 <平成30年4月> インターンシップⅠ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 応用解析学特論B 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	副島 顕子 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 系統分類学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	教授	小出 真路 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅱ 一般相対論 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
		齊藤 寿仁 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分子細胞生物学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	澤 進一郎 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 植物分子生物学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
		渋谷 秀敏 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球ダイナミクス特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	教授	下藤 冬樹 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅰ コンピュータ物理学特論Ⅰ 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
		鷺見 直哉 <平成30年4月> インターンシップⅠ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 応用解析学特論B 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	副島 顕子 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 系統分類学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	高野 博嘉 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 植物細胞学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	高宗 和史 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 動物生理学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	瀧尾 進 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 植物生理学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	谷 時雄 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分子遺伝学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	戸田 敬 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分析化学特論Ⅰ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	教授	西野 宏 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 有機化学特論Ⅰ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	教授	西山 忠男 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 岩石反応循環論特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	高野 博嘉 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 植物細胞学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
		高宮 正之 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
専	教授	高宗 和史 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 動物生理学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	瀧尾 進 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 植物生理学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	谷 時雄 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分子遺伝学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	教授	戸田 敬 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分析化学特論Ⅰ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	教授	西野 宏 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 有機化学特論Ⅰ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	教授	西山 忠男 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 岩石反応循環論特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
		長谷中 利明 <平成30年4月> 現代社会理解A

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	濱名 裕治 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 確率解析学特論 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	速水 真也 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 無機化学特論Ⅰ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	教授	原岡 喜重 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 解析学特論B 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	藤本 斉 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理化学特論Ⅰ 物理化学特論Ⅱ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	教授	遼見 泰久 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 行動進化学特論Ⅰ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
専	教授	細川 伸也 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理科学特論Ⅰ 3D活性サイト科学論 物理科学特別演習Ⅰ 物理科学特別演習Ⅱ 物理科学ゼミナールⅠ 物理科学ゼミナールⅡ
専	教授	松田 博貴 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 堆積学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	教授	松田 真生 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理化学特論Ⅲ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	濱名 裕治 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 確率解析学特論 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	速水 真也 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 無機化学特論Ⅰ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	教授	原岡 喜重 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 解析学特論B 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	藤本 斉 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理化学特論Ⅰ 物理化学特論Ⅱ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	教授	遼見 泰久 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 行動進化学特論Ⅰ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
専	教授	細川 伸也 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理科学特論Ⅰ 3D活性サイト科学論 物理科学特別演習Ⅰ 物理科学特別演習Ⅱ 物理科学ゼミナールⅠ 物理科学ゼミナールⅡ
専	教授	松田 博貴 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 堆積学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	教授	松田 真生 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理化学特論Ⅲ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三沢 正史
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 幾何学特論D 解析学特論C 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	山田 裕史
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 代数学特論E 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	吉朝 朗
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球物理学 極限環境物質プロセス 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	秋元 和寛
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 古海洋学特論 層序学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	阿部 健
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 代数学特論C 代数学特論D 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	准教授	安藤 直也
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 幾何学特論A 幾何学特論B 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	准教授	一柳 錦平
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 水文学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三沢 正史
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 幾何学特論D 解析学特論C 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	山田 裕史
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 代数学特論E 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	教授	吉朝 朗
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球物理学 極限環境物質プロセス 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	秋元 和寛
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 古海洋学特論 層序学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	阿部 健
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 代数学特論C 代数学特論D 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	准教授	安藤 直也
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 幾何学特論A 幾何学特論B 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	准教授	一柳 錦平
		<平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 水文学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	石川 勇人 <平成30年4月>	専	准教授	石川 勇人 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 有機化学特論Ⅱ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ			特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 有機化学特論Ⅱ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	准教授	伊豆田 俊二 <平成30年4月>	専	准教授	伊豆田 俊二 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生化学特論Ⅰ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ			特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生化学特論Ⅰ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
専	准教授	江頭 恒 <平成30年4月>	専	准教授	江頭 恒 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 動物細胞学特論Ⅰ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ			特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 動物細胞学特論Ⅰ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
専	准教授	大平 慎一 <平成30年4月>	専	准教授	大平 慎一 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分析化学特論Ⅱ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ			特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分析化学特論Ⅱ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	准教授	尾上 哲治 <平成30年4月>	専	准教授	尾上 哲治 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 構造地質学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ			特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 構造地質学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	北野 健 <平成30年4月>	専	准教授	北野 健 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 動物工学特論Ⅰ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ			特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 動物工学特論Ⅰ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
専	准教授	北別府 悠 <平成30年4月>	専	准教授	北別府 悠 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 幾何学特論C 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ			特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 幾何学特論C 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
専	准教授	小島 知子 <平成30年4月>	専	准教授	小島 知子 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球環境解析学 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ			特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球環境解析学 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小澄 大輔 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 超高速分光学論 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
		小松 俊文 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球変遷学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	嶋永 元裕 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 海洋生態・多様性学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
		杉浦 直人 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 保全生物学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 応用解析学特論A 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
		武智 克彰 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 植物遺伝学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	准教授	高橋 慶太郎 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅱ 宇宙物理学Ⅰ 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
		千吉良 直紀 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 代数学特論B 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小澄 大輔 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 超高速分光学論 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
		小松 俊文 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球変遷学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	嶋永 元裕 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 海洋生態・多様性学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
		杉浦 直人 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 保全生物学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 応用解析学特論A 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
		武智 克彰 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 植物遺伝学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	准教授	高橋 慶太郎 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理学特論Ⅱ 宇宙物理学Ⅰ 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ
		千吉良 直紀 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 代数学特論B 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	富田 智彦 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 気候システム学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
		中田 晴彦 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分析化学特論Ⅲ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	准教授	中村 政明 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 無機化学特論Ⅱ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
		中山 由紀 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 発生物学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	准教授	成田 宏秋 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 代数学特論A 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
		原 正大 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 微小領域物性物理 物理科学特別演習Ⅰ 物理科学特別演習Ⅱ 物理科学ゼミナールⅠ 物理科学ゼミナールⅡ
専	准教授	藤井 紀行 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 自然誌科学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	富田 智彦 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 気候システム学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
		中田 晴彦 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 分析化学特論Ⅲ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	准教授	中村 政明 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 無機化学特論Ⅱ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
		中山 由紀 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 発生物学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ
専	准教授	谷本 祥 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 代数学特論A 数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 数学ゼミナールⅠ 数学ゼミナールⅡ
		原 正大 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 微小領域物性物理 物理科学特別演習Ⅰ 物理科学特別演習Ⅱ 物理科学ゼミナールⅠ 物理科学ゼミナールⅡ
専	准教授	藤井 紀行 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 自然誌科学特論Ⅰ 生物学特別演習Ⅰ 生物学特別演習Ⅱ 生物学ゼミナールⅠ 生物学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	細野 高啓 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 水圏環境科学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	松田 真生 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理化学特論Ⅲ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 固体地球物理学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	矢嶋 哲 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理科学特論Ⅱ 場の量子論Ⅰ 場の量子論Ⅱ 物理科学特別演習Ⅰ 物理科学特別演習Ⅱ 物理科学ゼミナールⅠ 物理科学ゼミナールⅡ
専	准教授	横瀬 久芳 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 海洋底地球科学 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	助教	荒江 祥永 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	助教	池見 公芳 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	細野 高啓 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 水圏環境科学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 固体地球物理学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	准教授	矢嶋 哲 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 物理科学特論Ⅱ 場の量子論Ⅰ 場の量子論Ⅱ 物理科学特別演習Ⅰ 物理科学特別演習Ⅱ 物理科学ゼミナールⅠ 物理科学ゼミナールⅡ
専	准教授	横瀬 久芳 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 海洋底地球科学 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	助教	荒江 祥永 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	助教	池見 公芳 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	石丸 聡子 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ マントル岩石学 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
		井手上 賢 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
専	助教	大谷 亮 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
		可児 智美 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球化学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	助教	但馬 達哉 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
		田中 明 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	助教	寺本 進 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
		中島 陽一 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 高圧物性物理学特論Ⅰ 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	石丸 聡子 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ マントル岩石学 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
		井手上 賢 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
専	助教	大谷 亮 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
		可児 智美 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 地球化学特論 地球環境科学学外実習A 地球環境科学学外実習B 地球環境科学特別演習Ⅰ 地球環境科学特別演習Ⅱ 地球環境科学ゼミナールⅠ 地球環境科学ゼミナールⅡ
専	助教	但馬 達哉 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
		田中 明 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
専	助教	寺本 進 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 生物科学特別演習Ⅰ 生物科学特別演習Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ
		中島 陽一 <平成30年4月> 特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 高圧物性物理学特論Ⅰ 物理学特別演習Ⅰ 物理学特別演習Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	助教	船津 麻美 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
兼任	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	教授	高島 和希 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	教授	當舎 利行 <平成30年4月> 技術革新のための基礎科学
兼任	教授	中西 義孝 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	教授	山成 貴 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
兼任	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
兼任	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
兼任	准教授	水本 郁朗 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	助教	船津 麻美 <平成30年4月>
		特別研究 特別プレゼンテーションⅠ 化学特別演習Ⅰ 化学特別演習Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ
兼任	教授	伊田 滙太郎 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
兼任	教授	宇佐川 毅 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
兼任	教授	金 大弘 <平成30年4月> インターンシップⅠ
兼任	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	教授	高島 和希 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	教授	當舎 利行 <平成30年4月> 技術革新のための基礎科学
兼任	教授	中西 義孝 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	教授	森 和也 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
兼任	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ
兼任	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	今本 恒雄 <平成30年4月> 化学特別講義C
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月> 現代社会理解A MOT概論・基礎編
兼任	講師	北川 義久 <平成30年4月> 数学特別講義A
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年4月> MOT概論・基礎編
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 科学の歴史

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 担当授業科目名
		山口 信 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
		磯村 大成 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	今本 恒雄 <平成30年4月> 化学特別講義C
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月> 現代社会理解A 企業経営概論
		加藤 文元 <平成30年4月> 科学の歴史
		川人 崇 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	北川 義久 <平成30年4月> 数学特別講義A
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年10月> 企業経営概論
		釘宮 哲也 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月> ベンチャー企業論
		春藤 龍士 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 科学の歴史

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任 講師		瀬戸 康雄 <平成30年4月>
		マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論
兼任 講師		園田 憲悟 <平成30年4月>
		生物科学特別講義B
兼任 講師		David Bermingham <平成30年9月>
		科学英語演習 I
兼任 講師		中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B
兼任 講師		納富 真嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任 講師		長谷川 裕之 <平成30年4月>
		化学特別講義D
兼任 講師		藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任 講師		前川 幸二 <平成30年10月>
		生産マネジメント
兼任 講師		松尾 洋 <平成30年4月>
		MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任 講師		瀬戸 康雄 <平成30年4月>
		技術革新のための基礎科学 マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論
兼任 講師		園田 憲悟 <平成30年4月>
		生物科学特別講義B
兼任 講師		田子 学 <平成30年10月>
		マネジメント概論 プロジェクトマネジメント
兼任 講師		David Bermingham <平成30年9月>
		科学英語演習 I
兼任 講師		中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B
兼任 講師		納富 真嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任 講師		長谷川 裕之 <平成30年4月>
		化学特別講義D
兼任 講師		藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任 講師		古屋 弘 <平成30年10月>
		マネジメント概論 企業経営概論
兼任 講師		村ノ マチ <平成30年4月>
		科学英語演習 I
兼任 講師		JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR <平成30年10月>
		科学の歴史
兼任 講師		前川 幸二 <平成30年10月>
		生産マネジメント
兼任 講師		松尾 洋 <平成30年4月>
		現代社会理解A ベンチャー企業論

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	溝田 智俊 <平成30年4月>	兼任	講師	溝田 智俊 <平成30年4月>
		地球環境科学特別講義A			地球環境科学特別講義A
兼任	講師	森下 徹也 <平成30年4月>	兼任	講師	森下 徹也 <平成30年4月>
		物理科学特別講義A			物理科学特別講義A
兼任	講師	安田 健彦 <平成30年4月>	兼任	講師	安田 健彦 <平成30年4月>
		数学特別講義B			数学特別講義B
兼任	講師	山根 明弘 <平成30年4月>	兼任	講師	山根 明弘 <平成30年4月>
		生物科学特別講義A			生物科学特別講義A
			兼任	講師	吉永 純一 <平成30年10月>
					マネジメント概論
兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>	兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>
		科学英語演習Ⅱ			科学英語演習Ⅱ マネジメント概論
			兼任	講師	Laura Huston <平成30年8月>
					技術革新のための基礎科学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 昇任により、平成30年2月から松田真生准教授を教授に変更。
- 成田宏秋准教授転出により、平成30年1月から谷本祥准教授に変更。
- 教育上の効果を高めるため、平成30年4月高宮正之教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、平成30年4月長谷中利明教授就任。
- カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊田進太郎教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月宇佐川毅教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金大弘教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月森和也教授就任。
- カリキュラム編成の調整により、山成實教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山口信助教就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、大熊恵治講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人紫講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、来海和彦講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月釘宮哲也講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、瀬戸康雄講師の担当科目を追加。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ホサノ ヌーシン講師就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、Robert Geoffrey Dormer講師の担当科目を追加。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
16 名	11 名	0 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	教授	准教授	講師	助教	計（C）
31	32	0	11	74	34	31	0	11	76	33	31	0	11	75
(34)	(31)	(0)	(11)	(76)						[2]	[Δ1]	[0]	[0]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
63	11	0			72	4	0			71	4	0		
(64)	(11)	0								[ ]	[ ]	[ ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{75}{74} = \boxed{101.35} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{76} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	成田 宏秋	必修	特別研究	①	自己都合退職のため就任辞退（30）	
			選択	特別プレゼンテーションI	①		
			選択	代数学特論A	①		
			必修	数学特別演習I	①		
			必修	数学特別演習II	①		
			必修	数学ゼミナールI	①		
合計（D）			後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計（F）			後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{74} = \boxed{1.35} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任を予定していた教員の担当科目については、他の専任教員を配置することで、教育の質は確保できている。  
 なお、学生に対しては、新入生ガイダンス時に授業時間割を配付し、また、授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載すること等により、担当教員を十分に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<自然科学教育部 博士前期課程 理学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

自然科学教育部FD委員会を設置している。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成29年4月25日 第1回FD委員会（14名中14名参加）
- ・平成29年6月12日 第2回FD委員会（14名中12名参加）
- ・平成30年2月7日 第3回FD委員会（メール開催）
- ・平成30年3月12日 第4回FD委員会（メール開催）

#### c 委員会の審議事項等

- ・年間の活動計画
- ・シラバスチェック
- ・FD講演会について

### ② 実施状況

#### a 実施内容

1. FD講演会：日々の授業でMoodle を活用する。
2. シラバスチェック
3. FD実施体制の検討
4. 教員相互の授業参観

#### b 実施方法

1. FD講演会：総合情報統括センター実習室にて本学教授システム学研究センターより講師をを迎えて「日々の授業でMoodleを活用する」のタイトルで実施。
2. シラバスチェック：FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを8月中旬～9月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。
3. FD実施体制の検討：FD実施体制について委員会で検討した。
4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD講演会：平成30年3月27日（火） 教員12名参加
2. シラバスチェック：平成29年8月21日～9月29日 12コース・教育プログラムで実施
3. FD実施体制の検討：平成29年8月 FD委員による意見交換
4. 教員相互の授業参観：平成29年6月～平成30年2月に理学部、工学部と合同で実施  
（大学院のみの授業参観者数 4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD講演会で修得したMoodle活用の技術により、担当教員は授業科目等を熊本大学統合認証対応システムー全学LMS（e-Leamind）Moodleシステムへ登録し活用している。
- ・ 新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。
- ・ FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。
- ・ 授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有 年4回（授業終了時）に予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。  
平成30年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度に自己評価を行い、平成31年4月以降公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年6月1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

## (2) 大学名

熊本大学大学院

## (3) 大学の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカワ フサ) 市川 聡夫 (平成30年4月)		
専攻長	(シゲイ ミツロ) 重石 光弘 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学教育部 土木建築学専攻 (博士前期課程)  修士(工学) 修士(学術)	工学関係	2年	75人	150人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	75人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]			1.12倍	
志願者数	104 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
受験者数	98 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
合格者数	95 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
B 入学者数	84 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	1.12		-					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	84 [ 7 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		
計	84 [ 7 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	84 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			平成31年度	- 人	- 人	
合計	84 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{84} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<自然科学教育部 土木建築学専攻（博士前期課程）>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
先端科学科目	科学技術と社会Ⅰ	1・2前	1			1						兼7	
	科学技術と社会Ⅱ	1・2後	1			1						兼7	
	日本の先端科学Ⅰ	1・2通			2							兼1	
	科学技術英語特論	1・2通			2							兼1	
	科学英語演習Ⅰ	1前	1										兼1
		1後	1										兼1
	大学院授業教育科目	現代社会理解 A	1・2通	1									兼1
		現代社会理解 B	1・2通	1									兼1
		技術革新のための基礎科学	1・2通	1									兼1
		マネジメント概論	1・2通	1									兼1
科学の歴史		1・2通	1									兼1	
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼4	
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1	
	実践MOT	1後			2							兼1	
	プロジェクトマネジメント	1後			1							兼1	
	生産マネジメント	1後			1							兼1	
	企業経営概論	1後			1							兼1	
	ベンチャー企業論	1前			1							兼5	
	共通科目	先端科学特別講義Ⅰ	1・2通		2		11	21			5		
インターンシップⅠ		1・2通		2		1							
プロジェクトゼミナールⅠ		1・2通		2		11	21			5			
特別プレゼンテーションⅠ		1・2通		1		11	21			5			
土木工学教育プログラム科目	技術英語	1前	2									兼1	
	耐震工学	1後		2		1							
	環境水文学	1後		2		1							
	環境微生物工学	1前		2		1							
	流域生態工学	1前		2		1							
	非破壊診断学	1後		2		1							
	社会環境マテリアル	1前		2		1							
	応用岩盤工学	1前		2		1							
	地盤振動学	1前		2		1							
	深部地下開発工学	1前		2		1							
	応用環境地盤工学	1後		2		1							
	流域環境工学	1前		2		1							
	海岸保全工学	1後		2		1							
	土木工学演習Ⅰ	1通		4									
	土木工学演習Ⅱ	2通		4									
	土木工学セミナーⅠ	1通		1									
	土木工学セミナーⅡ	2通		1									
専門応用科目	交通システムデザイン	2前		2		1							
	社会基盤計画論	2後		2		1							
	コミュニティマネジメント	2前		2		1							
	社会基盤デザイン論	1後		2		1							
	交通政策マネジメント	1前		2		1							
	公共政策データ分析	2前		2		1							
	環境防災マネジメント	2後		2		1							
地域デザイン教育プログラム科目	技術英語	1前	2									兼1	
	耐震工学	1後		2		1							
	環境水文学	1後		2		1							
	環境微生物工学	1前		2		1							
	流域生態工学	1前		2		1							
	交通システムデザイン	1前		2		1							
	社会基盤計画論	1後		2		1							
	コミュニティマネジメント	1前		2		1							
	社会基盤デザイン論	1後		2		1							
	交通政策マネジメント	1前		2		1							
	公共政策データ分析	1前		2		1							
	環境防災マネジメント	1後		2		1							
	地域デザイン演習Ⅰ	1通		4									
	地域デザイン演習Ⅱ	2通		4									
地域デザインセミナーⅠ	1通		1										
地域デザインセミナーⅡ	2通		1										

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
先端科学科目	科学技術と社会Ⅰ	1・2前	1					1				兼7	
	科学技術と社会Ⅱ	1・2後	1							1		兼7	
	日本の先端科学Ⅰ	1・2通			2							兼1	
	科学技術英語特論	1・2通			2							兼1	
	科学英語演習Ⅰ	1前	1										兼2
		1後	1										兼1
	大学院授業教育科目	現代社会理解 A	1・2通	1									兼3
		現代社会理解 B	1・2通	1									兼1
		技術革新のための基礎科学	1・2通	1									兼3
		マネジメント概論	1・2通	1									兼7
科学の歴史		1・2通	1									兼3	
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼1	
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1	
	実践MOT	1後			2							兼1	
	プロジェクトマネジメント	1後			1							兼2	
	生産マネジメント	1後			1							兼1	
	企業経営概論	1後			1							兼6	
	ベンチャー企業論	1前			1							兼5	
	共通科目	先端科学特別講義Ⅰ	1・2通		2		11	21			5		
インターンシップⅠ		1・2通		2		1							
プロジェクトゼミナールⅠ		1・2通		2		11	21			5			
特別プレゼンテーションⅠ		1・2通		1		11	21			5			
土木工学教育プログラム科目	技術英語	1前	2									兼1	
	耐震工学	1後		2		1							
	環境水文学	1後		2		1							
	環境微生物工学	1前		2		1							
	流域生態工学	1前		2		1							
	非破壊診断学	1後		2		1							
	社会環境マテリアル	1前		2		1							
	応用岩盤工学	1前		2		1							
	地盤振動学	1前		2		1							
	深部地下開発工学	1前		2		1							
	応用環境地盤工学	1後		2		1							
	流域環境工学	1前		2		1							
	海岸保全工学	1後		2		1							
	土木工学演習Ⅰ	1通		4									
	土木工学演習Ⅱ	2通		4									
	土木工学セミナーⅠ	1通		1									
	土木工学セミナーⅡ	2通		1									
専門応用科目	交通システムデザイン	2前		2		1							
	社会基盤計画論	2後		2		1							
	コミュニティマネジメント	2前		2		1							
	社会基盤デザイン論	1後		2		1							
	交通政策マネジメント	1前		2		1							
	公共政策データ分析	2前		2		1							
	環境防災マネジメント	2後		2		1							
地域デザイン教育プログラム科目	技術英語	1前	2									兼1	
	耐震工学	1後		2		1							
	環境水文学	1後		2		1							
	環境微生物工学	1前		2		1							
	流域生態工学	1前		2		1							
	交通システムデザイン	1前		2		1							
	社会基盤計画論	1後		2		1							
	コミュニティマネジメント	1前		2		1							
	社会基盤デザイン論	1後		2		1							
	交通政策マネジメント	1前		2		1							
	公共政策データ分析	1前		2		1							
	環境防災マネジメント	1後		2		1							
	地域デザイン演習Ⅰ	1通		4									
	地域デザイン演習Ⅱ	2通		4									
地域デザインセミナーⅠ	1通		1										
地域デザインセミナーⅡ	2通		1										

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
環境デザイン教育プログラム科目	非破壊診断学	2後	2			1						
	社会環境マテリアル	2前	2				1					
	地盤振動学	2前	2			1						
	岩盤工学通論	2後	2				1					
	環境地盤工学通論	2後	2				1					
	河川工学通論	2前	2			1						
建築学系	建築学研究Ⅰ	1前	2			2	9			3		
	建築学研究Ⅱ	1後	2			2	9			3		
	建築学研究Ⅲ	2前	2			2	9			3		
	建築学研究Ⅳ	2後	2			2	9			3		
建築設計系	建築設計スタジオⅡ	1前	4				1					
	建築設計スタジオⅢ	1後	4				1					
	建築設計スタジオⅣ	2前	4				1					
	修士設計	2後	4				1					
建築都市文化系	建築学研究Ⅰ	1前	2			2	9			3		
	建築学研究Ⅱ	1後	2			2	9			3		
	建築都市文化基礎科目Ⅰ	1前	2			2	9			3		
	建築都市文化基礎科目Ⅱ	1後	2			2	9			3		
	建築都市文化基礎科目Ⅲ	2前	2			2	9			3		
建築学教育プログラム科目	鋼構造特論	1後	2			1						
	建築荷重論	1後	2				1					
	鉄筋コンクリート構造特論Ⅰ	1前	2			1						
	鉄筋コンクリート構造特論Ⅱ	1後	2			1						
	塑性力学	1前	2				1					
	建築材料設計	1後	2				1					
	構造計画学	1前	2				1					
	衝撃工学	2前	2							1		
	材料破壊の力学	2前	2							1		
	木質材料学特論	1前	2								1	
	界面力学特論	1前	2								1	
	建築材料学演習	1前	2				1				1	
	建築構造学演習Ⅰ	1前	2				1					1
	建築構造学演習Ⅱ	1後	2				1					1
	建築構造学演習Ⅲ	2前	2			1						1
	建築環境学特論Ⅰ	1前	2				1					1
	建築環境学特論Ⅱ	1後	2				1					1
	建築環境学特論Ⅲ	2前	2							1		1
	建築環境学演習Ⅰ	1前	2				1					1
	建築環境学演習Ⅱ	1後	2				1					1
	建築環境学演習Ⅲ	2後	2								1	1
	日本建築史特論	1後	2			1						
	西洋建築史特論	1前	2				1					
	建築情報特論	1前	2				1					
	都市解析学	1前	2				1					
	建築空間構成法	2後	2				1					
	建築プログラミング演習	1後	2				1					
	建築プレゼンテーション	2前	2				1					
	施設マネジメント学演習	1前	2				1					
	景観情報学演習	2後	2				1					
	計画情報学演習	1後	2				1					
	空間情報学演習	1前	2				1					
建築史演習Ⅰ	1前	2				1						
建築史演習Ⅱ	1後	2				1						
歴史的環境設計演習Ⅰ	1前	2			1							
歴史的環境設計演習Ⅱ	1後	2			1							
建築実務実習	1・2通	4				1						
英語コミュニケーション	1後	2				1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
環境デザイン教育プログラム科目	非破壊診断学	1前	2			1						
	社会環境マテリアル	1前	2				1					
	地盤振動学	1前	2			1						
	岩盤工学通論	2後	2				1					
	環境地盤工学通論	2後	2				1					
	河川工学通論	2前	2			1						
建築学系	建築学研究Ⅰ	1前	2			2	9			3		
	建築学研究Ⅱ	1後	2			2	9			3		
	建築学研究Ⅲ	2前	2			2	9			3		
	建築学研究Ⅳ	2後	2			2	9			3		
建築設計系	建築設計スタジオⅡ	1前	4				1					
	建築設計スタジオⅢ	1後	4				1					
	建築設計スタジオⅣ	2前	4				1					
	修士設計	2後	4				1					
建築都市文化系	建築学研究Ⅰ	1前	2			2	9			3		
	建築学研究Ⅱ	1後	2			2	9			3		
	建築都市文化基礎科目Ⅰ	1前	2			2	9			3		
	建築都市文化基礎科目Ⅱ	1後	2			2	9			3		
	建築都市文化基礎科目Ⅲ	2前	2			2	9			3		
建築学教育プログラム科目	鋼構造特論	1後	2			1						
	建築荷重論	1後	2				1					
	鉄筋コンクリート構造特論Ⅰ	1前	2			1						
	鉄筋コンクリート構造特論Ⅱ	1後	2			1						
	塑性力学	1前	2				1					
	建築材料設計	1後	2				1					
	構造計画学	1前	2				1					
	衝撃工学	2前	2							1		
	材料破壊の力学	2前	2							1		
	木質材料学特論	1前	2								1	
	界面力学特論	1前	2								1	
	建築材料学演習	1前	2				1				1	
	建築構造学演習Ⅰ	1前	2				1					1
	建築構造学演習Ⅱ	1後	2				1					1
	建築構造学演習Ⅲ	2前	2			1						1
	建築環境学特論Ⅰ	1前	2				1					1
	建築環境学特論Ⅱ	1後	2				1					1
	建築環境学特論Ⅲ	2前	2							1		1
	建築環境学演習Ⅰ	1前	2				1					1
	建築環境学演習Ⅱ	1後	2				1					1
	建築環境学演習Ⅲ	2後	2								1	1
	日本建築史特論	1後	2			1						
	西洋建築史特論	1前	2				1					
	建築情報特論	1前	2				1					
	都市解析学	1前	2				1					
	建築空間構成法	2後	2				1					
	建築プログラミング演習	1後	2				1					
	建築プレゼンテーション	2前	2				1					
	施設マネジメント学演習	1前	2				1					
	景観情報学演習	2後	2				1					
	計画情報学演習	1後	2				1					
	空間情報学演習	1前	2				1					
建築史演習Ⅰ	1前	2				1						
建築史演習Ⅱ	1後	2				1						
歴史的環境設計演習Ⅰ	1前	2			1							
歴史的環境設計演習Ⅱ	1後	2			1							
建築実務実習	1・2通	4				1						
英語コミュニケーション	1後	2				1						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
  - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼7」から「助教1」「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学英語演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「流域生態工学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「土木工学教育プログラム科目」「非破壊診断学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「深域地下開発工学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「海岸保全工学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「土木工学教育プログラム科目」「交通システムデザイン」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「土木工学教育プログラム科目」「社会基盤計画論」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「土木工学教育プログラム科目」「コミュニティマネジメント」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「社会基盤デザイン論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「土木工学教育プログラム科目」「公共政策データ分析」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「土木工学教育プログラム科目」「環境防災マネジメント」の配当年次を「2後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「地域デザイン教育プログラム科目」「非破壊診断学」の配当年次を「2後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「地域デザイン教育プログラム科目」「社会環境マテリアル」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「地域デザイン教育プログラム科目」「地盤振動学」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	97 科目	9 科目	120 科目	14 科目 [ 0 ]	97 科目 [ 0 ]	9 科目 [ 0 ]	120 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{120} = \boxed{\phantom{00}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 (H29.9.1から延長予定) H32.3.31まで延長 (30) 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29.4.1から H30.3.31(以降、毎 年度更新予定) H30.4.1からH31.3.31 (30) 494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H28.10.1か らH30.9.30 331㎡	
	校 舎 敷 地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡		
	運 動 場 用 地	39,752( 0)㎡	0㎡	0㎡	39,752( 0)㎡		
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡		
	そ の 他	144,293( 0)㎡	0㎡	0㎡	144,293( 0)㎡		
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡		
(2) 校 舎	専 用	457,740㎡ ( 457,740㎡)	共 用 0㎡ ( 0㎡)	共用する他の 学校等の専用 1,112㎡ ( 1,112㎡)	計 458,852㎡ ( 458,852㎡)	放送大学熊本学習センターの専用1,112㎡	
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体
(3) 教 室 等	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	12室 (補助職員 3人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		室	
	自然科学教育部 土木建築学専攻			37			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
		大学全体	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)
	計	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)
	(6) 図 書 館	面 積 12,347㎡	閱 覧 座 席 数 936	収 納 可 能 冊 数 1,035,084	大学全体		
(7) 体 育 館	面 積 8,244㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等				大学全体	
	(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度
経費の見積り		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
共同研究費等		千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
学生納付金以外の維持方法の概要	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	熊本大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<b>【学部】</b>									
<b>文学部</b>									
総合人間学科	4	55	-	220	学士(文学)	1.03	平成17年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
歴史学科	4	35	-	140	学士(文学)	1.06	平成17年度	同上	
文学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.01	平成17年度	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士(文学)	1.16	平成17年度	同上	
学部共通			3年次10	20	学士(文学)	-	平成11年度	同上	
<b>教育学部</b>									
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士(教育学)	1.06	昭和24年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士(教育学)	1.13	昭和24年度	同上	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士(教育学)	1.11	平成19年度	同上	
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	1.06	昭和52年度	同上	
地域共生社会課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
生涯スポーツ福祉課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成9年度	同上	平成29年より学生募集停止
<b>法学部</b>									
法学科	4	210	-	840	学士(法学)	1.02	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
学部共通			3年次10	20	学士(法学)	-	平成12年度	同上	
<b>理学部</b>									
理学科	4	200	-	780	学士(理学)	1.01	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
<b>医学部</b>									
医学科	6	115	-	690	学士(医学)	1.00	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1.03	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次16	32	学士(看護学、保健学)	-	平成18年度	同上	
<b>薬学部</b>									
薬学科	6	55	-	330	学士(薬学)	1.01	平成18年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.02	平成18年度	同上	
<b>工学部</b>									
土木建築学科	4	124	3年次10	124	学士(工学)	1.07	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	

機械数理工学科	4	109	3年次 10	109	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	149	学士 (工学)	1.04	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	131	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育実践専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	1.13	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	23	-	46	修士 (教育学)	1.00	平成21年度	同上	
教職実践開発専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.93	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学研究科									
(博士前期課程)									
公共政策学専攻	2	13	-	23	修士 (公共政策学、学術)	0.30	平成20年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学専攻	2	12	-	21	修士 (法学)	0.54	平成20年度	同上	
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	0.82	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	0.85	平成20年度	同上	
教授システム学専攻 (博士後期課程)	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.06	平成20年度	同上	
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.60	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.22	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部									
(博士前期課程)									
理学専攻	2	110	-	110	修士 (理学、学術)	0.80	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	75	修士 (工学、学術)	1.12	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	65	修士 (工学、学術)	1.07	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	103	修士 (工学、学術)	1.10	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻 (博士後期課程)	2	90	-	90	修士 (工学、学術)	1.08	平成30年度	同上	
理学専攻	3	12	-	12	博士 (理学、学術)	0.50	平成30年度	同上	

工学専攻	3	46	-	46	博士 (工学、学術)	0.41	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)									
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)									
医科学専攻	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.67	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
(博士課程)									
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.78	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)									
保健学専攻	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.91	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.16	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)									
創薬・生命薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.85	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
(博士後期課程)									
創薬・生命薬科学専攻	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	0.93	平成24年度	同上	
(博士課程)									
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.99	平成24年度	同上	

大学院法曹養成研究科 (専門職学位課程) 法曹養成専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	平成28年より学生募集停止
-----------------------------------	---	---	---	---	---------------	---	--------	---------------------	---------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学教育部 土木建築学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	伊東 龍一 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 日本建築史特論 歴史的環境設計演習 I 歴史的環境設計演習 II	専	教授	伊東 龍一 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 日本建築史特論 歴史的環境設計演習 I 歴史的環境設計演習 II
専	教授	大谷 順 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 地盤振動学	専	教授	大谷 順 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 地盤振動学
専	教授	大本 照憲 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 流域環境工学 河川工学通論	専	教授	大本 照憲 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 流域環境工学 河川工学通論
専	教授	尾原 祐三 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用岩盤工学	専	教授	尾原 祐三 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用岩盤工学
専	教授	柿本 竜治 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 社会基盤計画論	専	教授	柿本 竜治 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 社会基盤計画論
専	教授	川越 保徳 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 環境微生物工学	専	教授	川越 保徳 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 環境微生物工学
専	教授	重石 光弘 <平成30年4月> インターンシップ I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 非破壊診断学 土木工学演習 I 土木工学演習 II 土木工学セミナー I 土木工学セミナー II 地域デザイン演習 I 地域デザイン演習 II 地域デザインセミナー I 地域デザインセミナー II	専	教授	重石 光弘 <平成30年4月> インターンシップ I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 非破壊診断学 土木工学演習 I 土木工学演習 II 土木工学セミナー I 土木工学セミナー II 地域デザイン演習 I 地域デザイン演習 II 地域デザインセミナー I 地域デザインセミナー II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	辻本 剛三 <平成30年4月>	専	教授	辻本 剛三 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 海岸保全工学 海岸工学通論			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 海岸保全工学 海岸工学通論
専	教授	溝上 章志 <平成30年4月>	専	教授	溝上 章志 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 交通システムデザイン			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 交通システムデザイン
専	教授	村上 聖 <平成30年4月>	専	教授	村上 聖 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 鉄筋コンクリート構造特論 I 鉄筋コンクリート構造特論 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 鉄筋コンクリート構造特論 I 鉄筋コンクリート構造特論 II
専	教授	山成 實 <平成30年4月>	専	教授	山成 實 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 鋼構造特論 建築構造学演習 III			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 鋼構造特論 建築構造学演習 III
専	准教授	大西 康伸 <平成30年4月>	専	准教授	大西 康伸 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 建築情報特論 計画情報学演習 空間情報学演習			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 建築情報特論 計画情報学演習 空間情報学演習
専	准教授	越智 健之 <平成30年4月>	専	准教授	越智 健之 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 塑性力学 構造計画学 建築構造学演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 塑性力学 構造計画学 建築構造学演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	尾上 幸造 <平成30年4月>	専	准教授	尾上 幸造 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 社会環境マテリアル			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 社会環境マテリアル
専	准教授	葛西 昭 <平成30年4月>	専	准教授	葛西 昭 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 耐震工学			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 耐震工学
専	准教授	川井 啓二 <平成30年4月>	専	准教授	川井 啓二 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 建築環境学特論 I 建築環境学演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 建築環境学特論 I 建築環境学演習 II
専	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>	専	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I			科学技術と社会 I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I
専	准教授	佐藤 章 <平成30年4月>	専	准教授	佐藤 章 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 深部地下開発工学 岩盤工学通論			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 深部地下開発工学 岩盤工学通論
専	准教授	竹内 裕希子 <平成30年4月>	専	准教授	竹内 裕希子 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 環境防災マネジメント			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 環境防災マネジメント
専	准教授	武田 浩二 <平成30年4月>	専	准教授	武田 浩二 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 建築材料設計 建築材料学演習			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 建築材料設計 建築材料学演習

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	田中 智之 <平成30年4月>	専	准教授	田中 智之 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築設計スタジオ II 建築設計スタジオ III 建築設計スタジオ IV 修士設計 建築空間構成法 建築プログラミング 演習 建築プレゼンテー ション			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築設計スタジオ II 建築設計スタジオ III 建築設計スタジオ IV 修士設計 建築空間構成法 建築プログラミング 演習 建築プレゼンテー ション
専	准教授	田中 尚人 <平成30年4月>	専	准教授	田中 尚人 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III コミュニティマネジ メント			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III コミュニティマネジ メント
専	准教授	友清 衣利子 <平成30年4月>	専	准教授	友清 衣利子 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 建築荷重論 建築構造学演習 I			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 建築荷重論 建築構造学演習 I
専	准教授	長谷川 麻子 <平成30年4月>	専	准教授	長谷川 麻子 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 建築環境学特論 II 建築環境学演習 I			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 建築環境学特論 II 建築環境学演習 I
専	准教授	濱 武英 <平成30年4月>	専	准教授	濱 武英 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 環境水文学			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 環境水文学
専	准教授	藤見 俊夫 <平成30年4月>	専	准教授	藤見 俊夫 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 公共政策データ分析			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 公共政策データ分析
専	准教授	星野 祐司 <平成30年4月>	専	准教授	星野 祐司 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 社会基盤デザイン論			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 社会基盤デザイン論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	本間 里見 <平成30年4月>	専	准教授	本間 里見 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 都市解析学 施設マネジメント学 演習 景観情報学演習 英語コミュニケーション			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 都市解析学 施設マネジメント学 演習 景観情報学演習 英語コミュニケーション
専	准教授	圓山 琢也 <平成30年4月>	専	准教授	圓山 琢也 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 交通政策マネジメント			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 交通政策マネジメント
専	准教授	皆川 智子 <平成30年4月>	専	准教授	皆川 智子 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 流域生態工学			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 流域生態工学
専	准教授	椋木 俊文 <平成30年4月>	専	准教授	椋木 俊文 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用環境地盤工学 環境地盤工学通論			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用環境地盤工学 環境地盤工学通論
専	准教授	吉武 隆一 <平成30年4月>	専	准教授	吉武 隆一 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 西洋建築史特論 建築史演習 I 建築史演習 II 建築実務実習			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科目 I 建築都市文化基礎科目 II 建築都市文化基礎科目 III 西洋建築史特論 建築史演習 I 建築史演習 II 建築実務実習
専	助教	石田 桂 <平成30年4月>	専	助教	石田 桂 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I
専	助教	伊藤 結晃 <平成30年4月>	専	助教	伊藤 結晃 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	担当授業科目名
専	助教	佐藤 あゆみ <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 材料破壊の力学 建築材料学演習	専	助教	佐藤 あゆみ <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 材料破壊の力学 建築材料学演習
専	助教	高田 真人 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 建築環境学特論 III 建築環境学演習 III	専	助教	高田 真人 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 建築環境学特論 III 建築環境学演習 III
専	助教	山口 信 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 衝撃工学	専	助教	山口 信 <平成30年4月>	<b>科学技術と社会 II</b> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 建築学研究 I 建築学研究 II 建築学研究 III 建築学研究 IV 建築都市文化基礎科 目 I 建築都市文化基礎科 目 II 建築都市文化基礎科 目 III 衝撃工学
兼任	教授	赤井 一郎 <平成30年 4月>	科学技術と社会 I	兼任	教授	赤井 一郎 <平成30年 4月>	科学技術と社会 I
				兼任	教授	<b>伊田 進太郎</b> <平成30年 4月>	<b>科学技術と社会 II</b>
兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年 4月>	科学技術と社会 I	兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年 4月>	科学技術と社会 I
				兼任	教授	<b>宇佐川 毅</b> <平成30年 4月>	<b>科学技術と社会 II</b>
兼任	教授	岸田 光代 <平成30年 4月>	日本の先端科学 I 科学技術英語特論	兼任	教授	岸田 光代 <平成30年 4月>	日本の先端科学 I 科学技術英語特論
				兼任	教授	<b>金 大弘</b> <平成30年 4月>	<b>インターンシップ I</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月>	兼担	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I			科学技術と社会 I
兼担	教授	渋谷 秀敏 <平成30年4月>	兼担	教授	渋谷 秀敏 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II			科学技術と社会 II
兼担	教授	高島 和希 <平成30年4月>	兼担	教授	高島 和希 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I			科学技術と社会 I
					<b>高宮 正之</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
兼担	教授	塚本 光夫 <平成30年4月>	兼担	教授	塚本 光夫 <平成30年4月>
		界面力学特論			界面力学特論
兼担	教授	當舎 利行 <平成30年4月>	兼担	教授	當舎 利行 <平成30年4月>
		技術革新のための基礎科学			技術革新のための基礎科学
兼担	教授	中西 義孝 <平成30年4月>	兼担	教授	中西 義孝 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I			科学技術と社会 I
					<b>長谷中 利明</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
兼担	教授	速水 真也 <平成30年4月>	兼担	教授	速水 真也 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II			科学技術と社会 II
					<b>森 和也</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
兼担	准教授	北別府 悠 <平成30年4月>			
		科学技術と社会 I			
兼担	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月>	兼担	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II			<b>科学技術と社会 I</b>
兼担	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>	兼担	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I			科学技術と社会 I
兼担	准教授	中村 政明 <平成30年4月>			
		科学技術と社会 II			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>	兼任	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ
兼任	准教授	水本 郁朗 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅱ			
兼任	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅱ			
兼任	教授	楊 萍 <平成30年4月>	兼任	教授	楊 萍 <平成30年4月>
		木質材料学特論			木質材料学特論
兼任	講師	アムストロング・レイモンド クレッグ <平成30年4月>	兼任	講師	アムストロング・レイモンド クレッグ <平成30年4月>
		技術英語			技術英語
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月>	兼任	講師	<b>磯村 大成</b> <b>&lt;平成30年10月&gt;</b> <b>マネジメント概論</b>
		ベンチャー企業論			入江 英也 <平成30年4月>
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月>	兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月>
		現代社会理解A MOT概論・基礎編			現代社会理解A <b>企業経営概論</b>
兼任	講師	加藤 文元 <平成30年4月>	兼任	講師	<b>加藤 文元</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b> <b>科学の歴史</b>
		MOT概論・基礎編			来海 和彦 <平成30年10月>
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年4月>	兼任	講師	<b>川人 崇</b> <b>&lt;平成30年10月&gt;</b> <b>マネジメント概論</b>
		MOT概論・基礎編			来海 和彦 <平成30年10月>
兼任	講師	釘宮 智也 <平成30年10月>	兼任	講師	<b>釘宮 智也</b> <b>&lt;平成30年10月&gt;</b> <b>企業経営概論</b>
		小間 裕泰 <平成30年4月>			小間 裕泰 <平成30年4月>
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月>	兼任	講師	<b>香藤 龍士</b> <b>&lt;平成30年10月&gt;</b> <b>企業経営概論</b>
		ベンチャー企業論			杉尾 一 <平成30年4月>
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月>	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月>
		科学の歴史			科学の歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月>	瀬戸 康雄 <平成30年4月>
		マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論	<b>技術革新のための基礎科学</b> マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論
			<b>田子 学</b> <平成30年10月>
兼任	講師	David Bermingham <平成30年9月>	David Bermingham <平成30年9月>
		科学英語演習 I	科学英語演習 I
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>	中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B	現代社会理解B
兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月>	納富 貞嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論	ベンチャー企業論
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>	藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論	ベンチャー企業論
			<b>古塵 弘</b> <平成30年10月>
兼任	講師		<b>マネジメント概論</b> <b>企業経営概論</b>
			<b>梶ノ マツ</b> <平成30年4月>
兼任	講師		科学英語演習 I
			<b>JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR</b> <平成30年10月>
兼任	講師		科学の歴史
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>	前川 幸二 <平成30年10月>
		生産マネジメント	生産マネジメント
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>	松尾 洋 <平成30年4月>
		MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論	現代社会理解A ベンチャー企業論
			<b>吉永 純一</b> <平成30年10月>
兼任	講師		<b>マネジメント概論</b>
兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>
		科学英語演習 II	科学英語演習 II <b>マネジメント概論</b>
			<b>Laura Huston</b> <平成30年8月>
兼任	講師		<b>技術革新のための基礎科学</b>

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**  
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、山成實教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、山口信助教の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月伊田進太郎教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月宇佐川毅教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高宮正之教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月長谷中利明教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月森和也教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月金大弘教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、大熊恵治講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人紫講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、来海和彦講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月釘智哲也講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、瀬戸康雄講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ホサノ ヌーシン講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年10月JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、Robert Geoffrey Dormerの担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
11	8	0
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
11	21	0	5	37	11	21	0	5	37	11	21	0	5	37
(11)	(21)	(0)	(5)	(37)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
37	0	0			37	0	0			37	0	0		
(37)	(0)	(0)								[0]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、**完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{37} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計 該当なし

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率 該当なし

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目			必修	科目			必修	科目
	選択	科目			選択	科目			選択	科目
	自由	科目			自由	科目			自由	科目
	計	科目			計	科目			計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<自然科学教育部 博士前期課程 土木建築工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

自然科学教育部FD委員会を設置している。

#### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

- ・平成29年4月25日 第1回FD委員会(14名中14名参加)
- ・平成29年6月12日 第2回FD委員会(14名中12名参加)
- ・平成30年2月7日 第3回FD委員会(メール開催)
- ・平成30年3月12日 第4回FD委員会(メール開催)

#### c 委員会の審議事項等

- ・年間の活動計画
- ・シラバスチェック
- ・FD講演会について

### ② 実施状況

#### a 実施内容

1. FD講演会: 日々の授業でMoodleを活用する。
2. シラバスチェック
3. FD実施体制の検討
4. 教員相互の授業参観

#### b 実施方法

1. FD講演会: 総合情報統括センター実習室にて本学教授システム学研究センターより講師を迎えて「日々の授業でMoodleを活用する」のタイトルで実施。
2. シラバスチェック: FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを8月中旬～9月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。
3. FD実施体制の検討: FD実施体制について委員会で検討した。
4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD講演会：平成30年3月27日（火） 教員12名参加
2. シラバスチェック：平成29年8月21日～9月29日 12コース・教育プログラムで実施
3. FD実施体制の検討：平成29年8月 FD委員による意見交換
4. 教員相互の授業参観：平成29年6月～平成30年2月に理学部、工学部と合同で実施  
（大学院のみの授業参観者数 4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD講演会で修得したMoodle活用の技術により、担当教員は授業科目等を熊本大学統合認証対応システムー全学LMS（e-Leamind）Moodleシステムへ登録し活用している。
- ・ 新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。
- ・ FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。
- ・ 授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有 年4回（授業終了時）に予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。  
平成30年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度に自己評価を行い、平成31年4月以降公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (  有 ・  無 )

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

## (2) 大学名

熊本大学大学院

## (3) 大学の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカワ フサ) 市川 聡夫 (平成30年4月)		
専攻長	(トリイ シュウイチ) 鳥居 修一 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学教育部 機械数理工学専攻 (博士前期課程)  修士(工学) 修士(学術)	工学関係	2年	65人	130人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	65人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	1.07倍			
志願者数	87 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
受験者数	82 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
合格者数	76 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
B 入学者数	70 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	1.07		-					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	70 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		
計	70 [ 2 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	70人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	-人	-人	平成30年度	-人	-人	
			平成31年度	-人	-人	
合計	70人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<自然科学教育部 機械数理工学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端科学科目	科学技術と社会 I	1~2前		1		1						兼7
	科学技術と社会 II	1~2後		1			1					兼7
	日本の先端科学 I	1~2通			2							兼1
	科学技術英語特論	1~2通			2							兼1
科学英語演習科目	科学英語演習 I	1前		1								兼1
	科学英語演習 II	1後		1								兼1
大学院教養教育科目	現代社会理解 A	1~2通		1								兼1
	現代社会理解 B	1~2通		1								兼1
	技術革新のための基礎科学	1~2通		1								兼1
	マネジメント概論	1~2通		1								兼1
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼4
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1
理工融合教育科目	実践MOT	1後			2							兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1							兼1
	生産マネジメント	1後			1							兼1
	企業経営概論	1後			1							兼1
	ベンチャー企業論	1前			1							兼5
	科学の歴史	1~2通		1								兼1
共通科目	先端科学特別講義 I	1~2通		2		12	15	2	6			
	インテンシブ I	1~2通		2		1						
	プロジェクトゼミナール I	1~2通		2		12	15	2	6			
	特別プレゼンテーション I	1~2通		1		12	15	2	6			
専門基礎科目	精密加工学特論	1後		2			1					
	機械製作学特論	1前		2			1					
	機械潤滑システム特論	1前		2		1						
	流体工学特論 I	1後		2					1			
	流体工学特論 II	1後		2			1					
	熱工学特論 I	1前		2			1					
	熱工学特論 II	1後		2		1						
	熱工学特論 III	1後		2			1					
	混相系の科学技術	1前		2			1					
	計算力学特論	1前		2			1					
	エネルギー変換工学特論	1後		2		1						
	強度設計学特論	1後		2			1					
	材料加工学特論	1後		2		1						
	マイクロ・ナノデバイス設計製作学特論	1後		2			1					
	機械工学特別講義 I	1通	4			4	8			1		
	機械工学特別講義 II	2通	4			4	8			1		
機械工学教育プログラム科目	溶接工学特論	1後		2			1					
	計測工学特論	1前		2			1					
	知能移動機械論	1後		2				1				
	振動工学特論	1前		2				1				
	知的システム特論	1後		2				1				
	電子機械特論	1前		2		1						
	知能機械特論	1前		2					1			
	コンピュータ援用力学	1後		2			1					
	塑性加工学特論	1後		2			1					
	固体力学特論	1前		2				1				
	製品設計	1後		2				1				
	衝撃物性特論	1後		2				1				
	ロバスト制御特論	1前		2						1		
	宇宙機械工学特論	1前		2						1		
機械系共通専門科目	工業数学特論 I	1前		2								兼1
	工業数学特論 II	1後		2								兼1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端科学科目	科学技術と社会 I	1~2前		1		1						兼7
	科学技術と社会 II	1~2後		1			1					兼7
	日本の先端科学 I	1~2通			2							兼1
	科学技術英語特論	1~2通			2							兼1
科学英語演習科目	科学英語演習 I	1前		1								兼2
	科学英語演習 II	1後		1								兼1
大学院教養教育科目	現代社会理解 A	1~2通		1								兼3
	現代社会理解 B	1~2通		1								兼1
	技術革新のための基礎科学	1~2通		1								兼3
	マネジメント概論	1~2通		1								兼7
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼1
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1
理工融合教育科目	実践MOT	1後			2							兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1							兼2
	生産マネジメント	1後			1							兼1
	企業経営概論	1後			1							兼6
	ベンチャー企業論	1前			1							兼5
	科学の歴史	1~2通		1								兼1
共通科目	先端科学特別講義 I	1~2通		2		12	16	2	4			
	インテンシブ I	1~2通		2			2					
	プロジェクトゼミナール I	1~2通		2		12	16	2	4			
	特別プレゼンテーション I	1~2通		1		12	16	2	4			
専門基礎科目	精密加工学特論	1前		2			1					
	機械製作学特論	1前		2			1					
	機械潤滑システム特論	1前		2		1						
	流体工学特論 I	1前		2					1			
	流体工学特論 II	1後		2			1					
	熱工学特論 I	1前		2			1					
	熱工学特論 II	1後		2		1						
	熱工学特論 III	1後		2			1					
	混相系の科学技術	1前		2			1					
	計算力学特論	1前		2			1					
	エネルギー変換工学特論	1後		2		1						
	強度設計学特論	1後		2			1					
	材料加工学特論	1後		2		1						
	マイクロ・ナノデバイス設計製作学特論	1後		2			1					
	機械工学特別講義 I	1通	4			4	8			9		
	機械工学特別講義 II	2通	4			4	8			9		
機械工学教育プログラム科目	溶接工学特論	1後		2			1					
	計測工学特論	1前		2			1					
	知能移動機械論	1後		2				1				
	振動工学特論	1前		2				1				
	知的システム特論	1後		2				1				
	電子機械特論	1前		2		1						
	知能機械特論	1前		2					1			
	コンピュータ援用力学	1後		2			1					
	塑性加工学特論	1後		2			1					
	固体力学特論	1前		2				1				
	製品設計	1後		2				1				
	衝撃物性特論	1後		2				1				
	ロバスト制御特論	1前		2						1		
	宇宙機械工学特論	1前		2						1		
機械系共通専門科目	工業数学特論 I	1前		2						1		
	工業数学特論 II	1後		2						1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
機械システム教育プログラム科目	溶接工学特論	1後		2		1							
	計測工学特論	1前		2		1							
	知能移動機械論	1後		2			1						
	振動工学特論	1前		2			1						
	知的システム特論	1後		2			1						
	電子機械特論	1前		2		1							
	知能機械特論	1前		2				1					
	コンピュータ援用力学	1後		2		1							
	塑性加工工学特論	1後		2		1							
	固体力学特論	1前		2			1						
	製品設計	1後		2			1						
	衝撃物性特論	1後		2			1						
	ロボ制御特論	1前		2					1				
	宇宙機械工学特論	1前		2					1				
	機械システム特別講義Ⅰ	1通	4			5	5	1	4				
	機械システム特別講義Ⅱ	2通	4			5	5	1	4				
	専門応用科目	精密加工工学特論	1後		2			1					
		機械製作学特論	1前		2			1					
		機械潤滑システム特論	1前		2		1						
流体工学特論Ⅰ		1後		2				1					
流体工学特論Ⅱ		1後		2			1						
熱工学特論Ⅰ		1前		2			1						
熱工学特論Ⅱ		1後		2		1							
熱工学特論Ⅲ		1後		2			1						
混相系の科学技術		1前		2			1						
計算力学特論		1前		2			1						
エネルギー変換工学特論		1後		2		1							
強度設計学特論		1後		2			1						
材料加工工学特論		1後		2		1							
マイクロ・ナノデバイス設計製作学特論		1後		2			1						
機械系共通専門科目	工業数学特論Ⅰ	1前		2								兼1	
	工業数学特論Ⅱ	1後		2								兼1	
専門基礎科目	解析数学特論Ⅰ	1前		2		1							
	解析数学特論Ⅱ	1後		2			1						
	確率解析特論Ⅰ	1前		2		1							
	確率解析特論Ⅱ	1後		2		1							
	統計科学特論Ⅰ	2前		2			1						
	統計科学特論Ⅱ	2後		2			1						
	情報数学特論Ⅰ	2前		2		1							
	情報数学特論Ⅱ	2後		2			1						
	数理工学講究	1通	4			3	2	1	1				
	数理工学特別講義A	1・2通			1							兼1	
	数理工学特別講義B	1・2通			1							兼1	
	数理工学特別講義C	1・2通			1							兼1	
	数理工学特別講義D	1・2通			1							兼1	
	数理工学特別研究	1・2通	10			3	2	1	1				
専門応用科目	応用数学講究	2通	4			3	2	1	1				
	流体工学特論Ⅰ	1後		2			1						
	流体工学特論Ⅱ	1後		2			1						
	計算力学特論	1前		2			1						
	エネルギー変換工学特論	1後		2		1							
	振動工学特論	1前		2			1						
	知的システム特論	1後		2			1						
	電子機械特論	1前		2		1							
	知能機械特論	1前		2				1					
	コンピュータ援用力学	1後		2		1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
機械システム教育プログラム科目	溶接工学特論	1後		2		1							
	計測工学特論	1前		2		1							
	知能移動機械論	1後		2			1						
	振動工学特論	1前		2			1						
	知的システム特論	1後		2			1						
	電子機械特論	1前		2		1							
	知能機械特論	1前		2				1					
	コンピュータ援用力学	1後		2		1							
	塑性加工工学特論	1後		2		1							
	固体力学特論	1後		2			1						
	製品設計	1後		2			1						
	衝撃物性特論	1後		2			1						
	ロボ制御特論	1前		2						1			
	宇宙機械工学特論	1前		2						1			
	機械システム特別講義Ⅰ	1通	4			5	5	1	4	3			
	機械システム特別講義Ⅱ	2通	4			5	5	1	4	3			
	専門応用科目	精密加工工学特論	1前		2			1					
		機械製作学特論	1前		2			1					
		機械潤滑システム特論	1前		2		1						
流体工学特論Ⅰ		1前		2				1					
流体工学特論Ⅱ		1後		2			1						
熱工学特論Ⅰ		1前		2			1						
熱工学特論Ⅱ		1後		2		1							
熱工学特論Ⅲ		1後		2			1						
混相系の科学技術		1前		2			1						
計算力学特論		1前		2			1						
エネルギー変換工学特論		1後		2		1							
強度設計学特論		1後		2			1						
材料加工工学特論		1後		2		1							
マイクロ・ナノデバイス設計製作学特論		1後		2			1						
機械系共通専門科目	工業数学特論Ⅰ	1前		2						1			
	工業数学特論Ⅱ	1後		2						1			
専門基礎科目	解析数学特論Ⅰ	1前		2		1							
	解析数学特論Ⅱ	1後		2			1						
	確率解析特論Ⅰ	1前		2		1							
	確率解析特論Ⅱ	1後		2		1							
	統計科学特論Ⅰ	2前		2			1						
	統計科学特論Ⅱ	2後		2			1						
	情報数学特論Ⅰ	2前		2		1				1			
	情報数学特論Ⅱ	2後		2			1						
	数理工学講究	1通	4			3	2	1	1				
	数理工学特別講義A	1・2通			1							兼1	
	数理工学特別講義B	1・2通			1							兼1	
	数理工学特別講義C	1・2通			1							兼1	
	数理工学特別講義D	1・2通			1							兼1	
	数理工学特別研究	1・2通	10			3	2	1	1				
専門応用科目	応用数学講究	2通	4			3	2	1	1				
	流体工学特論Ⅰ	1後		2			1						
	流体工学特論Ⅱ	1後		2			1						
	計算力学特論	1前		2			1						
	エネルギー変換工学特論	1後		2		1							
	振動工学特論	1前		2			1						
	知的システム特論	1後		2			1						
	電子機械特論	1前		2		1							
	知能機械特論	1前		2				1					
	コンピュータ援用力学	1後		2		1							

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼7」から「教授1」「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学英語演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・担当教員の昇任及び転出により、「先端科学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授15」「助教6」から「准教授16」「助教4」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任及び転出により、「プロジェクトゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「准教授15」「助教6」から「准教授16」「助教4」に変更。
- ・担当教員の昇任及び転出により、「特別プレゼンテーションⅠ」の専任教員等の配置を「准教授15」「助教6」から「准教授16」「助教4」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「精密加工学特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「機械システム教育プログラム」「流体工学特論Ⅰ」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「流体工学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「混相系の科学技術」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「機械工学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授8」から「准教授9」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「機械工学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授8」から「准教授9」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「固体力学特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「工業数学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「工業数学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の転出により、「機械システム特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更。
- ・担当教員の転出により、「機械システム特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「統計科学特論Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「情報数学特論Ⅰ」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「情報数学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「情報数学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・誤謬により、「数理工学教育プログラム」「流体工学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	90 科目	13 科目	110 科目	7 科目 [ 0 ]	90 科目 [ 0 ]	13 科目 [ 0 ]	110 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	数理工学特別講義A	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
2	数理工学特別講義C	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無
3	数理工学特別講義D	1	1・2通	専門	選択	休講、代替措置無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目については、次年度開講する科目もあり、学部教育からの6年一貫教育を基本として全体的な教育の質の確保はできている。  
 学生への周知方法については、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、また授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載すること等により、未開講科目を充分周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{110} = \boxed{2.72}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 (H29.9.1から延長予定) H32.3.31まで延長 (30) 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29.4.1から H30.3.31(以降、毎 年度更新予定) H30.4.1からH31.3.31 (30) 494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H28.10.1から H30.9.30 331㎡		
	校 舎 敷 地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡			
	運 動 場 用 地	39,752( 0)㎡	0㎡	0㎡	39,752( 0)㎡			
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡			
	そ の 他	144,293( 0)㎡	0㎡	0㎡	144,293( 0)㎡			
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡			
(2) 校 舎	専 用	457,740㎡ ( 457,740㎡)	共 用 ( 0㎡)	共用する他の 学校等の専用 ( 1,112㎡)	計 ( 458,852㎡)	放送大学熊本学習センターの専用1,112㎡		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	12室 (補助職員 3人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	自然科学教育部 機械数理工学専攻			34 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		大学全体	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)
	計	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	12,347㎡		936		1,035,084			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	8,244㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	熊本大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
<b>【学部】</b>								
<b>文学部</b>								
総合人間学科	4	55	-	220	学士 (文学)	1.03	平成17年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
歴史学科	4	35	-	140	学士 (文学)	1.06	平成17年度	同上
文学科	4	50	-	200	学士 (文学)	1.01	平成17年度	同上
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士 (文学)	1.16	平成17年度	同上
学部共通			3年次 10	20	学士 (文学)	-	平成11年度	同上
<b>教育学部</b>								
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士 (教育学)	1.06	昭和24年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士 (教育学)	1.13	昭和24年度	同上
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.11	平成19年度	同上
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士 (教育学)	1.06	昭和52年度	同上
地域共生社会課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成12年度	同上
生涯スポーツ福祉課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成9年度	同上
<b>法学部</b>								
法学科	4	210	-	840	学士 (法学)	1.02	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
学部共通			3年次 10	20	学士 (法学)	-	平成12年度	同上
<b>理学部</b>								
理学科	4	200	-	780	学士 (理学)	1.01	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
<b>医学部</b>								
医学科	6	115	-	690	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1.03	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号
保健学科共通			3年次 16	32	学士(看護学、保健学)	-	平成18年度	同上
<b>薬学部</b>								
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.01	平成18年度	熊本市中央区大江本町5番1号
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.02	平成18年度	同上
<b>工学部</b>								
土木建築学科	4	124	3年次 10	124	学士 (工学)	1.07	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

平成29年より学生募集停止  
平成29年より学生募集停止

機械数理工学科	4	109	3年次 10	109	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	149	学士 (工学)	1.04	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	131	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育実践専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	1.13	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	23	-	46	修士 (教育学)	1.00	平成21年度	同上	
教職実践開発専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.93	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学研究科									
(博士前期課程)									
公共政策学専攻	2	13	-	23	修士 (公共政策学、学術)	0.30	平成20年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学専攻	2	12	-	21	修士 (法学)	0.54	平成20年度	同上	
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	0.82	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	0.85	平成20年度	同上	
教授システム学専攻 (博士後期課程)	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.06	平成20年度	同上	
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.60	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.22	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部									
(博士前期課程)									
理学専攻	2	110	-	110	修士 (理学、学術)	0.80	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	75	修士 (工学、学術)	1.12	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	65	修士 (工学、学術)	1.07	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	103	修士 (工学、学術)	1.10	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻 (博士後期課程)	2	90	-	90	修士 (工学、学術)	1.08	平成30年度	同上	
理学専攻	3	12	-	12	博士 (理学、学術)	0.50	平成30年度	同上	

工学専攻	3	46	-	46	博士 (工学、学術)	0.41	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)									
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)									
医科学専攻	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.67	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
(博士課程)									
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.78	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)									
保健学専攻	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.91	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.16	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)									
創薬・生命薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.85	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
(博士後期課程)									
創薬・生命薬科学専攻	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	0.93	平成24年度	同上	
(博士課程)									
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.99	平成24年度	同上	

大学院法曹養成研究科 (専門職学位課程) 法曹養成専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	平成28年より学生募集停止
-----------------------------------	---	---	---	---	---------------	---	--------	---------------------	---------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学教育部 機械数理工学専攻（博士前期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	北 直泰 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 解析数学特論Ⅰ 数理工学講究 応用数学講究 工業数学特論Ⅱ 数理工学特別研究	専	教授	北 直泰 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 解析数学特論Ⅰ 数理工学講究 応用数学講究 工業数学特論Ⅱ 数理工学特別研究
専	教授	金 大弘 <平成30年4月> インターンシップⅠ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 確率解析特論Ⅰ 確率解析特論Ⅱ 数理工学講究 応用数学講究 数理工学特別研究	専	教授	金 大弘 <平成30年4月> インターンシップⅠ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 確率解析特論Ⅰ 確率解析特論Ⅱ 数理工学講究 応用数学講究 数理工学特別研究
専	教授	城本 啓介 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 情報数学特論Ⅰ 数理工学講究 応用数学講究 数理工学特別研究	専	教授	城本 啓介 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ <b>情報数学特論Ⅱ</b> 数理工学講究 応用数学講究 数理工学特別研究
専	教授	寺崎 秀紀 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 溶接工学特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ	専	教授	寺崎 秀紀 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 溶接工学特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
専	教授	鳥居 修一 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 熱工学特論Ⅱ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ	専	教授	鳥居 修一 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ <b>インターンシップⅠ</b> プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 熱工学特論Ⅱ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ
専	教授	鳥越 一平 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 計測工学特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ	専	教授	鳥越 一平 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 計測工学特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
専	教授	中西 義孝 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 機械潤滑システム特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ	専	教授	中西 義孝 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 機械潤滑システム特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	原田 博之 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 電子機械特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ	専	教授	原田 博之 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 電子機械特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
		藤原 和人 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ エネルギー変換工学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ			藤原 和人 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ エネルギー変換工学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ
専	教授	外本 和幸 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 材料加工学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ	専	教授	外本 和幸 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 材料加工学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ
		丸茂 康男 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 塑性加工学特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ			丸茂 康男 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 塑性加工学特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
専	教授	森 和也 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ コンピュータ援用力学 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ	専	教授	森 和也 <平成30年4月> <b>科学技術と社会Ⅱ</b> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ コンピュータ援用力学 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
		岩佐 学 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 統計科学特論Ⅰ 統計科学特論Ⅱ 数理工学講義 応用数学講義 数理工学特別研究			岩佐 学 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 統計科学特論Ⅰ 統計科学特論Ⅱ 数理工学講義 応用数学講義 数理工学特別研究
専	准教授	大淵 慶史 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 製品設計 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ	専	准教授	大淵 慶史 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 製品設計 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
		川合 伸明 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 衝撃物性特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ			川合 伸明 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 衝撃物性特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	川島 扶美子 <平成30年4月>	専	准教授	川島 扶美子 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 強度設計学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 強度設計学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ
専	准教授	川原 顕磨呂 <平成30年4月>	専	准教授	川原 顕磨呂 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 混相系の科学技術 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 混相系の科学技術 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ
専	准教授	久保田 章亀 <平成30年4月>	専	准教授	久保田 章亀 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 精密加工学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 精密加工学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ
専	准教授	公文 誠 <平成30年4月>	専	准教授	公文 誠 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 知能移動機械論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 知能移動機械論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
専	准教授	黒田 雅利 <平成30年4月>	専	准教授	黒田 雅利 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 固体力学特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 固体力学特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
専	准教授	小系 康志 <平成30年4月>	専	准教授	小系 康志 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 熱工学特論Ⅰ 熱工学特論Ⅲ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ 流体工学特論Ⅰ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 熱工学特論Ⅰ 熱工学特論Ⅲ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ
専	准教授	坂本 重彦 <平成30年4月>	専	准教授	坂本 重彦 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 機械製作学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 機械製作学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ
専	准教授	中島 雄太 <平成30年4月>	専	准教授	中島 雄太 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ マイクロ・ナノデバイス設計製作学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ マイクロ・ナノデバイス設計製作学特論 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	中村 徹 <平成30年4月>	専	准教授	中村 徹 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 解析数学特論Ⅱ 数理工学講究 応用数学講究 工業数学特論Ⅰ 数理工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 解析数学特論Ⅱ 数理工学講究 応用数学講究 工業数学特論Ⅰ 数理工学特別研究
専	准教授	水本 郁朗 <平成30年4月>	専	准教授	水本 郁朗 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 振動工学特論 知的システム特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 振動工学特論 知的システム特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
専	准教授	宗像 瑞恵 <平成30年4月>	専	准教授	宗像 瑞恵 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 流体工学特論Ⅱ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ 流体工学特論Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 流体工学特論Ⅱ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ 流体工学特論Ⅱ
専	准教授	吉川 浩行 <平成30年4月>	専	准教授	吉川 浩行 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ 計算力学特論			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ 計算力学特論
			専	准教授	米本 幸弘 <平成30年4月>
					先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 流体工学特論Ⅰ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ <b>流体工学特論Ⅰ</b>
専	講師	千葉 周也 <平成30年4月>	専	講師	千葉 周也 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 情報数学特論Ⅱ 数理工学講究 応用数学講究 <b>数理工学特別研究</b>			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ <b>情報数学特論Ⅰ</b> 数理工学講究 応用数学講究 <b>数理工学特別研究</b>
専	講師	山口 晃生 <平成30年4月>	専	講師	山口 晃生 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 知能機械特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 知能機械特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ
専	助教	國松 禎明 <平成30年4月>	専	助教	國松 禎明 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ ロバスト制御特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ ロバスト制御特論 機械システム特別講義Ⅰ 機械システム特別講義Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	中妻 啓 <平成30年4月>	専	助教	中妻 啓 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテー ションⅠ 機械システム特別講 義Ⅰ 機械システム特別講 義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテー ションⅠ 機械システム特別講 義Ⅰ 機械システム特別講 義Ⅱ
専	助教	中村 能久 <平成30年4月>	専	助教	中村 能久 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテー ションⅠ 数理工学講究 応用数学講究 数理工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテー ションⅠ 数理工学講究 応用数学講究 数理工学特別研究
専	助教	波多 英寛 <平成30年4月>	専	助教	波多 英寛 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテー ションⅠ 宇宙機械工学特論 機械システム特別講 義Ⅰ 機械システム特別講 義Ⅱ			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテー ションⅠ 宇宙機械工学特論 機械システム特別講 義Ⅰ 機械システム特別講 義Ⅱ
専	助教	米本 幸弘 <平成30年4月>			
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテー ションⅠ 流体工学特論Ⅰ 機械工学特別講義Ⅰ 機械工学特別講義Ⅱ 流体工学特論Ⅰ			
専	助教	李 泰晃 <平成30年4月>			
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテー ションⅠ 機械システム特別講 義Ⅰ 機械システム特別講 義Ⅱ			
兼任	教授	赤井 一郎 <平成30年4月>	兼任	教授	赤井 一郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ
兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月>	兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ
					<b>伊田 進太郎</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b> <b>科学技術と社会Ⅱ</b>
					<b>宇佐川 毅</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b> <b>科学技術と社会Ⅱ</b>
兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月>	兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月>
		日本の先端科学Ⅰ 科学技術英語特論 佐久川 貴志			日本の先端科学Ⅰ 科学技術英語特論 佐久川 貴志
兼任	教授	<平成30年4月>	兼任	教授	<平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	渋谷 秀敏 <平成30年4月>	兼担	教授	渋谷 秀敏 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ
兼担	教授	高島 和希 <平成30年4月>	兼担	教授	高島 和希 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ
兼担	教授	坂田 聡 <平成30年4月>			
		工業数学特論Ⅰ			
			兼担	教授	高宮 正之 <平成30年4月>
					科学技術と社会Ⅱ
兼担	教授	富舎 利行 <平成30年4月>	兼担	教授	富舎 利行 <平成30年4月>
		技術革新のための基礎科学			技術革新のための基礎科学
			兼担	教授	長谷中 利明 <平成30年4月>
					現代社会理解A
兼担	教授	速水 真也 <平成30年4月>	兼担	教授	速水 真也 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ
兼担	教授	山成 實 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅰ			
兼担	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>	兼担	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅰ
兼担	准教授	北別府 悠 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅰ			
兼担	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月>	兼担	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅰ
兼担	准教授	末吉 哲朗 <平成30年4月>			
		工業数学特論Ⅱ			
兼担	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>	兼担	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ
兼担	准教授	中村 政明 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅱ			
兼担	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>	兼担	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ
兼担	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅱ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
					山口 信 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
					磯村 大成 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月> ベンチャー企業論	兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月> 現代社会理解A MOT概論・基礎編	兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月> 現代社会理解A 企業経営概論
					加藤 文元 <平成30年4月> 科学の歴史
					川人 業 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年4月> MOT概論・基礎編	兼任	講師	来海 和彦 <平成30年10月> 企業経営概論
					釘宮 哲也 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月> ベンチャー企業論	兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	佐野 良夫 <平成30年4月> 数理工学特別講義C			
					香藤 龍士 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 科学の歴史	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月> マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論	兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月> 技術革新のための基礎科学 マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高田 佳和 <平成30年4月>			
		工業数学特論II			
			兼任	講師	田子 学 <平成30年10月>
					マネジメント概論 プロジェクトマネジメント
兼任	講師	David Bermingham <平成30年9月>	兼任	講師	David Bermingham <平成30年9月>
		科学英語演習I			科学英語演習I
兼任	講師	内藤 幸一郎 <平成30年4月>			
		工業数学特論I			
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>	兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B			現代社会理解B
兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月>	兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
兼任	講師	畑上 到 <平成30年4月>			
		数理工学特別講義D			
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>	兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
			兼任	講師	古屋 弘 <平成30年10月>
					マネジメント概論 企業経営概論
			兼任	講師	野ノ 晃 <平成30年4月>
					科学英語演習I
			兼任	講師	JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR <平成30年10月>
					科学の歴史
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>	兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>
		生産マネジメント			生産マネジメント
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>	兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>
		MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論
兼任	講師	松村 昭孝 <平成30年4月>			
		数理工学特別講義A			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
					百永 純一 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>	兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月> 科学英語演習Ⅱ マネジメント概論
					Laura Huston <平成30年8月> 技術革新のための基礎科学
兼任	講師	和田 健志 <平成30年4月>	兼任	講師	和田 健志 <平成30年4月> 数理工学特別講義B

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、城本啓介教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、鳥居修一教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、森和也教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、小糸康志准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- ・昇任により、平成30年1月から米本幸広助教を准教授に変更。
- ・李泰兕助教、平成29年8月退職。
- ・カリキュラム編成の調整により、千葉周也講師担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月伊田進太郎教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月宇佐川毅教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂田聡教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高宮正之教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月長谷中利明教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山成實教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、オノ木教士准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、末吉哲朗准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山口信助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、大熊恵治講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人紫講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、来海和彦講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月釘宮哲也講師就任予定。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐野良夫講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、瀬戸康雄講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、高田佳和講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- ・カリキュラム編成の調整により、内藤幸一郎講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、畑上到講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ホサノ ヌーン講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松村昭孝講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、Robert Geoffrey Dormer講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
10	7	0
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
12	15	2	6	35	12	16	2	4	34	12	16	2	4	34
(12)	(16)	(2)	(4)	(34)						[0]	[1]	[0]	[Δ2]	[Δ1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
31	4	0			30	4	0			30	4	0		
(31)	(4)	(0)								[Δ1]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{35} = \boxed{97.14} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	助教	李 泰晃	選択	先端科学特別講義Ⅰ	③	自己都合退職のため就任辞退（30）	
			選択	プロジェクトゼミナールⅠ	③		
			選択	特別プレゼンテーションⅠ	③		
			必修	機械システム特別講義Ⅰ	③		
			必修	機械システム特別講義Ⅱ	③		
合計（D）			後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計（F）			後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	2 科目
		選択	3 科目	選択	0 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	0 科目	計	5 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{35} = 2.85 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の助教に係る担当科目については、他の専任教員で補完しているため、特に履修上の支障は無い。  
 学生への周知方法については、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、また授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載すること等により、担当教員を充分周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<自然科学教育部 博士前期課程 機械数理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

自然科学教育部FD委員会を設置している。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成29年4月25日 第1回FD委員会（14名中14名参加）
- ・平成29年6月12日 第2回FD委員会（14名中12名参加）
- ・平成30年2月7日 第3回FD委員会（メール開催）
- ・平成30年3月12日 第4回FD委員会（メール開催）

#### c 委員会の審議事項等

- ・年間の活動計画
- ・シラバスチェック
- ・FD講演会について

### ② 実施状況

#### a 実施内容

1. FD講演会：日々の授業でMoodle を活用する。
2. シラバスチェック
3. FD実施体制の検討
4. 教員相互の授業参観

#### b 実施方法

1. FD講演会：総合情報統括センター実習室にて本学教授システム学研究センターより講師を迎えて「日々の授業でMoodleを活用する」のタイトルで実施。
2. シラバスチェック：FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを8月中旬～9月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。
3. FD実施体制の検討：FD実施体制について委員会で検討した。
4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD講演会：平成30年3月27日（火） 教員12名参加
2. シラバスチェック：平成29年8月21日～9月29日 12コース・教育プログラムで実施
3. FD実施体制の検討：平成29年8月 FD委員による意見交換
4. 教員相互の授業参観：平成29年6月～平成30年2月に理学部、工学部と合同で実施  
（大学院のみの授業参観者数 4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD講演会で修得したMoodle活用の技術により、担当教員は授業科目等を熊本大学統合認証対応システムー全学LMS（e-Leamind）Moodleシステムへ登録し活用している。
- ・ 新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。
- ・ FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。
- ・ 授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有 年4回（授業終了時）に予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。  
平成30年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### （3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度に自己評価を行い、平成31年4月以降公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (  有 ・  無 )

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

## (2) 大学名

熊本大学大学院

## (3) 大学の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカワ フサ) 市川 聡夫 (平成30年4月)		
専攻長	(イタダ マサヒロ) 飯田 全広 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学教育部 情報電気工学専攻 (博士前期課程)  修士(工学) 修士(学術)	工学関係	2年	103人	206人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	103人 ( ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	1.10倍			
志願者数	131 ( 1 ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
受験者数	129 ( 1 ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
合格者数	119 ( 1 ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
B 入学者数	114 ( 1 ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	1.10		-					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	114 [ 4 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		
計	114 [ 4 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	114 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			平成31年度	- 人	- 人	
合計	114 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{114} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<自然科学教育部 情報電気工学専攻（博士前期課程）>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端科学科目	科学技術と社会 I	1~2前		1		1						兼7
	科学技術と社会 II	1~2後		1			1					兼7
	日本の先端科学 I	1~2通			2							兼1
	科学技術英語特論	1~2通			2							兼1
英語教育科目	科学英語演習 I	1前		1								兼1
	科学英語演習 II	1後		1								兼1
理工融合教育科目	現代社会理解 A	1~2通		1								兼1
	現代社会理解 B	1~2通		1								兼1
	技術革新のための基礎科学	1~2通		1								兼1
	マネジメント概論	1~2通		1								兼1
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼4
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1
	実践MOT	1後			2							兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1							兼1
共通科目	先端科学特別講義 I	1~2通		2		13	11			11		
	インターンシップ I	1~2通		2		1						
	プロジェクトゼミナール I	1~2通		2		13	11			11		
	特別プレゼンテーション I	1~2通		1		13	11			11		
電気工学教育プログラム科目	半導体工学特論 I	1前		2		1						
	ナノ構造デバイス工学	1前		2		1						
	電子デバイス工学	1前		2		1						
	放電プラズマ工学特論 I	1後		2		1						
	放電プラズマ工学特論 II	1後		2			1					
	高電圧パルスパワー工学特論	1後		2		1						
	電力システム工学	1後		2			1					
	パワーエレクトロニクス技術	1前		2		1						
	環境エレクトロニクス工学	1後		2		1						
	非破壊検査工学	1前		2				1				
	植物バイオエレクトロニクス	1後		2		1						
	光計測工学特論	1後		2			1					
	ハルスパワー医療科学	1前		2		1						
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学	1後		2		1						
	半導体工学特論 II	1通		2		1						
	光デバイス特論	1通		2								兼1
	電力フロンティア工学特論A	1通		2		1	1					
	電力フロンティア工学特論B	1通		2		1	1					
	電気工学特別実習	1通		2		8	5					
	電気工学特別演習 I	1通	2			8	5			2		
電気工学特別演習 II	2通	2			8	5			2			
電気工学特別研究	1~2通	4			8	5			2			
専門応用科目	システム制御工学特論 I	1前		2		1						
	システム制御工学特論 II	1後		2		1						
	生体情報システム特論	1前		2		1						
	信号・画像処理特論 I	1前		2		1						
	信号・画像処理特論 II	1前		2		1						
	コンピュータビジョン	1後		2					1			
	マルチメディア信号処理工学特論	1後		2		1						
	無線通信工学特論	1後		2		1						
	電磁波回路工学	1後		2		1						
	情報理論応用	1前		2			1					
	デジタル情報解析特論	1後		2		1						
	電気自動車特論	1後		2			1					
	生体センシング工学	1通		2								兼2
	機械システム工学特論	1前		2		1						
集積システム工学特論	1前		2		1							

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端科学科目	科学技術と社会 I	1~2前		1		1						兼7
	科学技術と社会 II	1~2後		1			1					兼6
	日本の先端科学 I	1~2通			2							兼1
	科学技術英語特論	1~2通			2							兼1
英語教育科目	科学英語演習 I	1前		1								兼2
	科学英語演習 II	1後		1								兼1
理工融合教育科目	現代社会理解 A	1~2通		1								兼3
	現代社会理解 B	1~2通		1								兼1
	技術革新のための基礎科学	1~2通		1								兼3
	マネジメント概論	1~2通		1								兼7
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼1
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1
	実践MOT	1後			2							兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1							兼2
共通科目	先端科学特別講義 I	1~2通		2			20	14		9		
	インターンシップ I	1~2通		2		1						兼1
	プロジェクトゼミナール I	1~2通		2			20	14		9		
	特別プレゼンテーション I	1~2通		1			20	14		9		
電気工学教育プログラム科目	半導体工学特論 I	1前		2		1						
	ナノ構造デバイス工学	1前		2		1						
	電子デバイス工学	1前		2		1						
	放電プラズマ工学特論 I	1前		2		1						
	放電プラズマ工学特論 II	1後		2				1				
	高電圧パルスパワー工学特論	1後		2		1						
	電力システム工学	1後		2				1				
	パワーエレクトロニクス技術	1前		2		1						
	環境エレクトロニクス工学	1後		2		1						
	非破壊検査工学	1前		2				1				
	植物バイオエレクトロニクス	1後		2		1						
	光計測工学特論	1後		2			1					
	ハルスパワー医療科学	1前		2		1						
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学	1後		2		1						
	半導体工学特論 II	1通		2		1						
	光デバイス特論	1通		2								兼1
	電力フロンティア工学特論A	1通		2		1	1					
	電力フロンティア工学特論B	1通		2		1	1					
	電気工学特別実習	1通		2		8	5					
	電気工学特別演習 I	1通	2			8	5			2		
電気工学特別演習 II	2通	2			8	5			2			
電気工学特別研究	1~2通	4			8	5			2			
専門応用科目	システム制御工学特論 I	1前		2		1						
	システム制御工学特論 II	1後		2		1						
	生体情報システム特論	1前		2		1						
	信号・画像処理特論 I	1前		2		1						
	信号・画像処理特論 II	1前		2		1						
	コンピュータビジョン	1後		2					1			
	マルチメディア信号処理工学特論	1後		2		1						
	無線通信工学特論	1後		2		1						
	電磁波回路工学	1後		2		1						
	情報理論応用	1前		2				1				
	デジタル情報解析特論	1後		2		1						
	電気自動車特論	1後		2					1			
	生体センシング工学	1通		2								兼2
	機械システム工学特論	1前		2		1						兼1
集積システム工学特論	1前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
電子工学教育プログラム科目	計算機セキュリティ特論	1後	2			1						
	計算機構成特論	1前	2				1					
	情報通信工学特論	1後	2			1						
	メディア情報処理論	1後	2			1						
電子工学教育プログラム科目	システム制御工学特論Ⅰ	1前	2			1						
	システム制御工学特論Ⅱ	1後	2			1						
	生体情報システム特論	1前	2			1						
	信号・画像処理特論Ⅰ	1前	2			1						
	信号・画像処理特論Ⅱ	1前	2			1						
	コンピュータビジョン	1後	2						1			
	マルチメディア信号処理工学特論	1後	2			1						
	無線通信工学特論	1後	2				1					
	電磁波回路工学	1後	2			1						
	情報理論応用	1前	2				1					
	デジタル情報解析特論	1後	2			1						
	電気自動車特論	1後	2				1					
	生体センシング工学	1通	2									兼2
電子工学特別実習	1通	2			6	5						
電子工学特別演習Ⅰ	1通	2			6	5			5			
電子工学特別演習Ⅱ	2通	2			6	5			5			
電子工学特別研究	1-2通	4			6	5			5			
電子工学教育プログラム科目	半導体工学特論Ⅰ	1前	2			1						
	ナノ構造デバイス工学	1前	2			1						
	電子デバイス工学	1前	2			1						
	放電プラズマ工学特論Ⅰ	1後	2			1						
	放電プラズマ工学特論Ⅱ	1後	2			1		1				
	高電圧パルスパワー工学特論	1後	2			1						
	電力システム工学	1後	2				1					
	パワーエレクトロニクス技術	1前	2			1						
	環境エレクトロニクス工学	1後	2			1						
	非破壊検査工学	1前	2				1					
	植物バイオエレクトロニクス	1後	2			1						
	光計測工学特論	1後	2			1						
	パルスパワー医療科学	1前	2			1						
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学	1後	2			1						
	半導体工学特論Ⅱ	1通	2			1						
	光デバイス特論	1通	2									兼1
	電力フロンティア工学特論A	1通	2			1	1					
	電力フロンティア工学特論B	1通	2			1	1					
	機械システム工学特論	1前	2			1						兼1
	計算機構成特論	1前	2				1					
計算機算法特論Ⅰ	1前	2			1							
計算機算法特論Ⅱ	1後	2			1							
分散システム論	1前	2				1						
集積システム工学特論	1前	2			1							
離散システム特論	1後	2			1							
計算機援用教育システム論	1後	2			1						兼1	
メディア情報処理論	1後	2			1						兼1	
計算機セキュリティ特論	1後	2			1							
プログラム言語論	1後	2				1						
データマイニング特論	1前	2			1							
情報通信工学特論	1後	2			1							
暗号理論	1通	2									兼2	
人工知能工学特論	1通	2									兼1	
電子工学教育プログラム科目	計算機構成特論	1前	2				1					
	分散システム論	1前	2				1					
	集積システム工学特論	1前	2			1						
	離散システム特論	1後	2			1						
	計算機算法特論Ⅰ	1前	2			1						
	計算機算法特論Ⅱ	1後	2			1						
	データマイニング特論	1前	2			1						
	プログラム言語論	1後	2				1					
	計算機セキュリティ特論	1後	2			1						
	情報通信工学特論	1後	2			1						
	メディア情報処理論	1後	2			1						兼1
	計算機援用教育システム論	1後	2			1						兼1
	暗号理論	1通	2									兼2
人工知能工学特論	1通	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
電子工学教育プログラム科目	計算機セキュリティ特論	1後	2			1						
	計算機構成特論	1前	2				1					
	情報通信工学特論	1後	2			1						
	メディア情報処理論	1後	2			1						兼1
電子工学教育プログラム科目	システム制御工学特論Ⅰ	1前	2			1						
	システム制御工学特論Ⅱ	1後	2			1						
	生体情報システム特論	1前	2			1						
	信号・画像処理特論Ⅰ	1前	2			1						
	信号・画像処理特論Ⅱ	1前	2			1						
	コンピュータビジョン	1後	2						1			
	マルチメディア信号処理工学特論	1後	2			1						
	無線通信工学特論	1後	2				1					
	電磁波回路工学	1後	2			1						
	情報理論応用	1前	2				1					
	デジタル情報解析特論	1後	2			1						
	電気自動車特論	1後	2				1					
	生体センシング工学	1通	2									兼2
電子工学特別実習	1通	2			6	5						
電子工学特別演習Ⅰ	1通	2			6	5			4			
電子工学特別演習Ⅱ	2通	2			6	5			4			
電子工学特別研究	1-2通	4			6	5			4			
電子工学教育プログラム科目	半導体工学特論Ⅰ	1前	2			1						
	ナノ構造デバイス工学	1前	2			1						
	電子デバイス工学	1前	2			1						
	放電プラズマ工学特論Ⅰ	1前	2			1						
	放電プラズマ工学特論Ⅱ	1後	2			1		1				
	高電圧パルスパワー工学特論	1後	2			1						
	電力システム工学	1後	2				1					
	パワーエレクトロニクス技術	1前	2			1						
	環境エレクトロニクス工学	1後	2			1						
	非破壊検査工学	1前	2				1					
	植物バイオエレクトロニクス	1後	2			1						
	光計測工学特論	1後	2			1						
	パルスパワー医療科学	1前	2			1						
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学	1後	2			1						
	半導体工学特論Ⅱ	1通	2			1						
	光デバイス特論	1通	2									兼1
	電力フロンティア工学特論A	1通	2			1	1					
	電力フロンティア工学特論B	1通	2			1	1					
	機械システム工学特論	1前	2			1						兼1
	計算機構成特論	1前	2				1					
計算機算法特論Ⅰ	1前	2			1							
計算機算法特論Ⅱ	1後	2			1							
分散システム論	1前	2				1						
集積システム工学特論	1前	2			1							
離散システム特論	1後	2			1							
計算機援用教育システム論	1前	2			1						兼1	
メディア情報処理論	1後	2			1						兼1	
計算機セキュリティ特論	1後	2			1							
プログラム言語論	1後	2				1						
データマイニング特論	1後	2			1							
情報通信工学特論	1後	2			1							
暗号理論	1通	2									兼2	
人工知能工学特論	1通	2									兼1	
電子工学教育プログラム科目	計算機構成特論	1前	2				1					
	分散システム論	1前	2				1					
	集積システム工学特論	1前	2			1						
	離散システム特論	1後	2			1						
	計算機算法特論Ⅰ	1前	2			1						
	計算機算法特論Ⅱ	1後	2			1						
	データマイニング特論	1前	2			1						
	プログラム言語論	1後	2				1					
	計算機セキュリティ特論	1後	2			1						
	情報通信工学特論	1後	2			1						
	メディア情報処理論	1後	2			1						兼1
	計算機援用教育システム論	1前	2			1						兼1
	暗号理論	1通	2									兼2
人工知能工学特論	1通	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	情報工学特別実習	1通	2			7	3					
	情報工学特別演習Ⅰ	1通	2			7	3		3			
	情報工学特別演習Ⅱ	2通	2			7	3		3			
	情報工学特別研究	1・2通	4			7	3		3			
情報工学教育プログラム科目	システム制御工学特論Ⅰ	1前		2			1					
	システム制御工学特論Ⅱ	1後		2		1						
	生体情報システム特論	1前		2			1					
	信号・画像処理特論Ⅰ	1前		2		1						
	信号・画像処理特論Ⅱ	1前		2			1					
	コンピュータビジョン	1後		2					1			
	マルチメディア信号処理工学特論	1後		2		1						
	無線通信工学特論	1後		2		1						
	電磁波回路工学	1後		2		1						
	情報理論応用	1前		2			1					
	デジタル情報解析特論	1後		2		1						
	電気自動車特論	1後		2			1					
	生体センシング工学	1通		2								兼2
	半導体工学特論Ⅰ	1前		2		1						
	ナノ構造デバイス工学	1前		2		1						
	電力システム工学	1後		2			1					
	環境エレクトロニクス工学	1後		2		1						
	非破壊検査工学	1前		2			1					
	植物バイオエレクトロニクス	1後		2			1					
	光計測工学特論	1後		2			1					
	パルスパワー医療科学	1前		2		1						
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学	1後		2		1						
	半導体工学特論Ⅱ	1通		2		1						
	光デバイス特論	1通		2								兼1
	電力フロンティア工学特論A	1通		2		1	1					
	電力フロンティア工学特論B	1通		2		1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	情報工学特別実習	1通		2					6	3			兼1
	情報工学特別演習Ⅰ	1通		2					6	3		3	兼1
	情報工学特別演習Ⅱ	2通		2					6	3		3	兼1
	情報工学特別研究	1・2通		4					6	3		3	兼1
情報工学教育プログラム科目	システム制御工学特論Ⅰ	1前			2					1			
	システム制御工学特論Ⅱ	1後			2			1					
	生体情報システム特論	1前			2					1			
	信号・画像処理特論Ⅰ	1前			2				1				
	信号・画像処理特論Ⅱ	1前			2					1			
	コンピュータビジョン	1後			2						1		
	マルチメディア信号処理工学特論	1後			2				1				
	無線通信工学特論	1後			2				1				
	電磁波回路工学	1後			2				1				
	情報理論応用	1前			2					1			
	デジタル情報解析特論	1後			2				1				
	電気自動車特論	1後			2					1			
	生体センシング工学	1通			2								兼2
	半導体工学特論Ⅰ	1前			2				1				
	ナノ構造デバイス工学	1前			2				1				
	電力システム工学	1後			2					1			
	環境エレクトロニクス工学	1後			2				1				
	非破壊検査工学	1前			2					1			
	植物バイオエレクトロニクス	1後			2					1			
	光計測工学特論	1後			2					1			
	パルスパワー医療科学	1前			2					1			
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学	1後			2					1			
	半導体工学特論Ⅱ	1通			2					1			
	光デバイス特論	1通			2								兼1
	電力フロンティア工学特論A	1通			2				1	1			
	電力フロンティア工学特論B	1通			2				1	1			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
  - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼7」から「教授1」「准教授1」「兼6」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学英語演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「先端科学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授11」「助教11」から「教授20」「准教授14」「助教9」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授11」「助教11」から「教授20」「准教授14」「助教9」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「特別プレゼンテーションⅠ」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授11」「助教11」から「教授20」「准教授14」「助教9」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「放電プラズマ工学特論Ⅰ」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「機械システム工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「メディア情報処理論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「コンピュータビジョン」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・誤謬のため、電子工学教育プログラム「無線通信工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「電子工学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授5」「助教5」から「准教授6」「助教4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「電子工学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授5」「助教5」から「准教授6」「助教4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「電子工学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授5」「助教5」から「准教授6」「助教4」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「計算機援用教育システム論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「計算機援用教育システム論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「データマイニング特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「人工知能工学特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「情報工学特別実習」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」「兼1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「情報工学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」「兼1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「情報工学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」「兼1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「情報工学特別研究」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」「兼1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	139 科目	9 科目	157 科目	9 科目 [ 0 ]	139 科目 [ 0 ]	9 科目 [ 0 ]	157 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 (H29.9.1から延長予定) H32.3.31まで延長 (30) 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29.4.1から H30.3.31(以降、毎 年度更新予定) H30.4.1からH31.3.31 (30) 494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H28.10.1から H30.9.30 331㎡		
	校 舎 敷 地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡			
	運 動 場 用 地	39,752( 0)㎡	0㎡	0㎡	39,752( 0)㎡			
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡			
	そ の 他	144,293( 0)㎡	0㎡	0㎡	144,293( 0)㎡			
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡			
(2) 校 舎	専 用	457,740㎡ ( 457,740㎡)	共 用 ( 0㎡)	共用する他の 学校等の専用 ( 1,112㎡)	計 ( 458,852㎡)	放送大学熊本学習センターの専用1,112㎡		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	12室 (補助職員 3人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	自然科学教育部 情報電気工学専攻			44 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		大学全体	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)
	計	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	12,347㎡		936		1,035,084			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	8,244㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	熊本大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
<b>【学部】</b>								
<b>文学部</b>								
総合人間学科	4	55	-	220	学士(文学)	1.03	平成17年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
歴史学科	4	35	-	140	学士(文学)	1.06	平成17年度	同上
文学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.01	平成17年度	同上
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士(文学)	1.16	平成17年度	同上
学部共通			3年次10	20	学士(文学)	-	平成11年度	同上
<b>教育学部</b>								
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士(教育学)	1.06	昭和24年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士(教育学)	1.13	昭和24年度	同上
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士(教育学)	1.11	平成19年度	同上
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	1.06	昭和52年度	同上
地域共生社会課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成12年度	同上
生涯スポーツ福祉課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成9年度	同上
<b>法学部</b>								
法学科	4	210	-	840	学士(法学)	1.02	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
学部共通			3年次10	20	学士(法学)	-	平成12年度	同上
<b>理学部</b>								
理学科	4	200	-	780	学士(理学)	1.01	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
<b>医学部</b>								
医学科	6	115	-	690	学士(医学)	1.00	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1.03	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号
保健学科共通			3年次16	32	学士(看護学、保健学)	-	平成18年度	同上
<b>薬学部</b>								
薬学科	6	55	-	330	学士(薬学)	1.01	平成18年度	熊本市中央区大江本町5番1号
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.02	平成18年度	同上
<b>工学部</b>								
土木建築学科	4	124	3年次10	124	学士(工学)	1.07	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

平成29年より学生募集停止  
平成29年より学生募集停止

機械数理工学科	4	109	3年次 10	109	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	149	学士 (工学)	1.04	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	131	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育実践専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	1.13	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	23	-	46	修士 (教育学)	1.00	平成21年度	同上	
教職実践開発専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.93	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学研究科									
(博士前期課程)									
公共政策学専攻	2	13	-	23	修士 (公共政策学、学術)	0.30	平成20年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学専攻	2	12	-	21	修士 (法学)	0.54	平成20年度	同上	
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	0.82	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	0.85	平成20年度	同上	
教授システム学専攻 (博士後期課程)	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.06	平成20年度	同上	
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.60	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.22	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部									
(博士前期課程)									
理学専攻	2	110	-	110	修士 (理学、学術)	0.80	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	75	修士 (工学、学術)	1.12	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	65	修士 (工学、学術)	1.07	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	103	修士 (工学、学術)	1.10	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻 (博士後期課程)	2	90	-	90	修士 (工学、学術)	1.08	平成30年度	同上	
理学専攻	3	12	-	12	博士 (理学、学術)	0.50	平成30年度	同上	

工学専攻	3	46	-	46	博士 (工学、学術)	0.41	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)									
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)									
医科学専攻 (博士課程)	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.67	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.78	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)									
保健学専攻 (博士後期課程)	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.91	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.16	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)									
創薬・生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.85	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学専攻 (博士課程)	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	0.93	平成24年度	同上	
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.99	平成24年度	同上	

大学院法曹養成研究科 (専門職学位課程) 法曹養成専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒 髪2丁目40番1号	平成28年より学生募 集停止
-----------------------------------	---	---	---	---	---------------	---	--------	-------------------------	-------------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学教育部 情報電気工学専攻（博士前期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	有次 正義 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 計算機算法特論Ⅰ 計算機算法特論Ⅱ 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究	専	教授	有次 正義 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 計算機算法特論Ⅰ 計算機算法特論Ⅱ 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究
専	教授	飯田 全広 <平成30年4月> インターンシップⅠ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ インターンシップⅠ 集積システム工学特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究	専	教授	飯田 全広 <平成30年4月> インターンシップⅠ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ インターンシップⅠ 集積システム工学特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究
専	教授	池上 知顕 <平成30年4月> 環境エレクトロニクス工学 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究	専	教授	池上 知顕 <平成30年4月> <b>先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ</b> 環境エレクトロニクス工学 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究
専	教授	上田 裕市 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ デジタル情報解析特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究	専	教授	上田 裕市 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ デジタル情報解析特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究
専	教授	宇佐川 毅 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ マルチメディア信号処理工学特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究 メディア情報処理論	専	教授	宇佐川 毅 <平成30年4月> <b>科学技術と社会Ⅱ</b> 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ マルチメディア信号処理工学特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究
専	教授	勝木 淳 <平成30年4月> 高電圧パルスパワー工学特論 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究	専	教授	勝木 淳 <平成30年4月> <b>先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナルⅠ 特別プレゼンテーションⅠ</b> 高電圧パルスパワー工学特論 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	久保田 弘 <平成30年4月>	専	教授	久保田 弘 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 半導体工学特論 I 半導体工学特論 II 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 半導体工学特論 I 半導体工学特論 II 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究
専	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月>	専	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月>
		放電プラズマ工学特 論 I パワーエレクトロニ クス技術 電力フロンティア工 学特論 A 電力フロンティア工 学特論 B 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究			科学技術と社会 I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 放電プラズマ工学特 論 I パワーエレクトロニ クス技術 電力フロンティア工 学特論 A 電力フロンティア工 学特論 B 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究
専	教授	櫻井 保志 <平成30年4月>	専	教授	櫻井 保志 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I データマイニング特 論 情報工学特別実習 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I データマイニング特 論 情報工学特別実習 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究
専	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月>	専	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月>
		情報通信工学特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究 計算機援用教育シ ステム論			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 情報通信工学特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究
専	教授	趙 華安 <平成30年4月>	専	教授	趙 華安 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 離散システム特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 離散システム特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究
専	教授	中村 有水 <平成30年4月>	専	教授	中村 有水 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I ナノ構造デバイス工 学 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I ナノ構造デバイス工 学 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	西本 昌彦 <平成30年4月>	専	教授	西本 昌彦 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 信号・画像処理特論 I 電子工学特別実習 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 信号・画像処理特論 I 電子工学特別実習 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究
専	教授	福迫 武 <平成30年4月>	専	教授	福迫 武 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 無線通信工学特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 無線通信工学特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究
専	教授	藤吉 孝則 <平成30年4月>	専	教授	藤吉 孝則 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電子デバイス工学 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電子デバイス工学 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究
専	教授	ホサノ ハミド <平成30年4月>	専	教授	ホサノ ハミド <平成30年4月>
		衝撃波バイオエレクトロクス科学 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 衝撃波バイオエレクトロクス科学 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究
専	教授	松島 章 <平成30年4月>	専	教授	松島 章 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電磁波回路工学 電子工学特別実習 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電磁波回路工学 電子工学特別実習 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究
専	教授	松永 信智 <平成30年4月>	専	教授	松永 信智 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I システム制御工学特論 II 電子工学特別実習 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究 機械システム工学特論			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I システム制御工学特論 II 電子工学特別実習 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究
専	教授	武蔵 泰雄 <平成30年4月>	専	教授	武蔵 泰雄 <平成30年4月>
		計算機セキュリティ特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 計算機セキュリティ特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	矢野 憲一 <平成30年4月>	専	教授	矢野 憲一 <平成30年4月>
		パルスパワー医療科学 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ パルスパワー医療科学 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究
専	准教授	芦原 評 <平成30年4月>	専	准教授	芦原 評 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 分散システム論 プログラム言語論 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 分散システム論 プログラム言語論 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究
専	准教授	伊賀崎 伴彦 <平成30年4月>	専	准教授	伊賀崎 伴彦 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 生体情報システム特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 生体情報システム特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究
専	准教授	王 斗艶 <平成30年4月>	専	准教授	王 斗艶 <平成30年4月>
		植物バイオエレクトロニクス 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 植物バイオエレクトロニクス 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究
専	准教授	大館 陽太 <平成30年4月>	専	准教授	大館 陽太 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究
専	准教授	岡島 寛 <平成30年4月>	専	准教授	岡島 寛 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ システム制御工学特論Ⅰ 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ システム制御工学特論Ⅰ 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究
専	准教授	緒方 公一 <平成30年4月>	専	准教授	緒方 公一 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 信号・画像処理特論Ⅱ 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 信号・画像処理特論Ⅱ 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	久我 守弘 <平成30年4月>	専	准教授	久我 守弘 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 計算機構成特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 計算機構成特論 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究
			専	准教授	上瀧 剛 <平成30年4月>
					先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ コンピュータビジョン 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究
専	准教授	小林 牧子 <平成30年4月>	専	准教授	小林 牧子 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 非破壊検査工学 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 非破壊検査工学 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究
			専	准教授	磯崎 智 <平成30年4月>
					人工知能工学特論
専	准教授	常田 明天 <平成30年4月>	専	准教授	常田 明天 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 情報理論応用 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 情報理論応用 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究
専	准教授	浪平 隆男 <平成30年4月>	専	准教授	浪平 隆男 <平成30年4月>
		放電プラズマ工学特論Ⅱ 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 放電プラズマ工学特論Ⅱ 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究
専	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>	専	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 電気自動車特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究			科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 電気自動車特論 電子工学特別実習 電子工学特別演習Ⅰ 電子工学特別演習Ⅱ 電子工学特別研究
専	准教授	光木 文秋 <平成30年4月>	専	准教授	光木 文秋 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 光計測工学特論 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究			先端科学特別講義Ⅰ プロジェクトゼミ ナールⅠ 特別プレゼンテーションⅠ 光計測工学特論 電気工学特別実習 電気工学特別演習Ⅰ 電気工学特別演習Ⅱ 電気工学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	宮内 肇 <平成30年4月>	専	准教授	宮内 肇 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電力システム工学 電力フロンティア工学 特論 A 電力フロンティア工学 特論 B 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電力システム工学 電力フロンティア工学 特論 A 電力フロンティア工学 特論 B 電気工学特別実習 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究
専	助教	尼崎 太樹 <平成30年4月>	専	助教	尼崎 太樹 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究
専	助教	木山 真人 <平成30年4月>	専	助教	木山 真人 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究
専	助教	久世 竜司 <平成30年4月>	専	助教	久世 竜司 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究
専	助教	上瀧 剛 <平成30年4月>			
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I コンピュータビジョン 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			
専	助教	坂田 聡 <平成30年4月>	専	助教	坂田 聡 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究
専	助教	末吉 哲朗 <平成30年4月>	専	助教	末吉 哲朗 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究
専	助教	田邊 将之 <平成30年4月>	専	助教	田邊 将之 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	松原 靖子 <平成30年4月>	専	助教	
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I			
専	助教	眞鍋 雄貴 <平成30年4月>	専	助教	眞鍋 雄貴 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 情報工学特別演習 I 情報工学特別演習 II 情報工学特別研究
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究			
専	助教	谷田部 然治 <平成30年4月>	専	助教	谷田部 然治 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 電気工学特別演習 I 電気工学特別演習 II 電気工学特別研究
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			
専	助教	山川 俊貴 <平成30年4月>	専	助教	山川 俊貴 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 電子工学特別演習 I 電子工学特別演習 II 電子工学特別研究			
兼任	教授	赤井 一郎 <平成30年4月>	兼任	教授	赤井 一郎 <平成30年4月> 科学技術と社会 I
		科学技術と社会 I			
兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月>	兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 科学技術と社会 I
		科学技術と社会 I			
					<b>伊田 蓮太郎</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b> <b>科学技術と社会 II</b>
兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月>	兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 日本の先端科学 I 科学技術英語特論
		日本の先端科学 I 科学技術英語特論			
					<b>金 大弘</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b> <b>インターンシップ I</b>
兼任	教授	洪谷 秀敏 <平成30年4月>	兼任	教授	洪谷 秀敏 <平成30年4月> 科学技術と社会 II
		科学技術と社会 II			
兼任	教授	高島 和希 <平成30年4月>	兼任	教授	高島 和希 <平成30年4月> 科学技術と社会 I
		科学技術と社会 I			
					<b>高宮 正之</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b> <b>科学技術と社会 II</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	富峯 利行 <平成30年4月>	兼担	教授	富峯 利行 <平成30年4月>
		技術革新のための基礎科学			技術革新のための基礎科学
兼担	教授	戸田 真志 <平成30年4月>	兼担	教授	戸田 真志 <平成30年4月>
		情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究			メディア情報処理論 情報工学特別実習 情報工学特別演習Ⅰ 情報工学特別演習Ⅱ 情報工学特別研究
兼担	教授	中西 義孝 <平成30年4月>	兼担	教授	中西 義孝 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ
兼担	教授	中野 裕司 <平成30年4月>	兼担	教授	中野 裕司 <平成30年4月>
		計算機援用教育システム論			計算機援用教育システム論
			兼担	教授	長谷中 利明 <平成30年4月> 現代社会理解A
兼担	教授	速水 真也 <平成30年4月>	兼担	教授	速水 真也 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ
			兼担	教授	原田 博之 <平成30年4月>
		機械システム工学特論			
			兼担	教授	森 和也 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			
兼担	教授	山成 實 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅰ			
兼担	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>	兼担	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅰ
兼担	准教授	北別府 悠 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅰ			
兼担	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月>	兼担	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅰ
兼担	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>	兼担	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	中村 政明 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅱ			
兼任	准教授	水本 郁朗 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅱ			
兼任	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>			
		科学技術と社会Ⅱ			
			兼任	助教	山口 信 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ
			兼任	講師	磯村 大成 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月> ベンチャー企業論	兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	上原 聡 <平成30年4月> 暗号理論	兼任	講師	上原 聡 <平成30年10月> 暗号理論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月> 現代社会理解A MOT概論・基礎編	兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月> 現代社会理解A 企業経営概論
			兼任	講師	加藤 文元 <平成30年4月> 科学の歴史
			兼任	講師	川人 業 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年4月> MOT概論・基礎編	兼任	講師	来海 和彦 <平成30年10月> 企業経営概論
			兼任	講師	釘宮 智也 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月> ベンチャー企業論	兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	小宮山 進 <平成30年10月> 光デバイス特論	兼任	講師	小宮山 進 <平成30年10月> 光デバイス特論
兼任	講師	嵯峨 智 <平成30年4月> 人工知能工学特論			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 敬 <平成30年10月>	兼任	講師	佐藤 敬 <平成30年10月>
		暗号理論			暗号理論
			兼任	講師	春藤 龍士 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月>	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月>
		科学の歴史			科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月>	兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月>
		マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論			技術革新のための基礎科学 マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論
			兼任	講師	田子 学 <平成30年10月> マネジメント概論 プロジェクトマネジメント
兼任	講師	David Bermingham <平成30年9月>	兼任	講師	David Bermingham <平成30年9月>
		科学英語演習 I			科学英語演習 I
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>	兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B			現代社会理解B
兼任	講師	納富 真嘉 <平成30年4月>	兼任	講師	納富 真嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
兼任	講師	林 健司 <平成30年4月>	兼任	講師	林 健司 <平成30年4月>
		生体センシング工学特論			生体センシング工学特論
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>	兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
			兼任	講師	古塵 弘 <平成30年10月> マネジメント概論 企業経営概論
			兼任	講師	村ノ 翔 <平成30年4月> 科学英語演習 I
			兼任	講師	JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR <平成30年10月> 科学の歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>	兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>
		生産マネジメント			生産マネジメント
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>	兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>
		MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論
兼任	講師	八木 哲也 <平成30年4月>	兼任	講師	八木 哲也 <平成30年4月>
		生体センシング工学			生体センシング工学
			兼任	講師	吉永 純一 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>	兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>
		科学英語演習Ⅱ			科学英語演習Ⅱ マネジメント概論
			兼任	講師	Laura Huston <平成30年8月> 技術革新のための基礎科学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育上の効果を高めるため、池上知顕教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、宇佐川毅教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、勝木淳教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、佐久川貴志教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、杉谷賢一教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、ホサノハミド教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、松永信智教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、武藏泰雄教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、矢野憲一教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、王斗艶准教授の担当科目を追加。
- ・昇任により、平成30年1月から上瀬剛助教を准教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月嵯峨智准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、浪平隆男准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊田進太郎教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金大弘教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高宮正之教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、戸田真志教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月長谷中利明教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月原田博之教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月森和也教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山成實教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、オノ木教士准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山口信助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、大熊恵治講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人紫講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、来海和彦講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月釘宮哲也講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、瀬戸康雄講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ホサノ ヌーシン講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月JOSEF-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、Robert Geoffrey Dormer講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
15	10	0
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	教授	准教授	講師	助教	計（C）
20	13	0	10	43	20	15	0	9	44	20	15	0	9	44
(21)	(13)	(0)	(11)	(45)						[0]	[2]	[0]	[△2]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
36	7	0			37	7	0			37	7	0		
(37)	(7)	(0)								[1]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 現在（報告書提出時）の状況には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{44}{43} = \boxed{102.32} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{44} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計 該当なし

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率 該当なし

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修		科目		必修		科目		必修	科目
	選択		科目		選択		科目		選択	科目
	自由		科目		自由		科目		自由	科目
	計		科目		計		科目		計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<自然科学教育部 博士前期課程 情報電気工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

自然科学教育部FD委員会を設置している。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成29年4月25日 第1回FD委員会（14名中14名参加）
- ・平成29年6月12日 第2回FD委員会（14名中12名参加）
- ・平成30年2月7日 第3回FD委員会（メール開催）
- ・平成30年3月12日 第4回FD委員会（メール開催）

#### c 委員会の審議事項等

- ・年間の活動計画
- ・シラバスチェック
- ・FD講演会について

### ② 実施状況

#### a 実施内容

1. FD講演会：日々の授業でMoodle を活用する。
2. シラバスチェック
3. FD実施体制の検討
4. 教員相互の授業参観

#### b 実施方法

1. FD講演会：総合情報統括センター実習室にて本学教授システム学研究センターより講師を迎えて「日々の授業でMoodleを活用する」のタイトルで実施。
2. シラバスチェック：FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを8月中旬～9月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。
3. FD実施体制の検討：FD実施体制について委員会で検討した。
4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD講演会：平成30年3月27日（火） 教員12名参加
2. シラバスチェック：平成29年8月21日～9月29日 12コース・教育プログラムで実施
3. FD実施体制の検討：平成29年8月 FD委員による意見交換
4. 教員相互の授業参観：平成29年6月～平成30年2月に理学部、工学部と合同で実施  
（大学院のみの授業参観者数 4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD講演会で修得したMoodle活用の技術により、担当教員は授業科目等を熊本大学統合認証対応システムー全学LMS（e-Leamind）Moodleシステムへ登録し活用している。
- ・ 新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。
- ・ FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。
- ・ 授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有 年4回（授業終了時）に予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。  
平成30年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度に自己評価を行い、平成31年4月以降公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (  有 ・  無 )

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

## (2) 大学名

熊本大学大学院

## (3) 大学の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカワ フサ) 市川 聡夫 (平成30年4月)		
専攻長	(イダ シンタロウ) 伊田 進太郎 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学教育部 材料・応用化学専攻 (博士前期課程)  修士(工学) 修士(学術)	工学関係	2年	90人	180人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90人 ( ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	1.08倍			
志願者数	116 ( 1 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
受験者数	112 ( 1 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
合格者数	102 ( 1 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
B 入学者数	98 ( 1 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	1.08		-					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	98 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		
計	98 [ 2 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	98 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			平成31年度	- 人	- 人	
合計	98 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{98} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<自然科学教育部 材料・応用化学専攻（博士前期課程）>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端科学科目	科学技術と社会Ⅰ	1・2前		1		1						兼7
	科学技術と社会Ⅱ	1・2後		1			1					兼7
	日本の先端科学Ⅰ	1・2通			2							兼1
	科学技術英語特論	1・2通			2							兼1
	科学英語演習Ⅰ	1前		1								兼1
	科学英語演習Ⅱ	1後		1								兼1
	現代社会理解 A	1・2通		1								兼1
	現代社会理解 B	1・2通		1								兼1
	技術革新のための基礎科学	1・2通		1								兼1
	マネジメント概論	1・2通		1								兼1
理工融合教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼4
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1
	実践MOT	1後			2							兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1							兼1
	生産マネジメント	1後			1							兼1
	企業経営概論	1後			1							兼1
	ベンチャー企業論	1前			1							兼5
	先端科学特別講義Ⅰ	1～2通		2		12	18		8			
	インターンシップⅠ	1・2通		2		1						
	プロジェクトゼミナールⅠ	1～2通		2		12	18		8			
特別プレゼンテーションⅠ	1・2通		1		12	18		8				
応用生命化学教育プログラム科目	高分子ナノ構造制御論	1前		1		1						
	高分子複合材料特論	2前		1			1					
	生物分析科学特論	1後		1		1						
	有機材料化学特論	1前		1		1						
	高分子分離材料特論	1後		1			1					
	医用ナノ材料学	2後		1		1						
	酵素機能化学特論	2後		1								兼1
	生体機能化学特論	2後		1			1					
	光機能化学特論	2前		1			1					
	応用生命化学特別講義	1後		2								兼5
	応用生命化学特別演習Ⅰ	1通	4			4	4		4			
	応用生命化学特別演習Ⅱ	2通	4			4	4		4			
	触媒化学	1前		1		1						
	量子分子機能特論	1前		1			1					
	構造無機化学特論	1後		1			1					
無機材料化学特論	2後		1		1							
機能材料プロセス工学特論	1後		1		1							
反応工学特論	2前		1			1						
応用電気化学特論	2前		1			1						
界面構造化学特論	2前		1			1						
応用物質化学特別講義	1前		2								兼5	
応用物質化学教育プログラム科目	触媒化学	1前		1		1						
	量子分子機能特論	1前		1			1					
	構造無機化学特論	1後		1			1					
	無機材料化学特論	2後		1		1						
	機能材料プロセス工学特論	1後		1		1						
	反応工学特論	2前		1			1					
	応用電気化学特論	2前		1			1					
	界面構造化学特論	2前		1			1					
	応用物質化学特別講義	1前		2								兼5
	応用物質化学特別演習Ⅰ	1通	4			3	5		3			
	応用物質化学特別演習Ⅱ	2通	4			3	5		3			
	高分子ナノ構造制御論	1前		1		1						
	高分子複合材料特論	2前		1			1					
	生物分析科学特論	1後		1		1						
	有機材料化学特論	1前		1		1						
高分子分離材料特論	1後		1			1						
医用ナノ材料学	2後		1		1							

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端科学科目	科学技術と社会Ⅰ	1・2前		1		1		1				兼6
	科学技術と社会Ⅱ	1・2後		1			1					兼7
	日本の先端科学Ⅰ	1・2通			2							兼1
	科学技術英語特論	1・2通			2							兼1
	科学英語演習Ⅰ	1前		1								兼2
	科学英語演習Ⅱ	1後		1								兼1
	現代社会理解 A	1・2通		1								兼3
	現代社会理解 B	1・2通		1								兼1
	技術革新のための基礎科学	1・2通		1								兼3
	マネジメント概論	1・2通		1								兼7
理工融合教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼1
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1
	実践MOT	1後			2							兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1							兼2
	生産マネジメント	1後			1							兼1
	企業経営概論	1後			1							兼6
	ベンチャー企業論	1前			1							兼5
	先端科学特別講義Ⅰ	1～2通		2		14	18		7			
	インターンシップⅠ	1・2通		2		1						兼1
	プロジェクトゼミナールⅠ	1～2通		2		14	18		7			
特別プレゼンテーションⅠ	1・2通		1		14	18		7				
応用生命化学教育プログラム科目	高分子ナノ構造制御論	1前		1		1						
	高分子複合材料特論	2前		1			1					
	生物分析科学特論	1後		1		1						
	有機材料化学特論	1前		1		1						
	高分子分離材料特論	1後		1			1					
	医用ナノ材料学	2後		1		1						
	酵素機能化学特論	2後		1				1				
	生体機能化学特論	2後		1			1					
	光機能化学特論	2前		1			1					
	応用生命化学特別講義	1後		2								兼2
	応用生命化学特別演習Ⅰ	1通	4			4	4		4			
	応用生命化学特別演習Ⅱ	2通	4			4	4		4			
	触媒化学	1前		1		1						
	量子分子機能特論	1前		1			1					
	構造無機化学特論	1後		1			1					
無機材料化学特論	2後		1		1							
機能材料プロセス工学特論	1後		1		1							
反応工学特論	2前		1			1						
応用電気化学特論	2前		1			1						
界面構造化学特論	2前		1			1						
応用物質化学特別講義	1後		2								兼1	
応用物質化学教育プログラム科目	触媒化学	1前		1		1						
	量子分子機能特論	1前		1			1					
	構造無機化学特論	1後		1			1					
	無機材料化学特論	2後		1		1						
	機能材料プロセス工学特論	1後		1		1						
	反応工学特論	2前		1			1					
	応用電気化学特論	2前		1			1					
	界面構造化学特論	2前		1			1					
	応用物質化学特別講義	1後		2								兼1
	応用物質化学特別演習Ⅰ	1通	4			4	5		2			
	応用物質化学特別演習Ⅱ	2通	4			4	5		2			
	高分子ナノ構造制御論	1前		1		1						
	高分子複合材料特論	2前		1			1					
	生物分析科学特論	1後		1		1						
	有機材料化学特論	1前		1		1						
高分子分離材料特論	1後		1			1						
医用ナノ材料学	2後		1		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用科目 応用物性化学特別演習	酵素機能化学特論	2後		1							兼1
	生体機能化学特論	2後		1			1				
	光機能化学特論	2前		1			1				
	応用生命化学特別講義	1後		2							兼5
物質材料工学 基礎科目	材料塑性工学	1前		2		1					
	材料界面物性学	1前		2		1					
	材料界面電子化学	1前		2			1				
	連続体力学	1前		2			1				
	凝固理論	1後		2			1				
	物質材料工学特別演習 I	1通	4			5	7		1		
	物質材料工学特別演習 II	2通	4			5	7		1		
	計算材料工学	1後		2		1					
	非平衡材料工学	1前		2		1					
	電子材料物性学	1後		2			1				
専門応用科目 教育プログラム科目	機能性セラミックス材料工学	1後		2		1					
	環境材料強度学	1後		2			1				
	先端材料工学	1後		2			1				
	微細構造評価学	1前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用科目 応用物性化学特別演習	酵素機能化学特論	2後		1						1	
	生体機能化学特論	2後		1						1	
	光機能化学特論	2前		1						1	
	応用生命化学特別講義	1後		2							兼2
物質材料工学 基礎科目	材料塑性工学	1前		2		1					
	材料界面物性学	1前		2		1					
	材料界面電子化学	1前		2			1				
	連続体力学	1前		2			1				
	凝固理論	1前		2			1				
	物質材料工学特別演習 I	1通	4					6	6		1
	物質材料工学特別演習 II	2通	4					6	6		1
	計算材料工学	1後		2		1					
	非平衡材料工学	1前		2		1					
	電子材料物性学	1後		2			1				
専門応用科目 教育プログラム科目	機能性セラミックス材料工学	1前		2				1			
	環境材料強度学	1後		2				1			
	先端材料工学	1後		2				1			
	微細構造評価学	1前		2				1			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「兼7」から「教授1」「准教授1」「兼6」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼7」から「教授1」「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学英語演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「先端科学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授12」「准教授18」「助教8」から「教授14」「准教授18」「助教7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「プロジェクトゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授12」「准教授18」「助教8」から「教授14」「准教授18」「助教7」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「特別プレゼンテーションⅠ」の専任教員等の配置を「教授12」「准教授18」「助教8」から「教授14」「准教授18」「助教7」に変更。
- ・誤謬により、「酵素機能化学特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「応用生命化学特別講義」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼2」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「応用物質化学特別講義」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「応用物質化学特別講義」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「応用物質化学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」「助教3」から「教授4」「助教2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「応用物質化学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」「助教3」から「教授4」「助教2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「凝固理論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「物質材料工学特別演習Ⅰ」の担当教員を「教授5」「准教授7」から「教授6」「准教授6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「物質材料工学特別演習Ⅱ」の担当教員を「教授5」「准教授7」から「教授6」「准教授6」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「機能性セラミックス材料工学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「環境材料強度学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	63 科目	9 科目	78 科目	6 科目	63 科目	9 科目	78 科目	
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{78} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 (H29.9.1から延長予定) H32.3.31まで延長 (30) 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29.4.1から H30.3.31(以降、毎 年度更新予定) H30.4.1からH31.3.31 (30) 494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H28.10.1から H30.9.30 331㎡	
	校 舎 敷 地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡		
	運 動 場 用 地	39,752( 0)㎡	0㎡	0㎡	39,752( 0)㎡		
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡		
	そ の 他	144,293( 0)㎡	0㎡	0㎡	144,293( 0)㎡		
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡		
(2) 校 舎	専 用	457,740㎡ ( 457,740㎡)	共 用 0㎡ ( 0㎡)	共用する他の 学校等の専用 1,112㎡ ( 1,112㎡)	計 458,852㎡ ( 458,852㎡)	放送大学熊本学習センターの専用1,112㎡	
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体
(3) 教 室 等	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	12室 (補助職員 3人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		室	
	自然科学教育部 材料応用・化学専攻			39			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
		大学全体	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)
	計	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)
	(6) 図 書 館	面 積 12,347㎡	閱 覧 座 席 数 936	収 納 可 能 冊 数 1,035,084	大学全体		
(7) 体 育 館	面 積 8,244㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等				大学全体	
	(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度
教員1人当り研究費等		千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
共同研究費等		千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
学生1人当り納付金		第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	熊本大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<b>【学部】</b>									
<b>文学部</b>									
総合人間学科	4	55	-	220	学士(文学)	1.03	平成17年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
歴史学科	4	35	-	140	学士(文学)	1.06	平成17年度	同上	
文学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.01	平成17年度	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士(文学)	1.16	平成17年度	同上	
学部共通			3年次10	20	学士(文学)	-	平成11年度	同上	
<b>教育学部</b>									
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士(教育学)	1.06	昭和24年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士(教育学)	1.13	昭和24年度	同上	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士(教育学)	1.11	平成19年度	同上	
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	1.06	昭和52年度	同上	
地域共生社会課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
生涯スポーツ福祉課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成9年度	同上	平成29年より学生募集停止
<b>法学部</b>									
法学科	4	210	-	840	学士(法学)	1.02	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
学部共通			3年次10	20	学士(法学)	-	平成12年度	同上	
<b>理学部</b>									
理学科	4	200	-	780	学士(理学)	1.01	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
<b>医学部</b>									
医学科	6	115	-	690	学士(医学)	1.00	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1.03	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次16	32	学士(看護学、保健学)	-	平成18年度	同上	
<b>薬学部</b>									
薬学科	6	55	-	330	学士(薬学)	1.01	平成18年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.02	平成18年度	同上	
<b>工学部</b>									
土木建築学科	4	124	3年次10	124	学士(工学)	1.07	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	

機械数理工学科	4	109	3年次 10	109	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	149	学士 (工学)	1.04	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	131	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育実践専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	1.13	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	23	-	46	修士 (教育学)	1.00	平成21年度	同上	
教職実践開発専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.93	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学研究科									
(博士前期課程)									
公共政策学専攻	2	13	-	23	修士 (公共政策学、学術)	0.30	平成20年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学専攻	2	12	-	21	修士 (法学)	0.54	平成20年度	同上	
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	0.82	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	0.85	平成20年度	同上	
教授システム学専攻 (博士後期課程)	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.06	平成20年度	同上	
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.60	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.22	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部									
(博士前期課程)									
理学専攻	2	110	-	110	修士 (理学、学術)	0.80	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	75	修士 (工学、学術)	1.12	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	65	修士 (工学、学術)	1.07	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	103	修士 (工学、学術)	1.10	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻 (博士後期課程)	2	90	-	90	修士 (工学、学術)	1.08	平成30年度	同上	
理学専攻	3	12	-	12	博士 (理学、学術)	0.50	平成30年度	同上	

工学専攻	3	46	-	46	博士 (工学、学術)	0.41	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)									
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)									
医科学専攻 (博士課程)	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.67	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.78	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)									
保健学専攻 (博士後期課程)	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.91	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.16	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)									
創薬・生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.85	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学専攻 (博士課程)	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	0.93	平成24年度	同上	
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.99	平成24年度	同上	

大学院法曹養成研究科 (専門職学位課程) 法曹養成専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	平成28年より学生募集停止
-----------------------------------	---	---	---	---	---------------	---	--------	---------------------	---------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	安藤 新二 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 材料塑性工学 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 計算材料工学	専	教授	安藤 新二 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 材料塑性工学 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 計算材料工学
		伊田 進太郎 <平成30年4月>	インターンシップ I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 無機材料化学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II			伊田 進太郎 <平成30年4月>	科学技術と社会 II インターンシップ I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 無機材料化学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II
専	教授	井原 敏博 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 生物分析科学特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II	専	教授	井原 敏博 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 生物分析科学特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
		河村 能人 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 非平衡材料工学			河村 能人 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 非平衡材料工学
専	教授	木田 徹也 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 機能材料プロセス工学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II	専	教授	木田 徹也 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 機能材料プロセス工学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II
		國武 雅司 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 高分子ナノ構造制御論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II			國武 雅司 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 高分子ナノ構造制御論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	教授	河村 能人 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 非平衡材料工学	専	教授	河村 能人 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 非平衡材料工学
		QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II			QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナル I 特別プレゼンテーション I 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	栗原 清二 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 有機材料化学特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II	専	教授	栗原 清二 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 有機材料化学特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	教授	高島 和希 <平成30年4月>	科学技術と社会 I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II	専	教授	高島 和希 <平成30年4月>	科学技術と社会 I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II
専	教授	連川 真弘 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 材料界面物性学 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II	専	教授	連川 真弘 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 材料界面物性学 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II
専	教授	新留 琢郎 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 医用ナノ材料学 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II	専	教授	新留 琢郎 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 医用ナノ材料学 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	教授	町田 正人 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 触媒化学 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II	専	教授	町田 正人 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 触媒化学 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II
専	教授	松田 元秀 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 機能性セラミックス 材料工学	専	教授	松田 元秀 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 機能性セラミックス 材料工学
				専	教授	峯 洋二 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 環境材料強度学
専	准教授	緒方 智成 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I	専	准教授	緒方 智成 <平成30年4月>	先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	鯉沼 陸央 <平成30年4月>	専	准教授	鯉沼 陸央 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 構造無機化学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 構造無機化学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II
専	准教授	小塚 敏之 <平成30年4月>	専	准教授	小塚 敏之 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 凝固理論 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 凝固理論 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II
専	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月>	専	准教授	坂田 真砂代 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 高分子分離材料特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II			科学技術と社会 I 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 高分子分離材料特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	准教授	佐々木 満 <平成30年4月>	専	准教授	佐々木 満 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 反応工学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 反応工学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II
専	准教授	杉本 学 <平成30年4月>	専	准教授	杉本 学 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 量子分子機能特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 量子分子機能特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II
専	准教授	高藤 誠 <平成30年4月>	専	准教授	高藤 誠 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 高分子複合材料特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 高分子複合材料特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	准教授	西山 勝彦 <平成30年4月>	専	准教授	西山 勝彦 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用電気化学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用電気化学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	橋新 剛 <平成30年4月>	専	准教授	橋新 剛 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 先端材料工学			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 先端材料工学
専	准教授	深港 豪 <平成30年4月>	専	准教授	深港 豪 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 光機能化学特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 光機能化学特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	准教授	松田 光弘 <平成30年4月>	専	准教授	松田 光弘 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 微細構造評価学			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 微細構造評価学
専	准教授	眞山 剛 <平成30年4月>	専	准教授	眞山 剛 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 連続体力学 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 連続体力学 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II
専	准教授	峯 洋二 <平成30年4月>			
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 環境材料強度学			
専	准教授	森村 茂 <平成30年4月>	専	准教授	森村 茂 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 生体機能化学特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 生体機能化学特論 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	准教授	山口 佳宏 <平成30年4月>	専	准教授	山口 佳宏 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I <b>酵素機能化学特論</b>
専	准教授	山崎 倫昭 <平成30年4月>	専	准教授	山崎 倫昭 <平成30年4月>
		先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 材料界面電子化学 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II			先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 材料界面電子化学 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名
専	准教授	横井 裕之 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 電子材料物性学	横井 裕之 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II 電子材料物性学
専	准教授	吉本 惣一郎 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 界面構造化学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II	吉本 惣一郎 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 界面構造化学特論 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II
			太田 広人 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I
専	助教	太田 広人 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I	
専	助教	勝田 陽介 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II	勝田 陽介 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	助教	QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用物質化学特別演習 I 応用物質化学特別演習 II	
専	助教	北原 弘基 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II	北原 弘基 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 物質材料工学特別演習 I 物質材料工学特別演習 II
専	助教	北村 裕介 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II	北村 裕介 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II
専	助教	金 善南 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II	金 善南 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテーション I 応用生命化学特別演習 I 応用生命化学特別演習 II

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	桑原 榎 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 応用生命化学特別演 習 I 応用生命化学特別演 習 II	専	助教	桑原 榎 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 応用生命化学特別演 習 I 応用生命化学特別演 習 II
		日隈 聡士 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 応用物質化学特別演 習 I 応用物質化学特別演 習 II			日隈 聡士 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 応用物質化学特別演 習 I 応用物質化学特別演 習 II
専	助教	渡邊 智 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 応用物質化学特別演 習 I 応用物質化学特別演 習 II	専	助教	渡邊 智 <平成30年4月> 先端科学特別講義 I プロジェクトゼミ ナール I 特別プレゼンテー ション I 応用物質化学特別演 習 I 応用物質化学特別演 習 II
		赤井 一郎 <平成30年4月> 科学技術と社会 I			赤井 一郎 <平成30年4月> 科学技術と社会 I
兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 科学技術と社会 I	兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 科学技術と社会 I
兼任	教授	入江 亮 <平成30年4月> 酵素機能化学特論 応用生命化学特別講 義 応用物質化学特別講 義			
			兼任	教授	宇佐川 敏 <平成30年4月> 科学技術と社会 II
兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 日本の先端科学 I 科学技術英語特論	兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 日本の先端科学 I 科学技術英語特論
			兼任	教授	金 大弘 <平成30年4月> インターンシップ I
兼任	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 科学技術と社会 I	兼任	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 科学技術と社会 I
兼任	教授	洪谷 秀敏 <平成30年4月> 科学技術と社会 II	兼任	教授	洪谷 秀敏 <平成30年4月> 科学技術と社会 II
			兼任	教授	高宮 正之 <平成30年4月> 科学技術と社会 II

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	富峯 利行 <平成30年4月>	兼任	教授	富峯 利行 <平成30年4月>
		技術革新のための基礎科学			技術革新のための基礎科学
兼任	教授	戸田 敬 <平成30年4月>			
		応用生命化学特別講義 応用物質化学特別講義			
兼任	教授	中西 義孝 <平成30年4月>	兼任	教授	中西 義孝 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I			科学技術と社会 I
			兼任	教授	長谷中 利明 <平成30年4月> 現代社会理解A
兼任	教授	速水 真也 <平成30年4月>	兼任	教授	速水 真也 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II			科学技術と社会 II
兼任	准教授	松田 真生 <平成30年4月>			
		応用生命化学特別講義 応用物質化学特別講義			
			兼任	教授	森 和也 <平成30年4月> 科学技術と社会 II
兼任	教授	山成 實 <平成30年4月>			
		科学技術と社会 I			
兼任	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>	兼任	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II			科学技術と社会 I
兼任	准教授	北別府 悠 <平成30年4月>			
		科学技術と社会 I			
兼任	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>	兼任	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I			科学技術と社会 I
兼任	准教授	中村 政明 <平成30年4月>			
		科学技術と社会 II			
専	准教授	水本 郁朗 <平成30年4月>			
兼任	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>			
		科学技術と社会 II			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月>
		現代社会理解A MOT概論・基礎編
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年4月>
		MOT概論・基礎編
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	坂口 正士 <平成30年4月>
		応用物質化学特別講義
兼任	講師	塩崎 功一 <平成30年4月>
		応用物質化学特別講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ
兼任	助教	山口 慎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ
兼任	講師	磯村 大成 <平成30年10月>
		マネジメント概論
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月>
		現代社会理解A 企業経営概論
兼任	講師	加藤 文元 <平成30年4月>
		科学の歴史
兼任	講師	川人 崇 <平成30年10月>
		マネジメント概論
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年10月>
		企業経営概論
兼任	講師	釘宮 哲也 <平成30年10月>
		企業経営概論
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	坂口 正士 <平成30年9月>
		応用物質化学特別講義
兼任	講師	春藤 龍士 <平成30年10月>
		企業経営概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月>
		科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月>
		マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論
兼任	講師	David Bermingham <平成30年9月>
		科学英語演習 I
兼任	講師	友清 和彦 <平成30年4月>
		応用生命化学特別講義
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B
兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	濱本 高義 <平成30年4月>
		応用生命化学特別講義
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月>
		科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月>
		<b>技術革新のための基礎科学</b> マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論
兼任	講師	<b>田子 学</b> <平成30年10月>
		<b>マネジメント概論 プロジェクトマネジメント</b>
兼任	講師	David Bermingham <平成30年9月>
		科学英語演習 I
兼任	講師	友清 和彦 <平成30年9月>
		応用生命化学特別講義
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B
兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	濱本 高義 <平成30年9月>
		応用生命化学特別講義
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	<b>古屋 弘</b> <平成30年10月>
		<b>マネジメント概論 企業経営概論</b>
兼任	講師	<b>村ノ 晃之</b> <平成30年4月>
		<b>科学英語演習 I</b>
兼任	講師	<b>JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR</b> <平成30年10月>
		<b>科学の歴史</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>	兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>
		生産マネジメント			生産マネジメント
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>	兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>
		MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論
			兼任	講師	吉永 純一 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>	兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>
		科学英語演習Ⅱ			科学英語演習Ⅱ マネジメント概論
			兼任	講師	Laura Huston <平成30年8月> 技術革新のための基礎科学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 昇任により、平成30年4月から峯洋准教授を教授に変更。
- 昇任により、平成30年2月からQUITAIN ARMANDO TIBIGIN助教を教授に変更。
- 昇任により、平成29年11月から太田広人助教を准教授に変更。
- 教育上の効果を高めるため、伊田進太郎教授の担当科目を追加。
- カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、山口佳宏准教授の担当科目を追加。
- カリキュラム編成の調整により、入江亮教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月宇佐川毅教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月金大弘教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高宮正之教授就任。
- カリキュラム編成の調整により、戸田敬教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月長谷中利明教授就任。
- カリキュラム編成の調整により、松田真生准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月森和也教授就任。
- カリキュラム編成の調整により、山成貴教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山口信助教就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、大熊恵治講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人崇講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- 担当科目の配当年次の変更により、坂口正士講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に遅延。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、瀬戸康雄講師の担当科目を追加。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- 担当科目の配当年次の変更により、友清和彦講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に遅延。
- 担当科目の配当年次の変更により、濱本高義講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に遅延。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ホサノ ヌーシン講師就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、Robert Geoffrey Dormer講師の担当科目を追加。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
13	9	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
12	18	0	9	39	14	18	0	7	39	14	18	0	7	39
(13)	(18)	(0)	(9)	(40)						[2]	[0]	[0]	[△1]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
30	9	39			30	9	0			30	9	0		
(30)	(9)	(0)								[0]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数**を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上 記 (B)) の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時 (上記 (C)) の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{39}{39} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計 該当なし

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率 該当なし

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<自然科学教育部 博士前期課程 材料・応用化学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

自然科学教育部FD委員会を設置している。

#### b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

- ・平成29年4月25日 第1回FD委員会 (14名中14名参加)
- ・平成29年6月12日 第2回FD委員会 (14名中12名参加)
- ・平成30年2月7日 第3回FD委員会 (メール開催)
- ・平成30年3月12日 第4回FD委員会 (メール開催)

#### c 委員会の審議事項等

- ・年間の活動計画
- ・シラバスチェック
- ・FD講演会について

### ② 実施状況

#### a 実施内容

1. FD講演会：日々の授業でMoodle を活用する。
2. シラバスチェック
3. FD実施体制の検討
4. 教員相互の授業参観

#### b 実施方法

1. FD講演会：総合情報統括センター実習室にて本学教授システム学研究センターより講師を迎えて「日々の授業でMoodleを活用する」のタイトルで実施。
2. シラバスチェック：FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを8月中旬～9月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。
3. FD実施体制の検討：FD実施体制について委員会で検討した。
4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD講演会：平成30年3月27日（火） 教員12名参加
2. シラバスチェック：平成29年8月21日～9月29日 12コース・教育プログラムで実施
3. FD実施体制の検討：平成29年8月 FD委員による意見交換
4. 教員相互の授業参観：平成29年6月～平成30年2月に理学部、工学部と合同で実施  
（大学院のみの授業参観者数 4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD講演会で修得したMoodle活用の技術により、担当教員は授業科目等を熊本大学統合認証対応システムー全学LMS（e-Leamind）Moodleシステムへ登録し活用している。
- ・ 新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。
- ・ FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。
- ・ 授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有 年4回（授業終了時）に予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。  
平成30年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度に自己評価を行い、平成31年4月以降公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表(予定)の有無	( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )
b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期	(平成30年6月1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

## (2) 大学名

熊本大学大学院

## (3) 大学の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカワ フサ) 市川 聡夫 (平成30年4月)		
専攻長	(スミ ナヤ) 鷺見 直哉 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学教育部 理学専攻 (博士後期課程)  博士(理学) 博士(学術)	理学関係	3年	12人	36人	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12人 ( - ) [ - ]	-人	-人 ( - ) [ - ]	-人	-人 ( - ) [ - ]	-人	-人 ( - ) [ - ]	-人	0.50倍	
志願者数	6 ( 1 ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
受験者数	6 ( 1 ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
合格者数	6 ( 1 ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	6 ( 1 ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	0.50									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	6 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		
3年次	/		
計	6 [ - ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	6人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	-人	-人	平成30年度	-人	-人	
			平成31年度	-人	-人	
平成32年度	-人	-人	平成30年度	-人	-人	
			平成31年度	-人	-人	
			平成32年度	-人	-人	
合計	6人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<自然科学教育部 理学専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端科学科目	科学技術と社会Ⅰ	1・2-3前		1		2	2				兼4	
	科学技術と社会Ⅱ	1・2-3後		1		2	2				兼4	
	日本の先端科学Ⅱ	1・2-3通			2						兼1	
	科学技術英語特論	1・2-3通			2						兼1	
	大学院教養教育科目	現代社会理解 A	1・2-3通		1							兼1
		現代社会理解 B	1・2-3通		1							兼1
		技術革新のための基礎科学	1・2-3通		1							兼1
		マネジメント概論	1・2-3通		1							兼1
	理工融合教育科目	科学の歴史	1・2-3通		1							兼1
		MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前		1						
MOT概論・応用編			1前		1							兼1
実践MOT			1後		2							兼1
プロジェクトマネジメント		1後		1							兼1	
生産マネジメント		1後		1							兼1	
企業経営概論		1後		1							兼1	
ベンチャー企業論		1前		1							兼5	
共通科目		理学ゼミナール	1-3通		4		28	32		11		
		インターンシップⅡ	1・2-3通		2		1					
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2-3通		2		28	32		11			
数学コース入科目	有限群論と組合せ構造	1・2-3前		2			1					
	解析数論	1・2-3前		2			1					
	表現論	1・2-3前		2		1						
	代数幾何学特論	1・2-3前		2			1					
	曲面論	1・2-3前		2			1					
	リーマン幾何学	1・2-3後		2			1					
	偏微分方程式論	1・2-3後		2		1						
	微分代数学	1・2-3前		2		1						
	大域解析学	1・2-3後		2		1						
	力学系特論A	1・2-3後		2			1					
	力学系特論B	1・2-3前		2		1						
	確率過程論	1・2-3後		2		1						
	物理科学コース入科目	固体電子論C	1・2-3前		1		1					
固体電子論D		1・2-3前		1		1						
コンピュータ物理学特論Ⅱ		1・2-3後		2		1						
物性物理学特論Ⅱ		1・2-3後		2		1						
素粒子物理学		1・2-3前		2			1					
宇宙物理学Ⅱ		1・2-3前		2			1					
光物性特論		1・2-3後		2		1						
3D活性サイト科学特論		1・2-3前		2		1						
基礎物理特論		1・2-3前		2		1						
超高速分光学特論		1・2-3前		2			1					
微小領域物性特論	1・2-3前		2			1						
高圧物性物理学特論Ⅱ	1・2-3後		2					1				
化学コース入科目	物理化学特論Ⅳ	1前		2		1						
	物理化学特論Ⅴ	1後		2		1						
	物理化学特論Ⅵ	2前		2			1					
	無機化学特論Ⅳ	1前		2		1						
	無機化学特論Ⅴ	1後		2			1					
	有機化学特論Ⅳ	1前		2		1						
	有機化学特論Ⅴ	1後		2		1						
	有機化学特論Ⅵ	2前		2			1					
	分析化学特論Ⅳ	1前		2		1						
	分析化学特論Ⅴ	1後		2			1					
分析化学特論Ⅵ	2前		2			1						
地球環境科学コース入科目	岩石反応学特論	1・2-3後		2					1			
	進化古生物学特論	1・2-3前		2			1					
	ジオモデリング	1・2-3後		2		1						
	表層環境変遷論特論	1・2-3後		2		1						
	地球物性学特論	1・2-3前		2		1						
鉱物環境化学特論	1・2-3前		2		1							

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端科学科目	科学技術と社会Ⅰ	1・2-3前		1		2	1				兼5	
	科学技術と社会Ⅱ	1・2-3後		1		3	1				兼5	
	日本の先端科学Ⅱ	1・2-3通			2	1						
	科学技術英語特論	1・2-3通			2	1						
	大学院教養教育科目	現代社会理解 A	1・2-3通		1		1					兼2
		現代社会理解 B	1・2-3通		1							兼1
		技術革新のための基礎科学	1・2-3通		1							兼3
		マネジメント概論	1・2-3通		1							兼7
	理工融合教育科目	科学の歴史	1・2-3通		1							兼3
		MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前		1						
MOT概論・応用編			1前		1							兼1
実践MOT			1後		2							兼1
プロジェクトマネジメント		1後		1							兼2	
生産マネジメント		1後		1							兼1	
企業経営概論		1後		1							兼6	
ベンチャー企業論		1前		1							兼5	
共通科目		理学ゼミナール	1-3通		4		29	31		11		
		インターンシップⅡ	1・2-3通		2		1					
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2-3通		2		29	31		11			
数学コース入科目	有限群論と組合せ構造	1・2-3前		2			1					
	解析数論	1・2-3前		2			1					
	表現論	1・2-3前		2		1						
	代数幾何学特論	1・2-3前		2			1					
	曲面論	1・2-3前		2			1					
	リーマン幾何学	1・2-3後		2			1					
	偏微分方程式論	1・2-3後		2		1						
	微分代数学	1・2-3前		2		1						
	大域解析学	1・2-3後		2		1						
	力学系特論A	1・2-3後		2			1					
	力学系特論B	1・2-3前		2		1						
	確率過程論	1・2-3後		2		1						
	物理科学コース入科目	固体電子論C	1・2-3前		1		1					
固体電子論D		1・2-3前		1		1						
コンピュータ物理学特論Ⅱ		1・2-3後		2		1						
物性物理学特論Ⅱ		1・2-3後		2		1						
素粒子物理学		1・2-3前		2			1					
宇宙物理学Ⅱ		1・2-3前		2			1					
光物性特論		1・2-3後		2		1						
3D活性サイト科学特論		1・2-3前		2		1						
基礎物理特論		1・2-3前		2		1						
超高速分光学特論		1・2-3前		2			1					
微小領域物性特論	1・2-3前		2			1						
高圧物性物理学特論Ⅱ	1・2-3後		2					1				
化学コース入科目	物理化学特論Ⅳ(未開講)	1前		2							兼1	
	物理化学特論Ⅴ	1後		2		1						
	物理化学特論Ⅵ	2前		2		1						
	無機化学特論Ⅳ	1前		2		1						
	無機化学特論Ⅴ	1後		2			1					
	有機化学特論Ⅳ	1前		2		1						
	有機化学特論Ⅴ	1後		2		1						
	有機化学特論Ⅵ	2前		2			1					
	分析化学特論Ⅳ	1前		2		1						
	分析化学特論Ⅴ	1後		2			1					
分析化学特論Ⅵ	2前		2			1						
地球環境科学コース入科目	岩石反応学特論	1・2-3後		2					1			
	進化古生物学特論	1・2-3前		2			1					
	ジオモデリング	1・2-3後		2		1						
	表層環境変遷論特論	1・2-3後		2		1						
	地球物性学特論	1・2-3前		2		1						
鉱物環境化学特論	1・2-3前		2		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地球環境科学コース科目	微生物学特論	1・2・3前		2			1					
	気候学特論	1・2・3前		2			1					
	地球環境解析学特論	1・2・3後		2			1					
	地殻変動特論	1・2・3後		2			1					
	同位体水文学特論	1・2・3後		2			1					
	海洋火山学	1・2・3後		2			1					
	流域環境科学特論	1・2・3後		2			1					
	地球電磁気学特論	1・2・3後		2			1					
専門科目 生物科学コース科目	動物細胞学特論Ⅱ	1・2・3前		2			1					
	動物生理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	動物工学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	発生生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	分子遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	分子細胞生物学特論Ⅱ	1・2・3前		2		1						
	生化学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	植物分子生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	植物細胞学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	植物遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	系統分類学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	行動進化学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	保全生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	自然誌科学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
海洋生態・多様性学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地球環境科学コース科目	微生物学特論	1・2・3前		2			1					
	気候学特論	1・2・3前		2			1					
	地球環境解析学特論	1・2・3後		2			1					
	地殻変動特論	1・2・3後		2			1					
	同位体水文学特論	1・2・3後		2			1					
	海洋火山学	1・2・3後		2			1					
	流域環境科学特論	1・2・3後		2			1					
	地球電磁気学特論	1・2・3後		2			1					
専門科目 生物科学コース科目	動物細胞学特論Ⅱ	1・2・3前		2			1					
	動物生理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	動物工学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	発生生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	分子遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	分子細胞生物学特論Ⅱ	1・2・3前		2		1						
	生化学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	植物分子生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	植物細胞学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	植物遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	系統分類学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	行動進化学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
	保全生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	自然誌科学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
海洋生態・多様性学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」「兼4」から「准教授1」「兼5」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「兼4」から「教授3」「兼5」に変更。
- ・誤謬のため、「日本の先端科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・誤謬のため、「科学技術英語特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「理学ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授28」「准教授32」から「教授29」「准教授31」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「特別プレゼンテーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授28」「准教授32」から「教授29」「准教授31」に変更。
- ・担当教員の転出により、「解析数論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「物理化学特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「物理化学特論Ⅵ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	74 科目	9 科目	83 科目	0 科目 [ 0 ]	74 科目 [ 0 ]	9 科目 [ 0 ]	83 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	物理化学特論Ⅳ	2	1前	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 未開講となった1科目については、次年度開講する予定であり、全体的な教育の質の確保はできている。  
 ・ 学生への周知方法は、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載しているため、問題はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{83} = \boxed{1.2\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 (H29.9.1から延長予定) H32.3.31まで延長 (30) 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29.4.1から H30.3.31(以降、毎 年度更新予定) H30.4.1からH31.3.31 (30) 494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H28.10.1から H30.9.30 331㎡		
	校 舎 敷 地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡			
	運 動 場 用 地	39,752( 0)㎡	0㎡	0㎡	39,752( 0)㎡			
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡			
	そ の 他	144,293( 0)㎡	0㎡	0㎡	144,293( 0)㎡			
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡			
(2) 校 舎	専 用	457,740㎡ ( 457,740㎡)	共 用 ( 0㎡)	共用する他の 学校等の専用 ( 1,112㎡)	計 ( 458,852㎡)	放送大学熊本学習センターの専用1,112㎡		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	12室 (補助職員 3人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	自然科学教育部 理学専攻			73 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	大学全体	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)	
	計	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	12,347㎡		936		1,035,084			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	8,244㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	熊本大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<b>【学部】</b>									
<b>文学部</b>									
総合人間学科	4	55	-	220	学士(文学)	1.03	平成17年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
歴史学科	4	35	-	140	学士(文学)	1.06	平成17年度	同上	
文学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.01	平成17年度	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士(文学)	1.16	平成17年度	同上	
学部共通			3年次10	20	学士(文学)	-	平成11年度	同上	
<b>教育学部</b>									
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士(教育学)	1.06	昭和24年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士(教育学)	1.13	昭和24年度	同上	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士(教育学)	1.11	平成19年度	同上	
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	1.06	昭和52年度	同上	
地域共生社会課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
生涯スポーツ福祉課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成9年度	同上	平成29年より学生募集停止
<b>法学部</b>									
法学科	4	210	-	840	学士(法学)	1.02	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
学部共通			3年次10	20	学士(法学)	-	平成12年度	同上	
<b>理学部</b>									
理学科	4	200	-	780	学士(理学)	1.01	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
<b>医学部</b>									
医学科	6	115	-	690	学士(医学)	1.00	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1.03	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次16	32	学士(看護学、保健学)	-	平成18年度	同上	
<b>薬学部</b>									
薬学科	6	55	-	330	学士(薬学)	1.01	平成18年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.02	平成18年度	同上	
<b>工学部</b>									
土木建築学科	4	124	3年次10	124	学士(工学)	1.07	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	

機械数理工学科	4	109	3年次 10	109	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	149	学士 (工学)	1.04	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	131	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育実践専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	1.13	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	23	-	46	修士 (教育学)	1.00	平成21年度	同上	
教職実践開発専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.93	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学研究科									
(博士前期課程)									
公共政策学専攻	2	13	-	23	修士 (公共政策学、学術)	0.30	平成20年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学専攻	2	12	-	21	修士 (法学)	0.54	平成20年度	同上	
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	0.82	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	0.85	平成20年度	同上	
教授システム学専攻 (博士後期課程)	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.06	平成20年度	同上	
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.60	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.22	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部									
(博士前期課程)									
理学専攻	2	110	-	110	修士 (理学、学術)	0.80	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	75	修士 (工学、学術)	1.12	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	65	修士 (工学、学術)	1.07	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	103	修士 (工学、学術)	1.10	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻 (博士後期課程)	2	90	-	90	修士 (工学、学術)	1.08	平成30年度	同上	
理学専攻	3	12	-	12	博士 (理学、学術)	0.50	平成30年度	同上	

工学専攻	3	46	-	46	博士 (工学、学術)	0.41	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)									
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)									
医科学専攻 (博士課程)	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.67	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.78	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)									
保健学専攻 (博士後期課程)	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.91	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.16	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)									
創薬・生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.85	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学専攻 (博士課程)	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	0.93	平成24年度	同上	
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.99	平成24年度	同上	

大学院法曹養成研究科 (専門職学位課程) 法曹養成専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒 髪2丁目40番1号	平成28年より学生募 集停止
-----------------------------------	---	---	---	---	---------------	---	--------	-------------------------	-------------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学教育部 理学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	赤井 一郎 <平成30年4月> 科学技術と社会 I 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 光物性特論	専	教授	赤井 一郎 <平成30年4月> 科学技術と社会 I 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 光物性特論
専	教授	安仁屋 勝 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 物性物理学特論 II	専	教授	安仁屋 勝 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 物性物理学特論 II
専	教授	磯部 博志 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 鉱物環境化学特論	専	教授	磯部 博志 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 鉱物環境化学特論
専	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 科学技術と社会 I インターンシップ II 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 固体電子論C 固体電子論D	専	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 科学技術と社会 I インターンシップ II 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 固体電子論C 固体電子論D
専	教授	入江 亮 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 有機化学特論 V	専	教授	入江 亮 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 有機化学特論 V
専	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 日本の先端科学 II 科学技術英語特論 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II	専	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 日本の先端科学 II 科学技術英語特論 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II
専	教授	小出 真路 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 基礎物理特論	専	教授	小出 真路 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 基礎物理特論
専	教授	斉藤 寿仁 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 分子細胞生物学特論 II	専	教授	斉藤 寿仁 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 分子細胞生物学特論 II
専	教授	澤 進一郎 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 植物分子生物学特論 II	専	教授	澤 進一郎 <平成30年4月> 理学ゼミナール 特別プレゼンテーション II 植物分子生物学特論 II

## 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	渋谷 秀敏 ＜平成30年4月＞
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ ジオモデリング
専	教授	下條 冬樹 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ コンピュータ物理学 特論Ⅱ
専	教授	鷺見 直哉 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 力学系特論B
専	教授	副島 顕子 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 系統分類学特論Ⅱ
専	教授	高野 博嘉 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 植物細胞学特論Ⅱ
専	教授	高宗 和史 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 動物生理学特論Ⅱ
専	教授	谷 時雄 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 分子遺伝学特論Ⅱ
専	教授	戸田 敬 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 分析化学特論Ⅳ
専	教授	西野 宏 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 有機化学特論Ⅳ
		長谷中 利明 ＜平成30年4月＞ 現代社会理解A

## 【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	渋谷 秀敏 ＜平成30年4月＞
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ ジオモデリング
専	教授	下條 冬樹 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ コンピュータ物理学 特論Ⅱ
専	教授	鷺見 直哉 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 力学系特論B
専	教授	副島 顕子 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 系統分類学特論Ⅱ
専	教授	高野 博嘉 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 植物細胞学特論Ⅱ
専	教授	高宮 正之 ＜平成30年4月＞ 科学技術と社会Ⅱ
専	教授	高宗 和史 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 動物生理学特論Ⅱ
専	教授	谷 時雄 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 分子遺伝学特論Ⅱ
専	教授	戸田 敬 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 分析化学特論Ⅳ
専	教授	西野 宏 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 有機化学特論Ⅳ
専	教授	長谷中 利明 ＜平成30年4月＞ 現代社会理解A

## 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	濱名 裕治 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 確率過程論
専	教授	速水 真也 ＜平成30年4月＞
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 無機化学特論Ⅳ
専	教授	原岡 喜重 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 微分代数学 大域解析学
専	教授	藤本 斉 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 物理化学特論Ⅳ 物理化学特論Ⅴ
専	教授	逸見 泰久 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 行動進化学特論Ⅱ
専	教授	細川 伸也 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 3D活性サイト科学特 論
専	教授	松田 博貴 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 表層環境変遷論特論
専	教授	三沢 正史 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 偏微分方程式論
専	教授	山田 裕史 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 表現論
専	教授	吉朝 朗 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 地球物性学特論

## 【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	濱名 裕治 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 確率過程論
専	教授	速水 真也 ＜平成30年4月＞
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 無機化学特論Ⅳ
専	教授	原岡 喜重 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 微分代数学 大域解析学
専	教授	藤本 斉 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 物理化学特論Ⅴ
専	教授	逸見 泰久 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 行動進化学特論Ⅱ
専	教授	細川 伸也 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 3D活性サイト科学特 論
専	教授	松田 博貴 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 表層環境変遷論特論
専	教授	松田 真生 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 物理化学特論Ⅵ
専	教授	三沢 正史 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 偏微分方程式論
専	教授	山田 裕史 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 表現論
専	教授	吉朝 朗 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 地球物性学特論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	秋元 和寛
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微生物学特論
専	准教授	阿部 健
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 代数幾何学特論
専	准教授	安藤 直也
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 曲面論
専	准教授	一柳 錦平
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 同位体水文学特論
専	准教授	石川 勇人
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅵ
専	准教授	伊豆田 俊二
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 生化学特論Ⅱ
専	准教授	江頭 恒
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物細胞学特論Ⅱ
専	准教授	大平 慎一
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅴ
専	准教授	尾上 哲治
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地殻変動特論
専	准教授	北野 健
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物工学特論Ⅱ
専	准教授	北別府 悠
		<平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ リーマン幾何学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	秋元 和寛
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微生物学特論
専	准教授	阿部 健
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 代数幾何学特論
専	准教授	安藤 直也
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 曲面論
専	准教授	一柳 錦平
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 同位体水文学特論
専	准教授	石川 勇人
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅵ
専	准教授	伊豆田 俊二
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 生化学特論Ⅱ
専	准教授	江頭 恒
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物細胞学特論Ⅱ
専	准教授	大平 慎一
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅴ
専	准教授	尾上 哲治
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地殻変動特論
専	准教授	北野 健
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物工学特論Ⅱ
専	准教授	北別府 悠
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ リーマン幾何学

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
専	准教授	小島 知子
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球環境解析学特論
専	准教授	小澄 大輔
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 超高速分光学特論
専	准教授	小松 俊文
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 進化古生物学特論
専	准教授	嶋永 元裕
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 海洋生態・多様性学 特論Ⅱ
専	准教授	杉浦 直人
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 保全生物学特論Ⅱ
専	准教授	杉崎 文亮
		＜平成30年4月＞
		科学技術と社会Ⅰ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 力学系特論A
専	准教授	武智 克彰
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物遺伝学特論Ⅱ
専	准教授	高橋 慶太郎
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 宇宙物理学Ⅱ
専	准教授	千吉良 直紀
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有限群論と組合せ構造
専	准教授	富田 智彦
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 気候学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
専	准教授	小島 知子
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球環境解析学特論
専	准教授	小澄 大輔
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 超高速分光学特論
専	准教授	小松 俊文
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 進化古生物学特論
専	准教授	嶋永 元裕
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 海洋生態・多様性学 特論Ⅱ
専	准教授	杉浦 直人
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 保全生物学特論Ⅱ
専	准教授	杉崎 文亮
		＜平成30年4月＞
		科学技術と社会Ⅰ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 力学系特論A
専	准教授	武智 克彰
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物遺伝学特論Ⅱ
専	准教授	高橋 慶太郎
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 宇宙物理学Ⅱ
専	准教授	千吉良 直紀
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有限群論と組合せ構造
専	准教授	富田 智彦
		＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 気候学特論

## 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	中田 晴彦 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 分析化学特論Ⅵ
専	准教授	中村 政明 ＜平成30年4月＞
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 無機化学特論Ⅴ
専	准教授	中山 由紀 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 発生物学特論Ⅱ
専	准教授	成田 宏秋 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 解析数論
専	准教授	原 正大 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 微小領域物性特論
専	准教授	藤井 紀行 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 自然誌科学特論Ⅱ
専	准教授	細野 高啓 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 流域環境科学特論
専	准教授	松田 真生 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 物理化学特論Ⅵ
専	准教授	望月 伸電 ＜平成30年4月＞
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 地球電磁気学特論
専	准教授	矢嶋 哲 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 素粒子物理学

## 【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	中田 晴彦 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 分析化学特論Ⅵ
専	准教授	中村 政明 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 無機化学特論Ⅴ
専	准教授	中山 由紀 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 発生物学特論Ⅱ
専	准教授	谷本 祥 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 解析数論
専	准教授	原 正大 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 微小領域物性特論
専	准教授	藤井 紀行 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 自然誌科学特論Ⅱ
専	准教授	細野 高啓 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 流域環境科学特論
専	准教授	望月 伸電 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 地球電磁気学特論
専	准教授	矢嶋 哲 ＜平成30年4月＞
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 素粒子物理学

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	准教授	横瀬 久芳
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 海洋火山学
専	助教	荒江 祥永
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	池見 公芳
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	石丸 聡子
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 岩石反応学特論
専	助教	井手上 賢
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	大谷 亮
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	可児 智美
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	但馬 達哉
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	田中 明
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	寺本 進
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	中島 陽一
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 高圧物性物理学特論 Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	准教授	横瀬 久芳
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 海洋火山学
専	助教	荒江 祥永
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	池見 公芳
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	石丸 聡子
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 岩石反応学特論
専	助教	井手上 賢
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	大谷 亮
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	可児 智美
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	但馬 達哉
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	田中 明
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	寺本 進
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
専	助教	中島 陽一
		<平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ 高圧物性物理学特論 Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	助教	船津 麻実 <平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションII
兼任	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	教授	高島 和希 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	教授	當舎 利行 <平成30年4月>
		技術革新のための基 礎科学
兼任	教授	中西 義孝 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	教授	山成 實 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II
兼任	准教授	坂田 眞砂代 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II
兼任	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II
兼任	准教授	水本 郁朗 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	助教	船津 麻実 <平成30年4月>
		理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションII
兼任	教授	伊田 進太郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II
兼任	教授	宇佐川 毅 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II
兼任	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	教授	高島 和希 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	教授	當舎 利行 <平成30年4月>
		技術革新のための基 礎科学
兼任	教授	中西 義孝 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	教授	森 和也 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II
兼任	准教授	才ノ木 敦士 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	准教授	坂田 眞砂代 <平成30年4月>
		科学技術と社会 I
兼任	准教授	松田 俊郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会 II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月> 現代社会理解A MOT概論・基礎編
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年4月> MOT概論・基礎編
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月> マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	山口 信 <平成30年4月> 科学技術と社会II
兼任	講師	磯村 大成 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月> 現代社会理解A 企業経営概論
兼任	講師	加藤 文元 <平成30年4月> 科学の歴史
兼任	講師	川人 崇 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	釘宮 哲也 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	春藤 龍士 <平成30年10月> 企業経営概論
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月> 技術革新のための基礎科学 マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月> 現代社会理解B
兼任	講師	納富 真嘉 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月> 生産マネジメント
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月> MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	田子 学 <平成30年10月> マネジメント概論 プロジェクトマネジメント
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月> 現代社会理解B
兼任	講師	納富 真嘉 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月> ベンチャー企業論
兼任	講師	古藤 弘 <平成30年10月> マネジメント概論 企業経営概論
兼任	講師	JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR <平成30年10月> 科学の歴史
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月> 生産マネジメント
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月> 現代社会理解A ベンチャー企業論
兼任	講師	吉永 純一 <平成30年10月> マネジメント概論
兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月> マネジメント概論
兼任	講師	Laura Huston <平成30年8月> 技術革新のための基礎科学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 昇任により、平成30年2月から松田真生准教授を教授に変更。
- 成田宏秋准教授転出により、平成30年1月から谷本祥准教授に変更。
- 教育上の効果を高めるため、平成30年4月高宮正之教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、平成30年4月長谷中利明教授就任。
- カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊田進太郎教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月宇佐川毅教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月森和也教授就任。
- カリキュラム編成の調整により、山成貴教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山口信助教就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、大熊恵治講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人紫講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月釘宮哲也講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、来海和彦講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、瀬戸康雄講師の担当科目を追加。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月JOSEF-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月Robert Geoffrey Dormer講師就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	教授	准教授	講師	助教	計（C）
28	32	0	11	71	31	31	0	11	73	30	31	0	11	72
(31)	(31)	(0)	(11)	(73)						[2]	[Δ1]	[0]	[0]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
60	11	0			62	11	0			61	11	0		
(62)	(11)	(0)								[1]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{72}{71} = \boxed{101.4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{73} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	成田 宏秋	選択	理学ゼミナール	①	自己都合退職のため就任辞退（30）				
			選択	特別プレゼンテーション	①					
			選択	解析数論	①					
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）						後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{71} = \boxed{1.4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目		必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目		選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目		自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当予定の科目については、後任の専任教員が担当しており、特に問題はない。</li> <li>・ 学生への周知方法は、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載しているため、問題はない。</li> </ul>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<自然科学教育部 博士後期課程 理学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

自然科学教育部FD委員会を設置している。

#### b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

- ・平成29年4月25日 第1回FD委員会 (14名中14名参加)
- ・平成29年6月12日 第2回FD委員会 (14名中12名参加)
- ・平成30年2月7日 第3回FD委員会 (メール開催)
- ・平成30年3月12日 第4回FD委員会 (メール開催)

#### c 委員会の審議事項等

- ・年間の活動計画
- ・シラバスチェック
- ・FD講演会について

### ② 実施状況

#### a 実施内容

1. FD講演会：日々の授業でMoodle を活用する。
2. シラバスチェック
3. FD実施体制の検討
4. 教員相互の授業参観

#### b 実施方法

1. FD講演会：総合情報統括センター実習室にて本学教授システム学研究センターより講師を迎えて「日々の授業でMoodleを活用する」のタイトルで実施。
2. シラバスチェック：FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを8月中旬～9月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。
3. FD実施体制の検討：FD実施体制について委員会で検討した。
4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD講演会：平成30年3月27日（火） 教員12名参加
2. シラバスチェック：平成29年8月21日～9月29日 12コース・教育プログラムで実施
3. FD実施体制の検討：平成29年8月 FD委員による意見交換
4. 教員相互の授業参観：平成29年6月～平成30年2月に理学部、工学部と合同で実施  
（大学院のみの授業参観者数 4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD講演会で修得したMoodle活用の技術により、担当教員は授業科目等を熊本大学統合認証対応システムー全学LMS（e-Leamind）Moodleシステムへ登録し活用している。
- ・ 新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。
- ・ FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。
- ・ 授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有 年4回（授業終了時）に予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。  
平成30年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度に自己評価を行い、平成31年4月以降公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (  有 ・  無 )

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

## (2) 大学名

熊本大学大学院

## (3) 大学の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカワ フサオ) 市川 聡夫 (平成30年4月)		
専攻長	(ウサガワ ツヨシ) 宇佐川 毅 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学教育部 工学専攻 (博士後期課程)  博士(工学) 博士(学術)	工学関係	3年	46人	138人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	46人	-人	-人	-人	-人	-人	(-)	(-)	0.41倍	
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
志願者数	19	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
受験者数	19	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
合格者数	19	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
B 入学者数	19	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	0.41									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	19 [ 4 ] ( - )	— [ - ] ( - )	
2年次	/		
3年次	/		
計	19 [ 4 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。



## 2 授業科目の概要

<自然科学教育部 工学専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
先端科学科目	科学技術と社会 I	1・2・3前		1		2	2					兼4	
	科学技術と社会 II	1・2・3後		1		2	2					兼4	
	日本の先端科学 II	1・2・3通			2							兼1	
	科学技術英語特論	1・2・3通			2							兼1	
	大学院教養教育科目	現代社会理解A	1・2・3通		1								兼1
		現代社会理解B	1・2・3通		1								兼1
		技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1								兼1
		マネジメント概論	1・2・3通		1								兼1
		科学の歴史	1・2・3通		1								兼1
	MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼4
MOT概論・応用編		1前			1							兼1	
実践MOT		1後		2								兼1	
プロジェクトマネジメント		1後		1								兼1	
生産マネジメント		1後		1								兼1	
企業経営概論		1後		1								兼1	
ベンチャー企業論		1前		1								兼5	
共通科目		インターンシップ II	1・2・3通		2		1						
		先端科学特別講義 II	1～3通		2		52	64		2			
		プロジェクトゼミナール II	1～3通		4		52	64	2	26			
	特別プレゼンテーション II	1・2・3通		2		52	64	2	26				
広域環境実務工学教育プログラム科目	地下岩盤環境解析論	1・2・3前		2			1						
	岩盤工学設計特論	1・2・3前		2		1							
	地盤工学特論	1・2・3前		2		1							
	地盤内物質輸送論	1・2・3後		2			1						
	質的環境工学特論	1・2・3後		2		1							
	環境共生農業工学特論	1・2・3後		2			1						
	環境流体輸送論	1・2・3後		2		1							
	沿岸動力学特論	1・2・3後		2		1							
	社会環境マネジメント教育プログラム科目	持続可能都市システム	1・2・3後		2		1						
		環境便益計測論	1・2・3前		2		1						
地域公共政策論		1・2・3後		2			1						
状況景観論		1・2・3後		2			1						
社会基盤メンテナンス工学		1・2・3後		2		1							
災害リスクマネジメント		1・2・3前		2		1							
耐震・制震設計論		1・2・3前		2			1						
応用生態工学論		1・2・3後		2			1						
リスク分析		1・2・3後		2			1						
環境減災マネジメント		1・2・3前		2			1						
環境軽負荷学	1・2・3後		2		1								
人間環境計画学教育プログラム科目	都市・建築環境心理学	1・2・3前		2			1						
	保存修景論	1・2・3後		2		1							
	空間構法計画	1・2・3前		2			1						
	室内環境学特論	1・2・3後		2			1						
	建築情報マネジメント論	1・2・3後		2			1						
	建築史特論	1・2・3後		2			1						
	都市環境工学特論	1・2・3前		2					1				
	都市情報学特論	1・2・3後		2			1						
循環建築工学教育プログラム科目	高機能性材料設計論	1・2・3前		2		1							
	補修・補強材料工学	1・2・3前		2			1						
	安全制御耐風設計論	1・2・3前		2			1						
	構造信頼性工学	1・2・3前		2			1						
	木造構造解析特論	1・2・3前		2								兼1	
	界面強度試験特論	1・2・3前		2								兼1	

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
先端科学科目	科学技術と社会 I	1・2・3前		1		3	2					兼3	
	科学技術と社会 II	1・2・3後		1		3	1		1			兼3	
	日本の先端科学 II	1・2・3通			2							兼1	
	科学技術英語特論	1・2・3通			2							兼1	
大学院教養教育科目	現代社会理解A	1・2・3通		1								兼3	
	現代社会理解B	1・2・3通		1								兼1	
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1								兼3	
	マネジメント概論	1・2・3通		1								兼7	
	科学の歴史	1・2・3通		1								兼3	
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前			1							兼1	
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1	
	実践MOT	1後		2								兼1	
	プロジェクトマネジメント	1後		1								兼2	
	生産マネジメント	1後		1								兼1	
	企業経営概論	1後		1								兼6	
	ベンチャー企業論	1前		1								兼5	
	共通科目	インターンシップ II	1・2・3通		2				1				
		先端科学特別講義 II	1～3通		2		53	63		2			
		プロジェクトゼミナール II	1～3通		4		54	64	2	24			
特別プレゼンテーション II		1・2・3通		2		54	64	2	24				
広域環境実務工学教育プログラム科目	地下岩盤環境解析論	1・2・3前		2			1						
	岩盤工学設計特論	1・2・3前		2			1						
	地盤工学特論	1・2・3前		2			1						
	地盤内物質輸送論	1・2・3後		2				1					
	質的環境工学特論	1・2・3後		2			1						
	環境共生農業工学特論	1・2・3後		2				1					
	環境流体輸送論	1・2・3後		2			1						
	沿岸動力学特論	1・2・3後		2			1						
	社会環境マネジメント教育プログラム科目	持続可能都市システム	1・2・3後		2			1					
		環境便益計測論	1・2・3前		2			1					
地域公共政策論		1・2・3後		2				1					
状況景観論		1・2・3後		2				1					
社会基盤メンテナンス工学		1・2・3後		2			1						
災害リスクマネジメント		1・2・3前		2								兼1	
耐震・制震設計論		1・2・3前		2			1						
応用生態工学論		1・2・3後		2			1						
リスク分析		1・2・3後		2			1						
環境減災マネジメント		1・2・3前		2			1						
環境軽負荷学	1・2・3後		2			1							
人間環境計画学教育プログラム科目	都市・建築環境心理学	1・2・3前		2			1						
	保存修景論	1・2・3後		2			1						
	空間構法計画	1・2・3前		2			1						
	室内環境学特論	1・2・3後		2			1						
	建築情報マネジメント論	1・2・3後		2			1						
	建築史特論	1・2・3後		2			1						
	都市環境工学特論	1・2・3前		2					1				
	都市情報学特論	1・2・3後		2			1						
循環建築工学教育プログラム科目	高機能性材料設計論	1・2・3前		2			1						
	補修・補強材料工学	1・2・3前		2				1					
	安全制御耐風設計論	1・2・3前		2				1					
	構造信頼性工学	1・2・3前		2				1					
	木造構造解析特論	1・2・3前		2								兼1	
	界面強度試験特論	1・2・3前		2								兼1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
先端機械システム教育プログラム科目	高温強度学特論	1・2・3前		2			1						
	非平衡熱力学	1・2・3後		2		1							
	数値流体工学	1・2・3前		2			1						
	流体エネルギー変換工学	1・2・3後		2			1						
	熱・物質移動工学	1・2・3後		2			1						
	熱流動シミュレーション	1・2・3前		2		1							
	相変化伝熱特論	1・2・3後		2			1						
	混相流体力学	1・2・3前		2			1						
	超精密加工学	1・2・3前		2			1						
	機械設計システム	1・2・3前		2		1							
	精密機械製作学	1・2・3前		2			1						
	マイクロ・ナノシステム創成論	1・2・3前		2			1						
	燐発加工学	1・2・3前		2		1							
	機械知能システム教育プログラム科目	成形加工論	1・2・3後		2		1						
		知能機械システム特論	1・2・3後		2			1					
破壊力学		1・2・3後		2		1							
メンテナンス工学		1・2・3後		2			1						
接合加工学		1・2・3後		2		1							
センサー工学特論		1・2・3後		2		1							
計測信号処理特論		1・2・3前		2		1							
能動計測特論		1・2・3後		2				1					
ロボスト適応制御論		1・2・3後		2		1							
生産システム設計		1・2・3前		2			1						
応用数理教育プログラム科目	極限環境物質科学	1・2・3後		2		1							
	複雑系解析特論	1・2・3前		2		1							
	調和解析学特論	1・2・3後		2			1						
	組合せ論特論	1・2・3後		2		1							
	グラフマイナー・構造理論特論	1・2・3前		2				1					
	マルコフ過程論	1・2・3後		2							兼1		
	大偏差原理特論	1・2・3前		2		1						兼1	
	逐次解析特論	1・2・3後		2									
	多変量解析特論	1・2・3後		2			1						
	先端情報通信工学教育プログラム科目	光・マイクロ波回路工学特論	1・2・3前		2		1						
アンテナ伝搬工学特論		1・2・3前		2		1							
コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ		1・2・3前		2		1							
コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ		1・2・3後		2			1						
集積システム設計工学特論		1・2・3後		2		1							
システムソフトウェア特論		1・2・3前		2			1						
算法解析特論Ⅰ		1・2・3前		2		1							
算法解析特論Ⅱ		1・2・3後		2			1						
高次実時間処理特論		1・2・3後		2		1							
情報ネットワーク論		1・2・3前		2		1							
メディア情報応用技術論		1・2・3後		2		1							
情報通信基盤セキュリティ特論		1・2・3前		2		1							
時系列解析特論		1・2・3後		2		1							
機能創成エネルギー教育プログラム科目		超音波工学	1・2・3後		2			1					
		電力システム経済論	1・2・3前		2			1					
	パワーエレクトロニクス特論	1・2・3前		2		1							
	環境エレクトロニクス特論	1・2・3後		2		1							
	電磁エネルギー生体応用工学	1・2・3後		2			1						
	機能電子デバイス論	1・2・3前		2		1							
	ナノ構造応用工学	1・2・3後		2		1							
	パルス放電プラズマ応用工学	1・2・3後		2			1						
	光応用工学特論	1・2・3後		2			1						
	パルスパワー医療科学特論	1・2・3後		2		1							
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学特論	1・2・3前		2		1							
	ナノ電子デバイス特論	1・2・3後		2		1							
	衝撃パルスパワー発生制御技術	1・2・3後		2		1							
	パルスパワー生命科学	1・2・3後		2		1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
先端機械システム教育プログラム科目	高温強度学特論	1・2・3前		2			1						
	非平衡熱力学	1・2・3後		2		1							
	数値流体工学	1・2・3前		2			1						
	流体エネルギー変換工学	1・2・3後		2			1						
	熱・物質移動工学	1・2・3後		2			1						
	熱流動シミュレーション	1・2・3前		2		1							
	相変化伝熱特論	1・2・3後		2			1						
	混相流体力学	1・2・3前		2			1						
	超精密加工学	1・2・3前		2			1						
	機械設計システム	1・2・3前		2		1							
	精密機械製作学	1・2・3前		2			1						
	マイクロ・ナノシステム創成論	1・2・3前		2			1						
	燐発加工学	1・2・3前		2		1							
	機械知能システム教育プログラム科目	成形加工論	1・2・3後		2		1						
		知能機械システム特論	1・2・3後		2			1					
破壊力学		1・2・3後		2		1							
メンテナンス工学		1・2・3後		2			1						
接合加工学		1・2・3後		2		1							
センサー工学特論		1・2・3後		2		1							
計測信号処理特論		1・2・3前		2		1							
能動計測特論		1・2・3後		2				1					
ロボスト適応制御論		1・2・3後		2		1							
生産システム設計		1・2・3前		2			1						
応用数理教育プログラム科目	極限環境物質科学	1・2・3後		2		1							
	複雑系解析特論	1・2・3前		2		1							
	調和解析学特論	1・2・3後		2			1						
	組合せ論特論	1・2・3後		2		1							
	グラフマイナー・構造理論特論	1・2・3前		2				1					
	マルコフ過程論(未開講)	1・2・3後		2							兼1		
	大偏差原理特論	1・2・3前		2		1						兼1	
	逐次解析特論(未開講)	1・2・3後		2									
	多変量解析特論	1・2・3後		2			1						
	先端情報通信工学教育プログラム科目	光・マイクロ波回路工学特論	1・2・3前		2		1						
アンテナ伝搬工学特論		1・2・3前		2		1							
コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ		1・2・3前		2		1							
コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ		1・2・3後		2			1						
集積システム設計工学特論		1・2・3後		2		1							
システムソフトウェア特論		1・2・3前		2			1						
算法解析特論Ⅰ		1・2・3前		2		1							
算法解析特論Ⅱ		1・2・3後		2			1						
高次実時間処理特論		1・2・3後		2		1							
情報ネットワーク論		1・2・3前		2		1							
メディア情報応用技術論		1・2・3後		2		1							
情報通信基盤セキュリティ特論		1・2・3前		2		1							
時系列解析特論		1・2・3後		2		1							
機能創成エネルギー教育プログラム科目		超音波工学	1・2・3後		2			1					
		電力システム経済論	1・2・3前		2			1					
	パワーエレクトロニクス特論	1・2・3前		2		1							
	環境エレクトロニクス特論	1・2・3後		2		1							
	電磁エネルギー生体応用工学	1・2・3後		2			1						
	機能電子デバイス論	1・2・3前		2		1							
	ナノ構造応用工学	1・2・3後		2		1							
	パルス放電プラズマ応用工学	1・2・3後		2			1						
	光応用工学特論	1・2・3後		2			1						
	パルスパワー医療科学特論	1・2・3後		2		1							
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学特論	1・2・3前		2		1							
	ナノ電子デバイス特論	1・2・3後		2		1							
	衝撃パルスパワー発生制御技術	1・2・3後		2		1							
	パルスパワー生命科学	1・2・3後		2		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間環境情報教育プログラム科目	モデルベース制御特論	1・2・3後		2			1				兼1
	人間機械システム工学特論	1・2・3後		2		1					
	サイバネティクス特論	1・2・3後		2			1				
	画像情報処理	1・2・3前		2							
	マルチモーダル情報処理特論	1・2・3前		2		1					
	情報変換システム論	1・2・3前		2		1					
	非線形システム解析特論	1・2・3後		2			1				
	統計信号処理特論	1・2・3前		2		1					
	多元情報計測処理特論	1・2・3前		2			1				
	先端自動車工学特論	1・2・3後		2		1					
物質生命化学教育プログラム科目	機能性医用材料工学	1・2・3前		2		1					
	機能高分子材料化学	1・2・3後		2			1				
	無機機能物質化学	1・2・3後		2			1				
	分子システム化学	1・2・3後		2		1					
	バイオコンバージョン	1・2・3前		2			1				
	分子計測化学	1・2・3後		2		1					
	物質変換論	1・2・3後		2			1				
	生体機能分子設計	1・2・3前		2			1				
	機能電極応用化学	1・2・3後		2			1				
	ナノ機能界面制御特論	1・2・3後		2		1					
	ナノ物性シミュレーション化学	1・2・3前		2			1				
	ナノ機能物質設計特論	1・2・3前		2		1					
	ナノ界面電気化学	1・2・3後		2			1				
光機能物質科学論	1・2・3前		2			1					
機能材料プロセス工学	1・2・3前		2		1						
ナノ無機材料工学	1・2・3前		2		1						
物質材料工学教育プログラム科目	アモルファス・ナノ結晶材料学	1・2・3前		2		1					
	マテリアルプロセス設計	1・2・3後		2			1				
	先端マテリアル塑性工学	1・2・3前		2		1					
	先端セラミックス材料設計学	1・2・3後		2		1					
	マテリアル数値モデリング工学	1・2・3後		2		1					
	水素材料評価学	1・2・3後		2			1				
	ナノカーボン物質材料特論	1・2・3後		2			1				
	材料界面電子化学特論	1・2・3前		2			1				
	材料ナノ界面設計学	1・2・3前		2		1					
	微細構造評価学特論	1・2・3前		2			1				
	非線形連続体力学	1・2・3前		2			1				
	材料構造制御科学特論	1・2・3後		2			1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間環境情報教育プログラム科目	モデルベース制御特論	1・2・3後		2			1				
	人間機械システム工学特論	1・2・3後		2		1					
	サイバネティクス特論	1・2・3後		2			1				
	画像情報処理	1・2・3前		2					1		
	マルチモーダル情報処理特論	1・2・3前		2		1					
	情報変換システム論	1・2・3前		2		1					
	非線形システム解析特論	1・2・3後		2			1				
	統計信号処理特論	1・2・3前		2		1					
	多元情報計測処理特論	1・2・3前		2			1				
	先端自動車工学特論	1・2・3後		2		1					
物質生命化学教育プログラム科目	機能性医用材料工学	1・2・3前		2		1					
	機能高分子材料化学	1・2・3後		2			1				
	無機機能物質化学	1・2・3後		2			1				
	分子システム化学	1・2・3後		2		1					
	バイオコンバージョン	1・2・3前		2			1				
	分子計測化学	1・2・3後		2		1					
	物質変換論	1・2・3後		2			1				
	生体機能分子設計	1・2・3前		2			1				
	機能電極応用化学	1・2・3後		2			1				
	ナノ機能界面制御特論	1・2・3後		2		1					
	ナノ物性シミュレーション化学	1・2・3前		2			1				
	ナノ機能物質設計特論	1・2・3前		2		1					
	ナノ界面電気化学	1・2・3後		2			1				
光機能物質科学論	1・2・3前		2			1					
機能材料プロセス工学	1・2・3前		2		1						
ナノ無機材料工学	1・2・3前		2		1						
物質材料工学教育プログラム科目	アモルファス・ナノ結晶材料学	1・2・3前		2		1					
	マテリアルプロセス設計	1・2・3後		2			1				
	先端マテリアル塑性工学	1・2・3前		2		1					
	先端セラミックス材料設計学	1・2・3後		2		1					
	マテリアル数値モデリング工学	1・2・3後		2		1					
	水素材料評価学	1・2・3後		2			1				
	ナノカーボン物質材料特論	1・2・3後		2			1				
	材料界面電子化学特論	1・2・3前		2			1				
	材料ナノ界面設計学	1・2・3前		2		1					
	微細構造評価学特論	1・2・3前		2			1				
	非線形連続体力学	1・2・3前		2			1				
	材料構造制御科学特論	1・2・3後		2			1				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・誤謬及びカリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「兼4」から「教授3」「准教授2」「兼3」に変更。
- ・誤謬及びカリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「兼4」から「教授3」「准教授1」「助教1」「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「先端科学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授52」「准教授64」から「教授53」「准教授63」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「プロジェクトゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授52」「助教26」から「教授54」「助教24」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「特別プレゼンテーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授52」「助教26」から「教授54」「助教24」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「沿岸動力学特論」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・担当教員の転出により、「災害リスクマネジメント」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「グラフィナー・構造理論」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・誤謬のため、「画像情報処理」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「水素材料評価学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
0	141	9	150	0	141	9	150	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	災害リスクマネジメント	2	1・2・3前	専門	選択	担当教員の転出により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無。
2	マルコフ過程論	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無。
3	逐次解析特論	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 未開講となった科目については、次年度開講する予定であり、全体的な教育の質の確保はできている。  
 ・ 学生への周知方法は、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載しているため、問題はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{3}{150} = \boxed{\phantom{00}} 2\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 (H29.9.1から延長予定) H32.3.31まで延長 (30) 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29.4.1から H30.3.31(以降、毎 年度更新予定) H30.4.1からH31.3.31 (30) 494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H28.10.1から H30.9.30 331㎡		
	校 舎 敷 地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡			
	運 動 場 用 地	39,752( 0)㎡	0㎡	0㎡	39,752( 0)㎡			
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡			
	そ の 他	144,293( 0)㎡	0㎡	0㎡	144,293( 0)㎡			
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡			
(2) 校 舎	専 用	457,740㎡ ( 457,740㎡)	0㎡ ( 0㎡)	1,112㎡ ( 1,112㎡)	458,852㎡ ( 458,852㎡)	放送大学熊本学習センターの専用1,112㎡		
	共 用							
(3) 教 室 等	講 義 室	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	語学学習施設 12室 (補助職員 3人)		
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体		
	自然科学教育部 工学専攻			147 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		大学全体	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)
	計	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	12,347㎡		936		1,035,084			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	8,244㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	熊本大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
<b>【学部】</b>								
<b>文学部</b>								
総合人間学科	4	55	-	220	学士(文学)	1.03	平成17年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
歴史学科	4	35	-	140	学士(文学)	1.06	平成17年度	同上
文学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.01	平成17年度	同上
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士(文学)	1.16	平成17年度	同上
学部共通			3年次10	20	学士(文学)	-	平成11年度	同上
<b>教育学部</b>								
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士(教育学)	1.06	昭和24年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士(教育学)	1.13	昭和24年度	同上
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士(教育学)	1.11	平成19年度	同上
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	1.06	昭和52年度	同上
地域共生社会課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成12年度	同上
生涯スポーツ福祉課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成9年度	同上
<b>法学部</b>								
法学科	4	210	-	840	学士(法学)	1.02	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
学部共通			3年次10	20	学士(法学)	-	平成12年度	同上
<b>理学部</b>								
理学科	4	200	-	780	学士(理学)	1.01	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
<b>医学部</b>								
医学科	6	115	-	690	学士(医学)	1.00	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1.03	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号
保健学科共通			3年次16	32	学士(看護学、保健学)	-	平成18年度	同上
<b>薬学部</b>								
薬学科	6	55	-	330	学士(薬学)	1.01	平成18年度	熊本市中央区大江本町5番1号
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.02	平成18年度	同上
<b>工学部</b>								
土木建築学科	4	124	3年次10	124	学士(工学)	1.07	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

平成29年より学生募集停止  
平成29年より学生募集停止

機械数理工学科	4	109	3年次 10	109	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	149	学士 (工学)	1.04	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	131	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育実践専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	1.13	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	23	-	46	修士 (教育学)	1.00	平成21年度	同上	
教職実践開発専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.93	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学研究科									
(博士前期課程)									
公共政策学専攻	2	13	-	23	修士 (公共政策学、学術)	0.30	平成20年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学専攻	2	12	-	21	修士 (法学)	0.54	平成20年度	同上	
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	0.82	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	0.85	平成20年度	同上	
教授システム学専攻 (博士後期課程)	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.06	平成20年度	同上	
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.60	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.22	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部									
(博士前期課程)									
理学専攻	2	110	-	110	修士 (理学、学術)	0.80	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	75	修士 (工学、学術)	1.12	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	65	修士 (工学、学術)	1.07	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	103	修士 (工学、学術)	1.10	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻 (博士後期課程)	2	90	-	90	修士 (工学、学術)	1.08	平成30年度	同上	
理学専攻	3	12	-	12	博士 (理学、学術)	0.50	平成30年度	同上	

工学専攻	3	46	-	46	博士 (工学、学術)	0.41	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)									
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)									
医科学専攻 (博士課程)	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.67	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.78	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)									
保健学専攻 (博士後期課程)	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.91	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.16	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)									
創薬・生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.85	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学専攻 (博士課程)	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	0.93	平成24年度	同上	
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.99	平成24年度	同上	

大学院法曹養成研究科 (専門職学位課程) 法曹養成専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	平成28年より学生募集停止
-----------------------------------	---	---	---	---	---------------	---	--------	---------------------	---------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学教育部 工学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	有次 正義 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 算法解析特論Ⅰ	専	教授	有次 正義 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 算法解析特論Ⅰ
専	教授	安藤 新二 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 先端マテリアル塑性工学 マテリアル数値モデリング工学	専	教授	安藤 新二 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 先端マテリアル塑性工学 マテリアル数値モデリング工学
専	教授	飯田 全広 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ 集積システム設計工学特論	専	教授	飯田 全広 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ 集積システム設計工学特論
専	教授	池上 知顕 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境エレクトロニクス特論	専	教授	池上 知顕 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境エレクトロニクス特論
専	教授	伊田 進太郎 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ無機材料工学	専	教授	伊田 進太郎 <平成30年4月> <b>科学技術と社会Ⅱ</b> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ無機材料工学
専	教授	伊東 龍一 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 保存修景論	専	教授	伊東 龍一 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 保存修景論
専	教授	井原 敏博 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子計測化学	専	教授	井原 敏博 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子計測化学
専	教授	上田 裕市 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報変換システム論	専	教授	上田 裕市 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報変換システム論
専	教授	宇佐川 毅 <平成30年4月> インターンシップⅡ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ マルチモーダル情報処理特論	専	教授	宇佐川 毅 <平成30年4月> <b>科学技術と社会Ⅱ</b> インターンシップⅡ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ マルチモーダル情報処理特論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	大谷 順
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 地盤工学特論
専	教授	大本 照憲
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境流体輸送論
専	教授	尾原 祐三
		<平成30年4月> 岩盤工学設計特論
専	教授	柿本 竜治
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境便益計測論
専	教授	勝木 淳
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ハルスパワー生命科学
専	教授	川越 保徳
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 質的環境工学特論
専	教授	河村 能人
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ アモルファス・ナノ結晶材料学
専	教授	北 直泰
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 複雑系解析特論
専	教授	木田 徹也
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 機能材料プロセス工学
専	教授	金 大弘
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 大偏差原理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	大谷 順
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 地盤工学特論
専	教授	大本 照憲
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境流体輸送論
専	教授	尾原 祐三
		<平成30年4月> 岩盤工学設計特論
専	教授	柿本 竜治
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境便益計測論
専	教授	勝木 淳
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ハルスパワー生命科学
専	教授	川越 保徳
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 質的環境工学特論
専	教授	河村 能人
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ アモルファス・ナノ結晶材料学
専	教授	北 直泰
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 複雑系解析特論
専	教授	QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月> プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	教授	木田 徹也
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 機能材料プロセス工学
専	教授	金 大弘
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 大偏差原理特論

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ機能界面制御特論
専	教授	久保田 弘 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ電子デバイス特論
専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子システム化学
専	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ パワーエレクトロニクス特論 衝撃ハルスパワー発生制御技術
専	教授	櫻井 保志 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 時系列解析特論
専	教授	重石 光弘 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境軽負荷学
専	教授	城本 啓介 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 組合せ論特論
専	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報ネットワーク論
専	教授	高島 和希 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	教授	趙 華安 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 高次実時間処理特論
専	教授	辻本 剛三 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 沿岸動力学特論

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ機能界面制御特論
専	教授	久保田 弘 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ電子デバイス特論
専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子システム化学
専	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ パワーエレクトロニクス特論 衝撃ハルスパワー発生制御技術
専	教授	櫻井 保志 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 時系列解析特論
専	教授	重石 光弘 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境軽負荷学
専	教授	城本 啓介 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 組合せ論特論
専	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報ネットワーク論
専	教授	高島 和希 <平成30年4月> 科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	教授	趙 華安 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 高次実時間処理特論
専	教授	辻本 剛三 <平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 沿岸動力学特論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	運川 真弘
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 材料ナノ界面設計学
専	教授	寺崎 秀紀
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 接合加工学
専	教授	戸田 真志
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ メディア情報応用技術 論
専	教授	鳥居 修一
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 熱流動シミュレーシ ョン
専	教授	中西 義孝
		＜平成30年4月＞ 科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 機械設計システム
専	教授	中村 有水
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ ナノ構造応用工学
専	教授	新留 琢郎
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 機能性医用材料工学
専	教授	西本 昌彦
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 統計信号処理特論
専	教授	原田 博之
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ センサー工学特論 計測信号処理特論
専	教授	福迫 武
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ アンテナ伝搬工学特論
専	教授	藤原 和人
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 非平衡熱力学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	運川 真弘
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 材料ナノ界面設計学
専	教授	寺崎 秀紀
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 接合加工学
専	教授	戸田 真志
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ メディア情報応用技術 論
専	教授	鳥居 修一
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 熱流動シミュレーシ ョン
専	教授	中西 義孝
		＜平成30年4月＞ 科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 機械設計システム
専	教授	中村 有水
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ ナノ構造応用工学
専	教授	新留 琢郎
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 機能性医用材料工学
専	教授	西本 昌彦
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 統計信号処理特論
専	教授	原田 博之
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ センサー工学特論 計測信号処理特論
専	教授	福迫 武
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ アンテナ伝搬工学特論
専	教授	藤原 和人
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ールⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 非平衡熱力学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	藤吉 孝則 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 機能電子デバイス論
		外本 和幸 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 燐発加工学
専	教授	ホサノ ハミド ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 衝撃波バイオエレクトロクス科学特論
		町田 正人 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ機能物質設計特論
専	教授	松島 章 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 光・マイクロ波回路工学特論
		松田 泰治 ＜平成30年4月＞ 災害リスクマネジメント
専	教授	松田 元秀 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 先端セラミックス材料設計学
		松永 信智 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 人間機械システム工学特論 先端自動車工学特論
専	教授	丸茂 康男 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 成形加工論
		溝上 章志 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 持続可能都市システム
専	教授	峯 洋二 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 水素材料評価学

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	藤吉 孝則 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 機能電子デバイス論
		外本 和幸 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 燐発加工学
専	教授	ホサノ ハミド ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 衝撃波バイオエレクトロクス科学特論
		町田 正人 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ機能物質設計特論
専	教授	松島 章 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 光・マイクロ波回路工学特論
		松田 泰治 ＜平成30年4月＞ 災害リスクマネジメント
専	教授	松田 元秀 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 先端セラミックス材料設計学
		松永 信智 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 人間機械システム工学特論 先端自動車工学特論
専	教授	丸茂 康男 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 成形加工論
		溝上 章志 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 持続可能都市システム
専	教授	峯 洋二 ＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 水素材料評価学

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	武蔵 泰雄 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報通信基盤セキュリティ特論
専	教授	村上 聖 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 高機能性材料設計論
専	教授	森 和也 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 破壊力学
専	教授	矢野 憲一 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ハルスパワー医療科学特論
専	教授	山成 寛 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ
専	准教授	芦原 評 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ システムソフトウェア特論
専	准教授	伊賀崎 伴彦 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ サイバネティクス特論
専	准教授	岩佐 学 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 多変量解析特論
専	准教授	王 斗詔 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 電磁エネルギー生体応用工学
専	准教授	大館 陽太 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 算法解析特論Ⅱ
専	准教授	大西 康伸 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 建築情報マネジメント論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	武蔵 泰雄 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報通信基盤セキュリティ特論
専	教授	村上 聖 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 高機能性材料設計論
専	教授	森 和也 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 破壊力学
専	教授	矢野 憲一 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ハルスパワー医療科学特論
専	准教授	芦原 評 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ システムソフトウェア特論
専	准教授	伊賀崎 伴彦 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ サイバネティクス特論
専	准教授	岩佐 学 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 多変量解析特論
専	准教授	王 斗詔 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 電磁エネルギー生体応用工学
専	准教授	大館 陽太 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 算法解析特論Ⅱ
専	准教授	大西 康伸 <平成30年4月>
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 建築情報マネジメント論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	天淵 慶史
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 生産システム設計
専	准教授	岡島 寛
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ モデルベースド制御特論
専	准教授	緒方 公一
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 多元情報計測処理特論
専	准教授	越智 健之
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 構造信頼性工学
専	准教授	尾上 幸造
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 社会基盤メンテナンス工学
専	准教授	葛西 昭
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 耐震・制震設計論
専	准教授	川井 啓二
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 都市・建築環境心理学 建築史特論
専	准教授	川合 伸明
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 極限環境物質科学
専	准教授	川島 扶美子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 高温強度学特論
専	准教授	川原 顕磨 呂
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 混相流体力学
専	准教授	久我 守弘
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	天淵 慶史
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 生産システム設計
専	准教授	岡島 寛
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ モデルベースド制御特論
専	准教授	緒方 公一
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 多元情報計測処理特論
専	准教授	越智 健之
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 構造信頼性工学
専	准教授	尾上 幸造
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 社会基盤メンテナンス工学
専	准教授	葛西 昭
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 耐震・制震設計論
専	准教授	川井 啓二
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 都市・建築環境心理学 建築史特論
専	准教授	川合 伸明
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 極限環境物質科学
専	准教授	川島 扶美子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 高温強度学特論
専	准教授	川原 顕磨 呂
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 混相流体力学
専	准教授	久我 守弘
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	久保田 章電
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 超精密加工学
専	准教授	公文 誠
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 知能機械システム特論
専	准教授	黒田 雅利
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ メンテナンス工学
専	准教授	小糸 康志
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 熱・物質移動工学 相変化伝熱特論
専	准教授	鯉沼 陸央
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 無機機能物質化学
専	准教授	小塚 敏之
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ マテリアルプロセス設計
専	准教授	小林 牧子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 超音波工学
専	准教授	オノ木 敦士
		<平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	准教授	坂田 真砂代
		<平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 機能高分子材料化学
専	准教授	坂本 重彦
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 精密機械製作学

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	久保田 章電
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 超精密加工学
専	准教授	公文 誠
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 知能機械システム特論
専	准教授	黒田 雅利
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ メンテナンス工学
専	准教授	小糸 康志
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 熱・物質移動工学 相変化伝熱特論
専	准教授	鯉沼 陸央
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 無機機能物質化学
専	准教授	上瀧 剛
		<平成30年4月> プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 画像情報処理
専	准教授	小塚 敏之
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ マテリアルプロセス設計
専	准教授	小林 牧子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 超音波工学
専	准教授	オノ木 敦士
		<平成30年4月> <b>科学技術と社会Ⅰ</b> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	准教授	坂田 真砂代
		<平成30年4月> <b>科学技術と社会Ⅰ</b> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 機能高分子材料化学
専	准教授	坂本 重彦
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 精密機械製作学

## 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 満
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 物質変換論
専	准教授	佐藤 章
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 地下岩盤環境解析論
専	准教授	杉本 学
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ ナノ物性シミュレ ーション化学
専	准教授	高藤 誠
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 生体機能分子設計
専	准教授	竹内 裕希子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 環境減災マネジメント
専	准教授	武田 浩二
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 補修・補強材料工学
専	准教授	田中 智之
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 空間構法計画
専	准教授	田中 尚人
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 地域公共政策論
専	准教授	常田 明夫
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 非線形システム解析特 論
専	准教授	友清 衣利子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 安全制御耐風設計論
専	准教授	中島 雄太
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ マイクロ・ナノシス テム創成論

## 【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 満
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 物質変換論
専	准教授	佐藤 章
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 地下岩盤環境解析論
専	准教授	杉本 学
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ ナノ物性シミュレ ーション化学
専	准教授	高藤 誠
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 生体機能分子設計
専	准教授	竹内 裕希子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 環境減災マネジメント
専	准教授	武田 浩二
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 補修・補強材料工学
専	准教授	田中 智之
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 空間構法計画
専	准教授	田中 尚人
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 地域公共政策論
専	准教授	常田 明夫
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 非線形システム解析特 論
専	准教授	友清 衣利子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ 安全制御耐風設計論
専	准教授	中島 雄太
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナ ルⅡ 特別プレゼンテーシ ョンⅡ マイクロ・ナノシス テム創成論

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	中村 徹
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 調和解析学特論
専	准教授	浪平 隆男
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ パルス放電プラズマ応用工学
専	准教授	西山 勝彦
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 機能電極応用化学
専	准教授	橋新 剛
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 材料構造制御科学特論
専	准教授	長谷川 麻子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 室内環境学特論
専	准教授	濱 武英
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境共生農業工学特論
専	准教授	深港 豪
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 光機能物質科学論
専	准教授	藤見 俊夫
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ リスク分析
専	准教授	星野 祐司
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 状況景観論
専	准教授	本間 里見
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 都市情報学特論
専	准教授	松田 俊郎
		<平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	中村 徹
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 調和解析学特論
専	准教授	浪平 隆男
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ パルス放電プラズマ応用工学
専	准教授	西山 勝彦
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 機能電極応用化学
専	准教授	橋新 剛
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 材料構造制御科学特論
専	准教授	長谷川 麻子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 室内環境学特論
専	准教授	濱 武英
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境共生農業工学特論
専	准教授	深港 豪
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 光機能物質科学論
専	准教授	藤見 俊夫
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ リスク分析
専	准教授	星野 祐司
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 状況景観論
専	准教授	本間 里見
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 都市情報学特論
専	准教授	松田 俊郎
		<平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	松田 光弘
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 微細構造評価学特論
専	准教授	眞山 剛
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 非線形連続体力学
専	准教授	圓山 琢也
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	准教授	水本 郁朗
		<平成30年4月> 科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ロバスト適応制御論
専	准教授	光木 文秋
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 光応用工学特論
専	准教授	皆川 智子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 応用生態工学論
専	准教授	峯 洋二
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 水素材料評価学
専	准教授	宮内 肇
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 電力システム経済論
専	准教授	椋木 俊文
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 地盤内物質輸送論
専	准教授	宗像 瑞恵
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 流体エネルギー変換工学
専	准教授	森村 茂
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ バイオコンバージョン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	松田 光弘
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 微細構造評価学特論
専	准教授	眞山 剛
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 非線形連続体力学
専	准教授	圓山 琢也
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	准教授	水本 郁朗
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ロバスト適応制御論
専	准教授	光木 文秋
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 光応用工学特論
専	准教授	皆川 智子
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 応用生態工学論
専	准教授	宮内 肇
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 電力システム経済論
専	准教授	椋木 俊文
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 地盤内物質輸送論
専	准教授	宗像 瑞恵
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 流体エネルギー変換工学
専	准教授	森村 茂
		<平成30年4月> 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ バイオコンバージョン

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	山崎 倫昭
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 材料界面電子化学特論
専	准教授	横井 裕之
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノカーボン物質材料特論
専	准教授	吉川 浩行
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 数値流体工学
専	准教授	吉武 隆一
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	准教授	吉本 惣一郎
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ界面電気化学
専	講師	千葉 周也
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ グラフマイナー・構造理論特論
専	講師	山口 晃生
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 能動計測特論
専	助教	尾崎 太樹
		＜平成30年4月＞ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	石田 桂
		＜平成30年4月＞ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	伊藤 紘晃
		＜平成30年4月＞ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	勝田 陽介
		＜平成30年4月＞ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	山崎 倫昭
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 材料界面電子化学特論
専	准教授	横井 裕之
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノカーボン物質材料特論
専	准教授	吉川 浩行
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 数値流体工学
専	准教授	吉武 隆一
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	准教授	吉本 惣一郎
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ界面電気化学
専	講師	千葉 周也
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ グラフマイナー・構造理論特論
専	講師	山口 晃生
		＜平成30年4月＞ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 能動計測特論
専	助教	尾崎 太樹
		＜平成30年4月＞ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	石田 桂
		＜平成30年4月＞ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	伊藤 紘晃
		＜平成30年4月＞ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	勝田 陽介
		＜平成30年4月＞ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	QUITAIN ARMANDO TIBIGIN
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	北原 弘基
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	北村 裕介
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	金 善南
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	木山 真人
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	久世 竜司
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	國松 禎明
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	桑原 穰
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	上瀧 剛
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 画像情報処理
専	助教	坂田 聡
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	佐藤 あゆみ
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	
専	助教	北原 弘基
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	北村 裕介
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	金 善南
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	木山 真人
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	久世 竜司
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	國松 禎明
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	桑原 穰
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	坂田 聡
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	佐藤 あゆみ
		<平成30年4月>
専	助教	プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ

## 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	助教	末吉 哲朗 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	高田 真人 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 都市環境工学特論
専	助教	田邊 将之 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	中妻 啓 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	中村 能久 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	波多 英寛 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	日隈 聡士 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	松原 靖子 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	眞鍋 雄貴 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	山口 信 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	渡邊 智 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
兼任	教授	赤井 一郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ

## 【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	助教	末吉 哲朗 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	高田 真人 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 都市環境工学特論
専	助教	田邊 将之 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	中妻 啓 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	中村 能久 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	波多 英寛 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	日隈 聡士 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	松原 靖子 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	眞鍋 雄貴 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	山口 信 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	渡邊 智 <平成30年4月>
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
兼任	教授	赤井 一郎 <平成30年4月>
		科学技術と社会Ⅰ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	担当授業科目名
兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅰ	兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅰ
兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月>	日本の先端科学Ⅱ 科学技術英語特論 理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ	兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月>	日本の先端科学Ⅱ 科学技術英語特論 理学ゼミナール 特別プレゼンテー ションⅡ
兼任	教授	渋谷 秀敏 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅱ	兼任	教授	渋谷 秀敏 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅱ
				兼任	教授	高宮 正之 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅱ
兼任	教授	富舎 利行 <平成30年4月>	技術革新のための基 礎科学	兼任	教授	富舎 利行 <平成30年4月>	技術革新のための基 礎科学
兼任	教授	連水 真也 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅱ	兼任	教授	連水 真也 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅱ
兼任	教授	塚本 光夫 <平成30年4月>	界面強度試験特論	兼任	教授	塚本 光夫 <平成30年4月>	界面強度試験特論
				兼任	教授	長谷中 利明 <平成30年4月>	現代社会理解A
兼任	教授	楊 萍 <平成30年4月>	木造構造解析特論	兼任	教授	楊 萍 <平成30年4月>	木造構造解析特論
兼任	准教授	北別府 悠 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅰ				
兼任	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅰ	兼任	准教授	杉崎 文亮 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅰ
兼任	准教授	中村 政明 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅱ				
兼任	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>	科学技術と社会Ⅱ				
				兼任	講師	磯村 大成 <平成30年10月>	マネジメント概論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月>
		現代社会理解A MOT概論・基礎編
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年4月>
		MOT概論・基礎編
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月>
		科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月>
		マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	入江 英也 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	大熊 恵治 <平成30年4月>
		現代社会理解A <b>企業経営概論</b>
兼任	講師	<b>加藤 文元</b> <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
		<b>科学の歴史</b>
兼任	講師	<b>川人 業</b> <b>&lt;平成30年10月&gt;</b>
		<b>マネジメント概論</b>
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年10月>
		<b>企業経営概論</b>
兼任	講師	<b>釘宮 哲也</b> <b>&lt;平成30年10月&gt;</b>
		<b>企業経営概論</b>
兼任	講師	小間 裕泰 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	<b>春藤 龍士</b> <b>&lt;平成30年10月&gt;</b>
		<b>企業経営概論</b>
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月>
		科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月>
		<b>技術革新のための基礎科学</b> マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論
兼任	講師	<b>田子 学</b> <b>&lt;平成30年10月&gt;</b>
		<b>マネジメント概論</b> <b>プロジェクトマネジメント</b>
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月>
		現代社会理解B

## 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>
		生産マネジメント
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>
		MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論
兼任	講師	吉永 純一 <平成30年10月>
		マネジメント概論
兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>
		マネジメント概論
兼任	講師	Laura Huston <平成30年8月>
		技術革新のための基 礎科学

## 【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月>
		ベンチャー企業論
兼任	講師	古屋 弘 <平成30年10月>
		マネジメント概論 企業経営概論
兼任	講師	JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR <平成30年10月>
		科学の歴史
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月>
		生産マネジメント
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月>
		現代社会理解A ベンチャー企業論
兼任	講師	吉永 純一 <平成30年10月>
		マネジメント概論
兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月>
		マネジメント概論
兼任	講師	Laura Huston <平成30年8月>
		技術革新のための基 礎科学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 昇任により、平成30年2月からQUITAIN ARMANDO TIBIGIN助教を教授に変更。
- 配置換え及び昇任により、平成30年1月から上瀬剛助教を准教授に変更。
- 他大学への転出により、松田泰治教授就任辞退。
- 昇任により、平成30年4月から峯洋二准教授を教授に変更。
- 教育上の効果を高めるため、伊田進太郎教授の担当科目を追加。
- 教育上の効果を高めるため、宇佐川毅教授の担当科目を追加。
- 教育上の効果を高めるため、森和也教授の担当科目を追加。
- カリキュラム編成の調整により、山成實教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、坂田眞砂代准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、山口信助教の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高宮正之教授就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月長谷中利明教授就任。
- カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人崇講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年10月釘宮哲也講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月Robert Geoffrey Dormer講師就任。
- 教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
16 名	11 名	0 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
54 (56)	64 (65)	2 (2)	26 (24)	146 (147)	56	65	2	24	147	54 [0]	65 [1]	2 [0]	24 [2]	145 [Δ1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
119 (120)	27 (27)	0 (0)		120	27	0		118 [Δ1]	27 [0]	0 [0]				

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を卒業済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数**を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{145}{146} = \boxed{99.31} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{147} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	松田 泰治	必修	災害リスクマネジメント	③	他大学転出のため就任辞退（30）				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	1	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	1	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目	計	1	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{146} = \boxed{0.68} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目			必修	科目			必修	科目
	選択	科目			選択	科目			選択	科目
	自由	科目			自由	科目			自由	科目
	計	科目			計	科目			計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 就任を辞退した教員が担当予定だった科目については、次年度開講する予定であり、全体的な教育の質の確保はできている。  
 ・ 学生への周知方法は、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載しているため、問題はない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<自然科学教育部 博士後期課程 工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

自然科学教育部FD委員会を設置している。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成29年4月25日 第1回FD委員会（14名中14名参加）
- ・平成29年6月12日 第2回FD委員会（14名中12名参加）
- ・平成30年2月7日 第3回FD委員会（メール開催）
- ・平成30年3月12日 第4回FD委員会（メール開催）

#### c 委員会の審議事項等

- ・年間の活動計画
- ・シラバスチェック
- ・FD講演会について

### ② 実施状況

#### a 実施内容

1. FD講演会：日々の授業でMoodle を活用する。
2. シラバスチェック
3. FD実施体制の検討
4. 教員相互の授業参観

#### b 実施方法

1. FD講演会：総合情報統括センター実習室にて本学教授システム学研究センターより講師を迎えて「日々の授業でMoodleを活用する」のタイトルで実施。
2. シラバスチェック：FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを8月中旬～9月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。
3. FD実施体制の検討：FD実施体制について委員会で検討した。
4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD講演会：平成30年3月27日（火） 教員12名参加
2. シラバスチェック：平成29年8月21日～9月29日 12コース・教育プログラムで実施
3. FD実施体制の検討：平成29年8月 FD委員による意見交換
4. 教員相互の授業参観：平成29年6月～平成30年2月に理学部、工学部と合同で実施  
（大学院のみの授業参観者数 4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD講演会で修得したMoodle活用の技術により、担当教員は授業科目等を熊本大学統合認証対応システムー全学LMS（e-Leamind）Moodleシステムへ登録し活用している。
- ・ 新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。
- ・ FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。
- ・ 授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有 年4回（授業終了時）に予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。  
平成30年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度に自己評価を行い、平成31年4月以降公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (  有 ・  無 )

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。